

本書は、これから積算マスタを構築して基本データから数量を拾い集計する「基本積算」を習得される方を対象に、マスタの構築例と積算集計までの基本的な操作の流れを解説したマニュアルです。

**本マニュアルは、ARCHITREND ZERO 2015 で制作しています。
お使いのプログラムと一部画面と操作が異なる場合があります。**

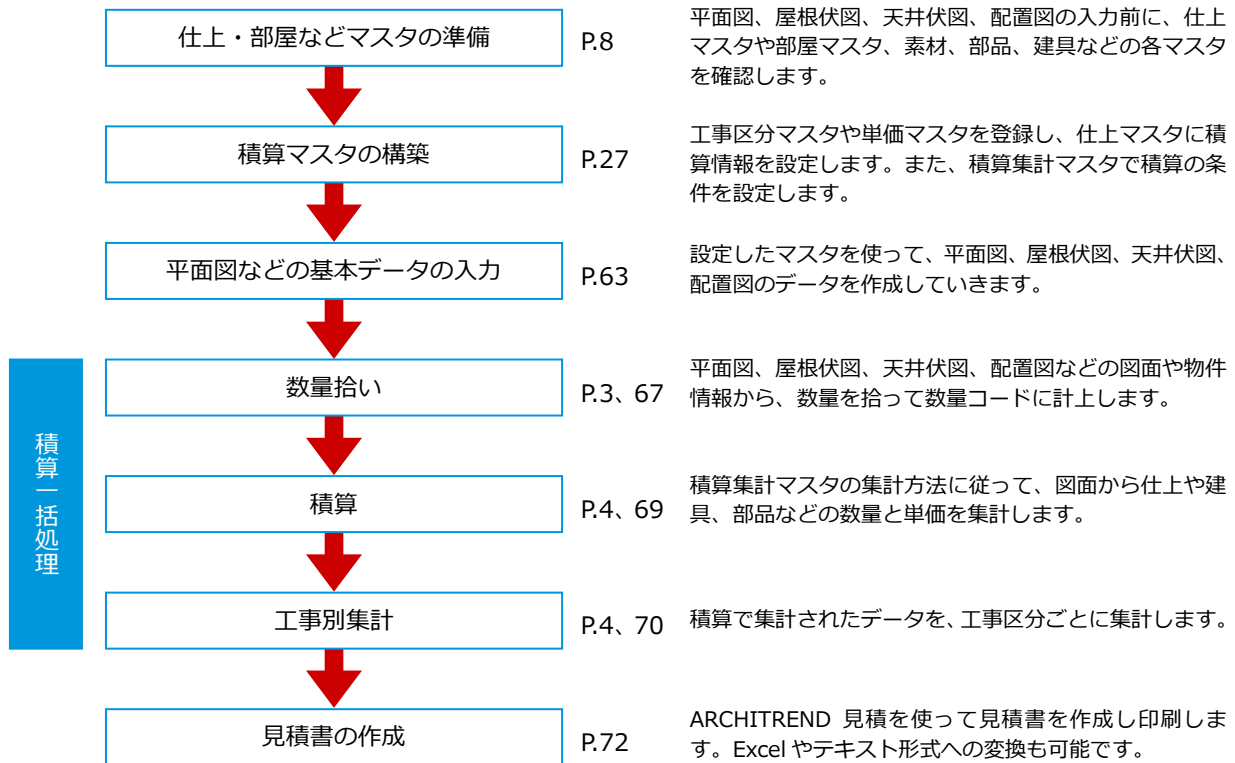
1 基本積算を始める前に _____	2	2-18 [積算マスタ] 屋根仕上マスタに 積算情報を設定 _____	42
1-1 積算の基本的な流れ _____	2	2-19 [積算マスタ] 外部天井仕上マスタに 積算情報を設定 _____	43
1-2 積算のしくみ _____	2	2-20 [積算マスタ] 部屋マスタに 設備用積算情報を設定 _____	43
2 自社用マスタの作成 _____	5	2-21 [積算マスタ] AM 建具に積算情報を設定 _____	47
2-1 自社マスタ サンプル _____	5	2-22 [積算マスタ] AM 部品に積算情報を設定 _____	49
2-2 マスタ構築から集計までの流れ _____	7	2-23 [積算マスタ] 積算集計マスタの登録 (部屋・建具/部品) _____	51
2-3 作業環境の準備 _____	8	2-24 [積算マスタ] 計算式マスタの登録 _____	53
[補足] 標準マスタを直接自社用マスタに変更するには _____	12	[補足] 関数を使って計算式を登録する _____	55
2-4 [共通マスタ] 内壁仕上マスタの登録 _____	13	2-25 [積算マスタ] 積算集計マスタの登録 (基本) _____	56
2-5 [共通マスタ] 床仕上マスタの登録 _____	16	2-26 [積算マスタ] 部屋マスタに 備考用積算情報を設定 _____	58
2-6 [共通マスタ] 内部天井仕上マスタの登録 _____	18	2-27 [積算マスタ] 外部標準マスタに 備考用積算情報を設定 _____	59
2-7 [共通マスタ] 部屋マスタの登録 _____	19	2-28 [積算マスタ] AM 汎用数量コードの登録 _____	60
2-8 [共通マスタ] 外壁仕上マスタの登録 _____	23	3 基本積算の実行 _____	63
2-9 [共通マスタ] 屋根仕上マスタの登録 _____	24	3-1 基本データの入力 _____	63
2-10 [共通マスタ] 外部天井仕上マスタの登録 _____	24	3-2 積算集計処理 _____	66
2-11 [共通マスタ] 外部標準マスタの登録 _____	25	3-3 見積書の作成 _____	72
2-12 [積算マスタ] AM 工事区分マスタの登録 _____	27	[補足] Excel への出力 _____	72
[補足] 工事区分マスタの編集について _____	28	[補足] 他社の見積システムへの変換 _____	73
2-13 [積算マスタ] AM 単価マスタの登録 _____	29	付録 1 仕上の積算方法について _____	77
[補足] AM 積算マスタを Archi Master から開くには _____	31	付録 2 建具の積算方法について _____	80
2-14 [積算マスタ] 内壁仕上マスタに 積算情報を設定 _____	38	付録 3 積算に関係するマスタ _____	82
2-15 [積算マスタ] 床仕上マスタに積算情報を設定 _____	40	付録 4 基本積算 Q&A _____	83
2-16 [積算マスタ] 内部天井仕上マスタに 積算情報を設定 _____	41		
[補足] 積算情報の設定時に 単価マスタを修正したいときは _____	41		
2-17 [積算マスタ] 外壁仕上マスタに 積算情報を設定 _____	42		

1 基本積算を始める前に

基本積算を始める前に、ZERO での積算の流れやしきみについて確認しておきましょう。

1-1 積算の基本的な流れ

次のフロー図は、積算の基本的な流れと、本テキストでの各項目の解説内容を示したものです。



1-2 積算のしくみ

まずは積算一括処理を行って、どのようなしくみで積算が行われるか確認しましょう。

※ ここでは、プラン作成編の物件データを使用していますが、他の物件でも構いません。

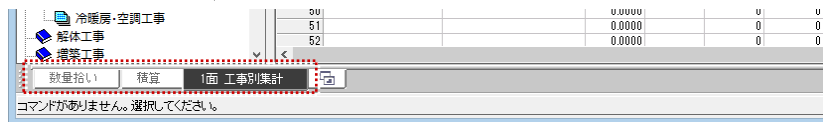
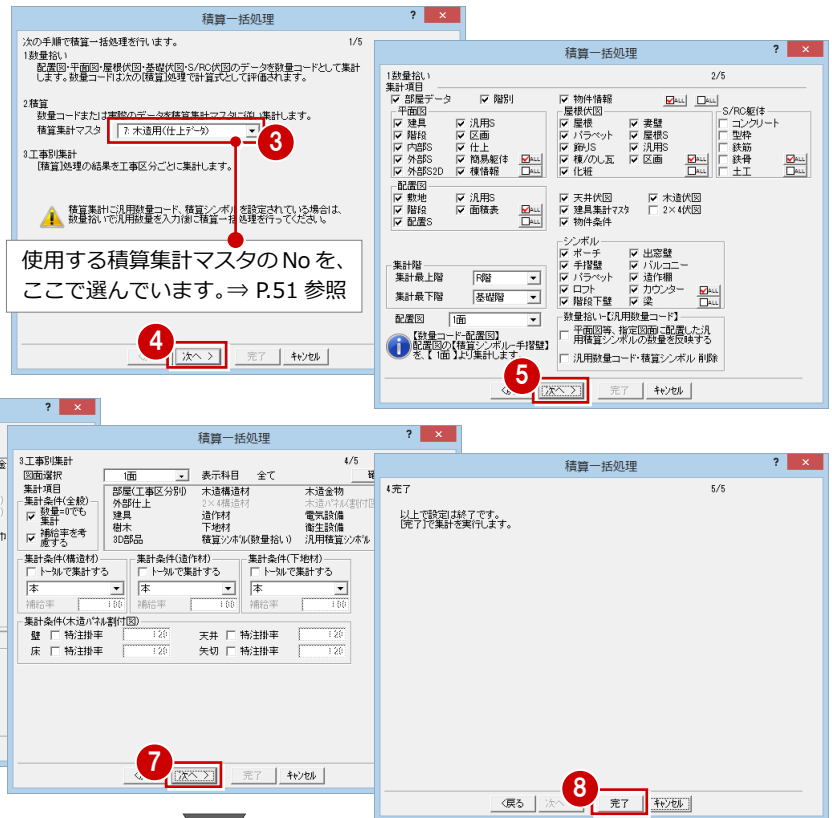
積算一括処理を実行する

- 1 [処理選択] ダイアログの [積算] タブをクリックします。
- 2 [積算一括処理] をダブルクリックします。



③④ [積算一括処理] ダイアログ (1/5) で「7: 木造用 (仕上データ)」が選ばれていることを確認して、[次へ] をクリックします。

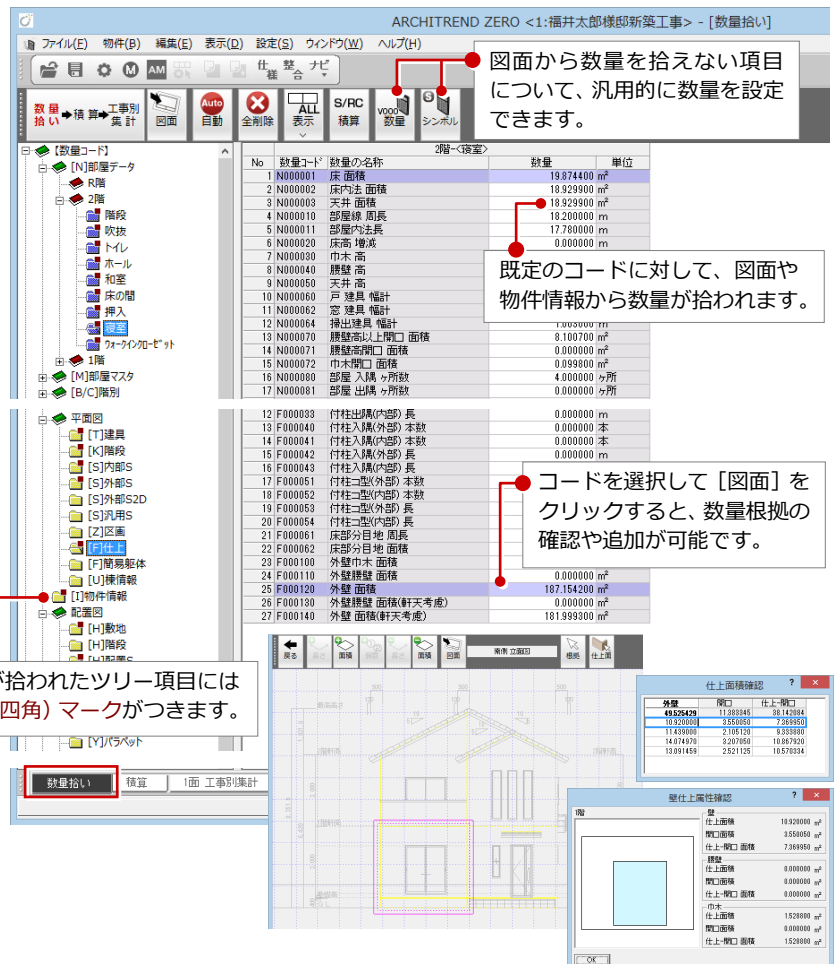
⑤~⑧ [積算一括処理] ダイアログ (2/5~4/5) で [次へ] を順にクリックしていき、最後 (5/5) に [完了] をクリックします。



処理が終了すると、[数量拾い][積算][工事別集計]の3つの画面が開きます。順に集計結果を確認していきましょう。

数量拾いについて

平面図、配置図、屋根伏図、天井伏図などの図面や物件情報から、数量を拾って数量コードに計上します。ここで集計された数量コードは、積算で計算式として使用されます。



1 基本積算を始める前に

積算について

積算集計マスタの集計方法に従って、図面から仕上や建具、部品などの数量と単価を集計します。

⇒ 積算集計マスタについては、P.51 参照

積算集計マスタの各タブの設定内容に基づき、ツリーの項目別に積算集計されます。

工事別集計について

積算で集計されたデータを、工事区分ごとに集計します。

工事区分は AM 工事区分マスタで設定します。

単価は AM 単価マスタで設定します。

図面データから積算集計されるため、図面を入力する前に、部屋、仕上、建具、部品などのマスタを整備しておく必要があります。

第2章では、自社仕様の共通マスタや積算マスタを作成する流れを解説します。

2

自社用マスタの作成

自社仕様に合った図面作成や積算集計を行うには、マスタの設定が必要不可欠です。

積算に必要なマスタには、大きく分けて「共通マスタ」と「積算関連マスタ」があります。

出荷時には、サンプルの仕様（クロスなどの壁仕上、床仕上、建具など）と、各部材の単価などの情報があらかじめ設定されていますが、これを自社仕様に変更してみましょう。

2-1 自社マスタ サンプル

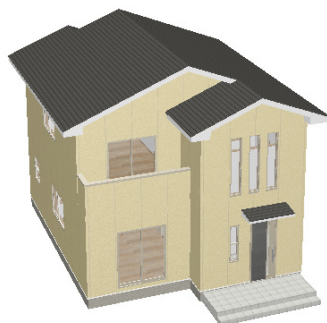
本書では、次のような木造2階建て住宅の内部仕様・外部仕様を例に、自社用のマスタを構築する流れを解説します。

内部仕様

室名	床（下地・仕上）	巾木	壁（下地・仕上）	天井（下地・仕上）	廻縁	その他
1階						
玄関	モルタル・300角タイル貼り	タイル H180 mm	P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	玄関収納・上り框・付框
ホール	床下地合板 12 mm・フロー合板貼り	木製既製品 H60 mm	P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	
LDK	床下地合板 12 mm・フロー合板貼り	木製既製品 H60 mm	P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	システムキッチン・キッチンカウンター
家事室	床下地合板 12 mm・フロー合板貼り	木製既製品 H60 mm	P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	
物入	床下地合板 12 mm・フロー合板貼り	木製既製品 H60 mm	P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	
トイレ	床下地合板 12 mm・C.F.シート貼り	木製既製品 H60 mm	耐水 P.B.12.5 mm・耐水ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	洗浄暖房便器・紙巻器・タオル掛け
洗面脱衣室	床下地合板 12 mm・C.F.シート貼り	木製既製品 H60 mm	耐水 P.B.12.5 mm・耐水ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	洗面化粧台
UB	ユニットバス床（立体用）		ユニットバス壁（立体用）	ユニットバス天井（立体用）		ユニットバス
階段	ラワン合板 9 mm貼り		P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	※天井なし		階段・手摺り
2階						
ホール	床下地合板 12 mm・フロー合板貼り	木製既製品 H60 mm	P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	
寝室	床下地合板 12 mm・フロー合板貼り	木製既製品 H60 mm	P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	ボーダークロス
ウォークインクローゼット	床下地合板 12 mm・フロー合板貼り	木製既製品 H60 mm	P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	
和室	床下地合板 12 mm・畳敷き	畳寄せ	ラスボード 7 mm・京壁仕上げ	合板天井板敷目貼り	木製一重	長押・付鴨居・内障子
床の間	ラワン合板 9 mm貼り		ラスボード 7 mm・京壁仕上げ	合板天井板敷目貼り	木製一重	床柱・框付床板
押入	ラワン合板 9 mm貼り	雑巾摺り H15 mm	ラワン合板 5.5 mm貼り	ラワン合板 2.7 mm貼り	木製一重	中段・枕棚
トイレ	床下地合板 12 mm・C.F.シート貼り	木製既製品 H60 mm	耐水 P.B.12.5 mm・耐水ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	洗浄暖房便器・紙巻器・タオル掛け
階段	※床なし		P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	
吹抜	※床なし		P.B.12.5 mm・ビニールクロス貼り	P.B.9.5 mm・ビニールクロス貼り	木製既製品	

外部仕様

部位	仕様	その他
屋根	コロニアル葺き 4 寸勾配 (コロニアル・アスファルトルーフィング・野地板)	雨押え・捨て谷板金
外壁	モルタル刷毛引き・リシン吹付け (リシン吹付塗装・モルタル・ラス網・アスファルトフェルト)	
	モルタル刷毛引き・ガルバリウム鋼板 (ガルバリウム鋼板・通気胴縁)	土台水切 (ガルバリウム鋼板の場合)
外巾木	モルタル刷毛引き	
軒天井	軒天井ボード貼り・EP 塗装	
ポーチ	300 角タイル貼り	
バルコニー	FRP 防水 (床：床下地合板 12 mm・FRP 防水、天井：軒天井ボード貼り・EP 塗装)	金属製笠木・物干し金物
開口部	アルミサッシ、玄関：片開きドア	



【外部仕様 A】
外壁：モルタルリシン吹付け
屋根：コロニアル葺き
軒先鉛直、軒天水平



【外部仕様 B】
外壁：ガルバリウム鋼板
屋根：コロニアル葺き
軒先直角、軒天勾配

本書における設備や備品などの積算方法

設備や部品などの積算方法には、それ自体に積算情報を持たせるほか、部屋マスタ・外部標準マスタの積算情報に登録したり、積算集計マスタの【基本】タブに集計項目として登録するなどの方法があります。

本書では、設備や備品に対して以下のような積算方法で解説していますが、別の方法を使っても構いません。

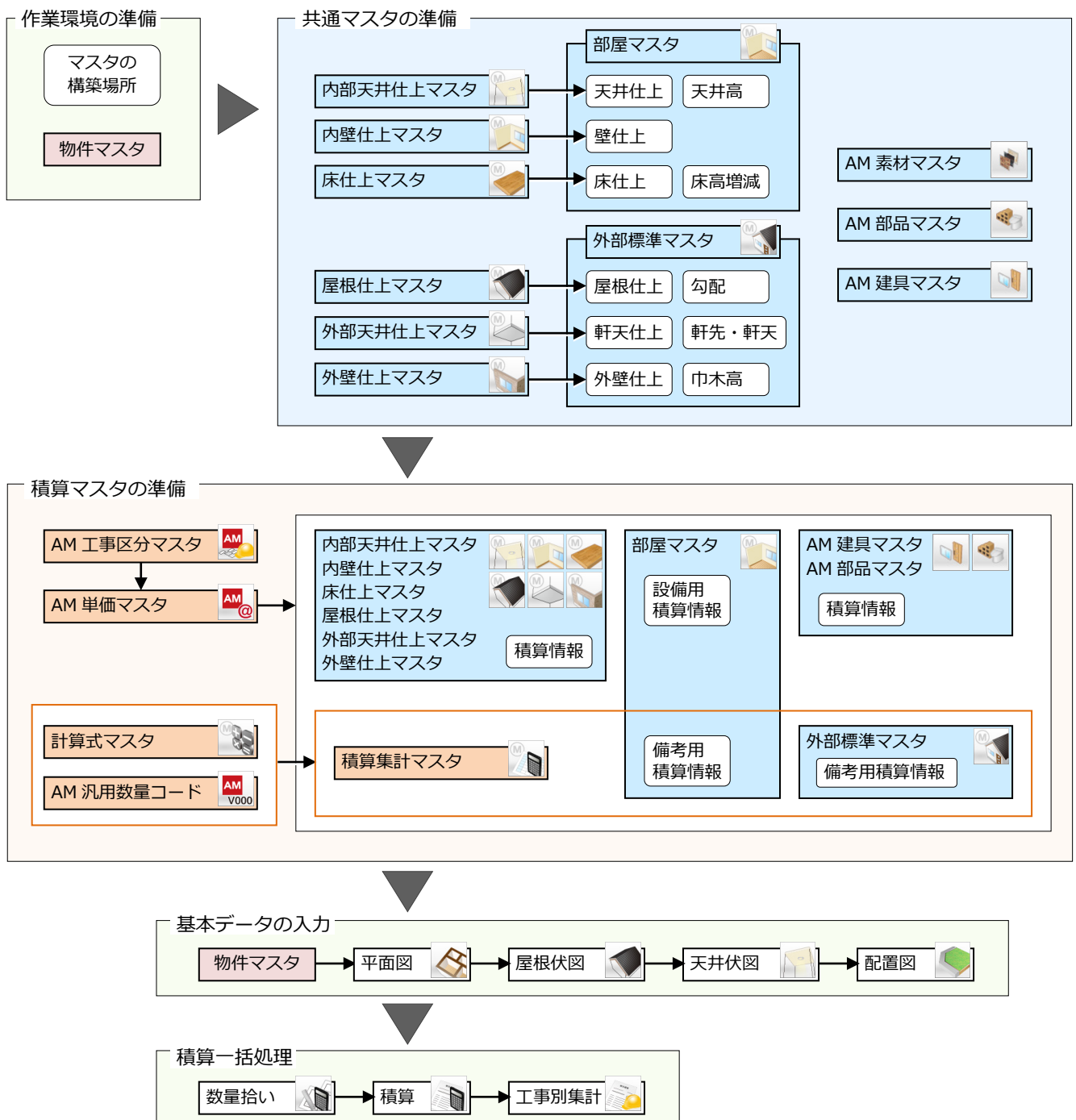
設備・備品	積算方法	参照ページ
玄関収納、システムキッチン、洗浄暖房便器、洗面化粧台、ユニットバス	部品に積算情報を設定	P.49、63
キッチンカウンター	シンボルに積算情報を設定	P.63
電灯配線、スイッチ、コンセントなど	部屋マスタの設備用積算情報に設定	P.43
上り框、付框、紙巻器、タオル掛け、ボーダークロス、床柱、框付床板	部屋マスタの備考用積算情報に設定	P.58
土台水切	外部標準マスタの備考用積算情報に設定	P.59
階段、階段手摺、長押、付鴨居	汎用数量コードに積算情報を設定 (積算シンボル)	P.60、68
中段・枕棚、雨押え、捨て谷板金、バルコニー笠木、物干し金物	積算集計マスタで集計項目として設定	P.56

2-2 マスタ構築から集計までの流れ

本書における積算の運用方法

積算で使用するマスタは、運用の仕方によって構築の流れが異なります。本書では、以下のような構築方法を採用しています。

仕上	仕上の数量（面積・長さ）の拾い方は、仕上データ（実データ）から拾う方法と、数量コードを使って拾う方法があります。本書では前者を採用しています。⇒ 後者の方法については、P.77 参照
建具	建具の積算方法は、入力した建具データの積算情報を使う方法と、建具集計マスタで各建具区分ごとに設定した積算情報を使う方法があります。本書では前者を採用しています。⇒ 後者の方法については、P.80 参照
建具・部品	AM 建具・AM 部品の積算情報は、単価マスタを使って登録する方法と個々のアイテムに登録する方法があります。本書では前者を採用しています。⇒ 後者の方法については、P.52 参照
樹木	基本積算では樹木マスタを使って配置図に入力した樹木を積算することができますが、本書では樹木の積算は行っていません。⇒ 樹木の積算を行うかどうかの設定については、P.52 参照



2-3 作業環境の準備

まず自社用マスタを構築する場所を準備して、自社用の物件マスタを作りましょう。

ここでは、自社用マスタ構築後も標準のマスタがそのまま使えるように、自社用マスタを別の場所にコピーして構築していきます。標準のマスタを直接変更する場合には、P.12 を参照してください。

マスタフォルダを準備する

エクスプローラを開いて、自社用マスタ用のフォルダを作成しましょう。

- 1 任意の場所（ここではCドライブ）に「ATZERO 自社用マスタ」というフォルダを作成し、その中に「ATZEROMaster」と「Master」という2つのフォルダを作成します。
- 2 ZERO のマスタフォルダ
「●:¥FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster」から以下のフォルダをコピーします。
 - ・物件マスタ ・仕上 ・部屋
 - ・外部標準 ・積算 ・積算部品
 - ・登録文字
- 3 Archi Master のマスタフォルダ
「●:¥FcApp¥ArchiMaster¥Master」から以下のフォルダをコピーします。
 - ・Sekisan

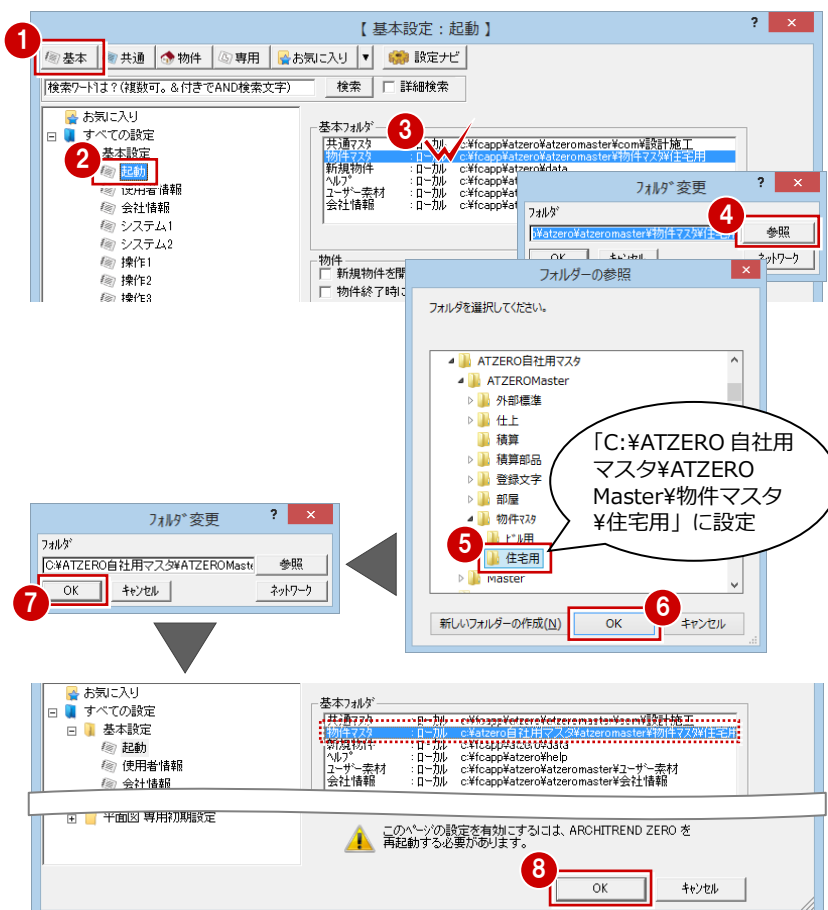


⇒ 積算に関するマスタについては、P.82 参照

物件マスタの参照先を変更する

コピーした物件マスタが使用できるように設定を変更しましょう。

- 1, 2 ZERO で既存物件（または新規物件）を開き、[基本設定（起動）] ダイアログを開きます。
- 3～7 「物件マスタ」の設定を、コピー先のフォルダに変更します。
- 8 設定が変更されたことを確認して、[OK] をクリックします。
- 9 変更内容を有効にするため、ZERO を再起動します。

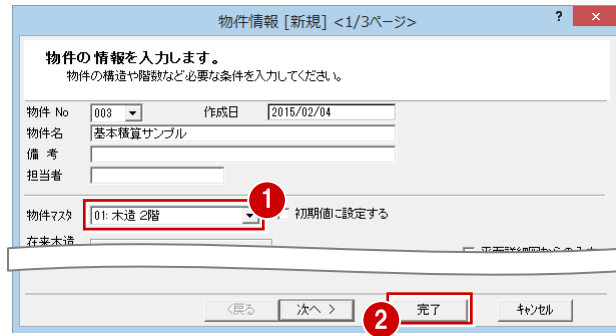


自社の物件マスタを作成する

物件マスタ「01：木造 2階」の内容を自社用に変更してみましょう。

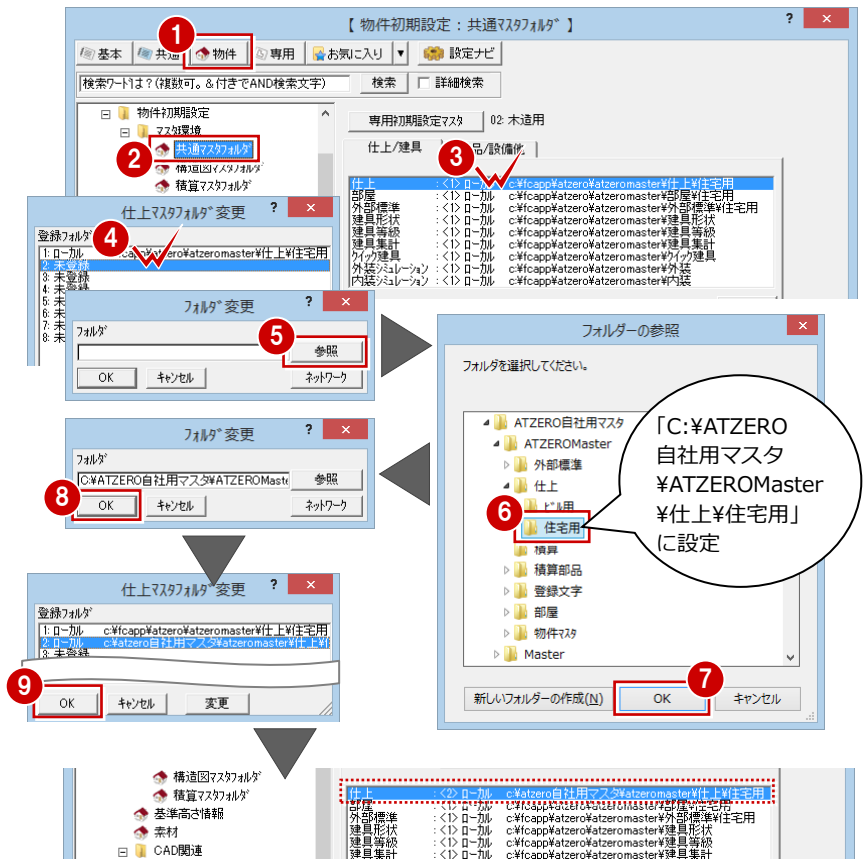
物件マスタを選択する

- 1 新規物件の作成時に、物件マスタ「01：木造 2階」を使います。
- 2 [完了] をクリックして、1階 平面図を開きます。



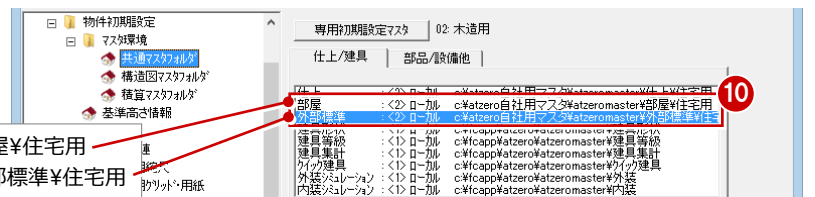
マスタの参照先を変更する

- 1,2 [物件初期設定 (マスタ環境 - 共通マスタフォルダ)] ダイアログを開きます。
- 3~9 「仕上」の設定をダブルクリックし、マスタの参照先として自社用マスタのフォルダを「No.2」に登録します。



- 10 同様に、「部屋」「外部標準」の参照先を変更します。

<2> C:\¥ATZERO 自社用マスタ¥ATZEROMaster¥部屋¥住宅用
 <2> C:\¥ATZERO 自社用マスタ¥ATZEROMaster¥外部標準¥住宅用



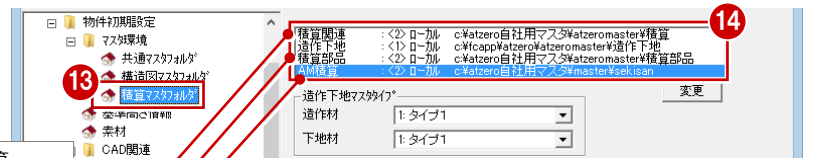
- 11,12 [部品/設備他] タブをクリックして、「登録文字」の参照先を変更します。

<2> C:\¥ATZERO 自社用マスタ¥ATZEROMaster¥登録文字¥設計施工



- 13,14 ツリーから「積算マスタフォルダ」を選んで、「積算関連」「積算部品」「AM 積算」の参照先を変更します。

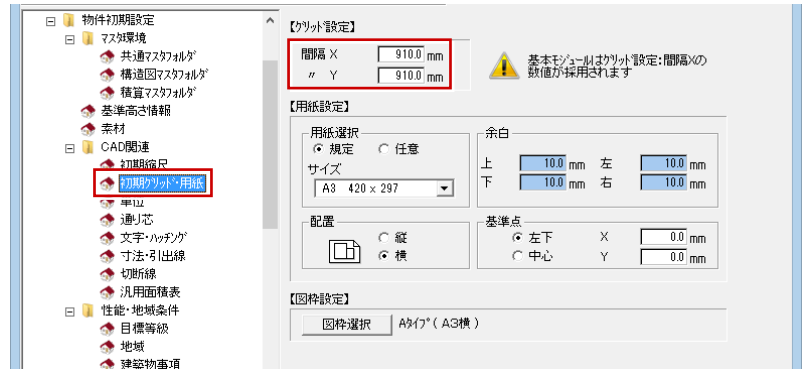
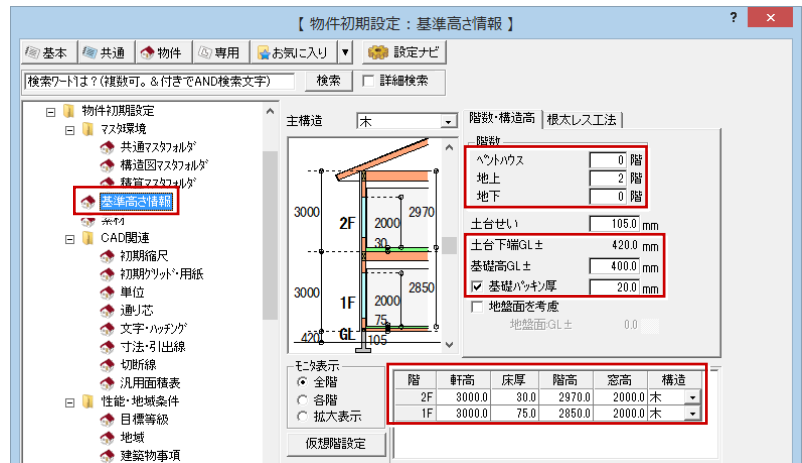
<2> C:\¥ATZERO 自社用マスタ¥ATZEROMaster¥積算
 <2> C:\¥ATZERO 自社用マスタ¥ATZEROMaster¥積算部品
 <2> C:\¥ATZERO 自社用マスタ¥Master¥Sekisan



2 自社用マスタの作成

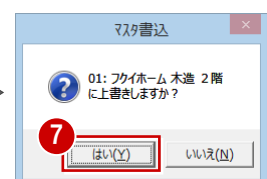
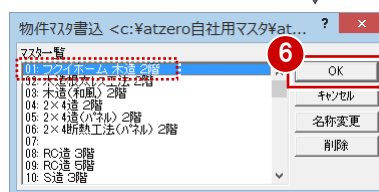
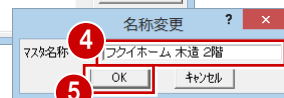
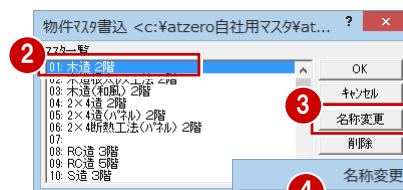
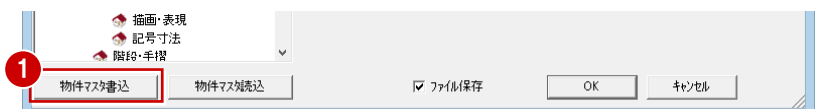
- 物件初期設定を変更する -

「基準高さ情報」「モジュール」「柱のサイズ」などの各種設定を、自社物件の仕様に合わせて変更します。



- 物件マスタに書き込む -

- 1 [物件マスタ書込] をクリックします。
 - 2,3 自社用の設定を書き込む物件マスタ (ここでは「01: 木造 2階」) が選択されていることを確認して、[名称変更] をクリックします。
 - 4,5 マスタ名称を変更して、[OK] をクリックします。
- ※ 物件マスタの名称は、自社名や仕様などを登録しておくといでしょう。
- 6 [物件マスタ書込] ダイアログで [OK] をクリックします。
 - 7 確認画面で [はい] をクリックします。 自社用の物件マスタが書き込まれます。

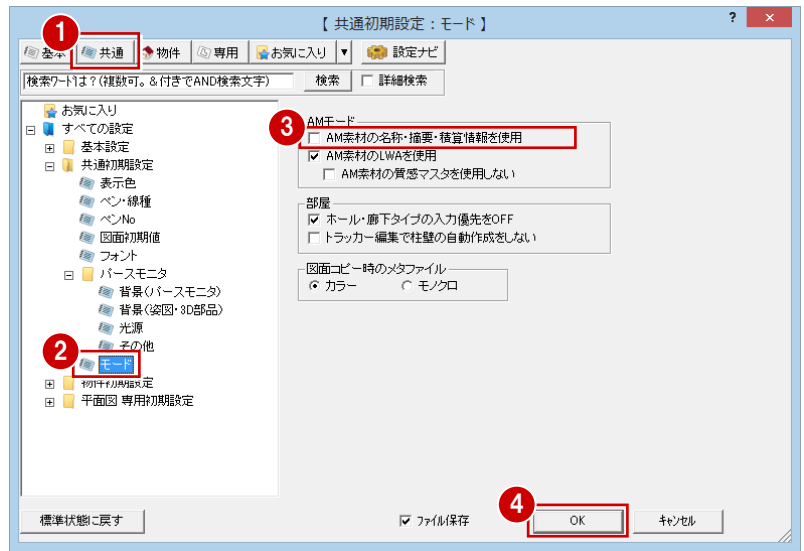


共通初期設定を確認する

仕上の仕様を編集する際に、名称・摘要・積算情報について、仕上マスタの情報を使用する方法と、AM 素材が持つ情報を使用する方法があります。

通常、自社用マスタを作成する場合は、作業しやすい前者の方法をお勧めします。

- 1,2 [共通初期設定 (モード)] ダイアログを開きます。
- 3 [AM 素材の名称・摘要・積算情報を使用] のチェックがはずれていることを確認します。
- 4 [OK] をクリックします。

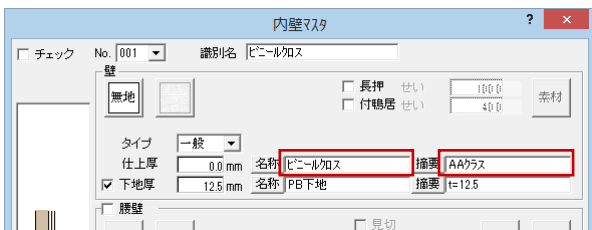


2通りの方法の違い

【仕上マスタの情報を使用する方法】

[AM 素材の名称・摘要・積算情報を使用] が OFF の場合

各仕上マスタで設定している内容が、仕上の名称・摘要として使用されます。



各仕上マスタで積算情報を設定でき、その内容が仕上の積算情報として使用されます。

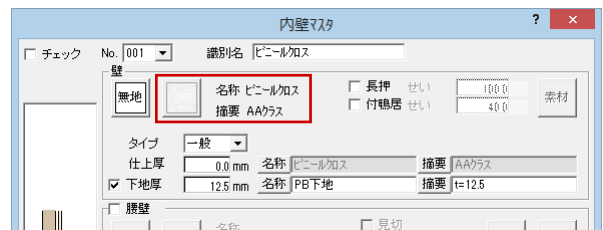
積算情報					
積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
壁	1	✓	内装工事	1347:AA級クロス	ビニールクロス(壁)
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			

変更可

【AM 素材が持つ情報を使用する方法】

[AM 素材の名称・摘要・積算情報を使用] が ON の場合

各仕上マスタには AM 素材の名称・摘要が読み込まれ、この内容が仕上の名称・摘要として使用されます。AM 素材を変更すると、名称・摘要が連動して変わります。



各仕上マスタでは積算情報を変更できません。AM 素材に設定されている積算情報が仕上の積算情報として使用されます。

積算情報					
積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上(AM素材)					
壁	1	✓	内装工事	1347:AA級クロス	ビニールクロス(壁)
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			

変更不可

※ AM 素材が持つ情報を使用する方法 ([AM 素材の名称・摘要・積算情報を使用] が ON) は、通常、ARCHITREND Virtual House Planning と連携して ARCHITREND ZERO を使用される場合に使用します。

マスタを開く

- 1 [共通マスタ] をクリックします。
- 2 [共通マスタ] ダイアログの [内外装・部屋] を開きます。



【処理選択】ダイアログから開く

[マスタ専用] タブの [内外装・部屋] から開けます。



【補足】標準マスタを直接自社用マスタに変更するには

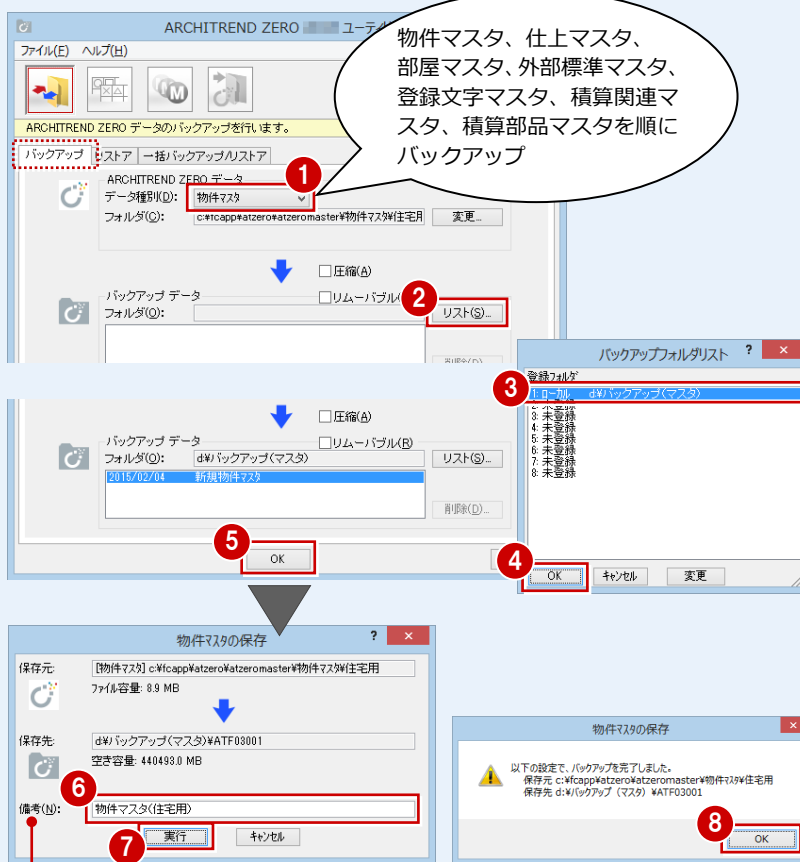
標準マスタを直接編集して自社用マスタに変更していく場合は、標準マスタのバックアップをとってから自社用マスタに編集します。変更したマスタを標準マスタに戻す場合は、バックアップファイルを一時的にリストアしてください。

－ マスタをバックアップする －

ARCHITREND ZERO ユーティリティ（以降「ユーティリティ」）を起動します。

※ ユーティリティは ARCHITREND ZERO と同時に起動できません。ARCHITREND ZERO を終了してからユーティリティを起動してください。

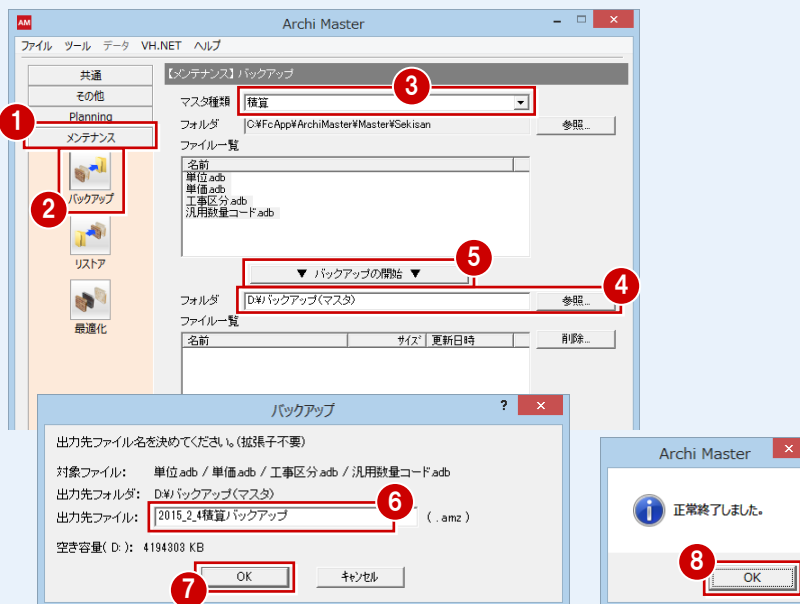
- 1 [バックアップ] タブで、バックアップする [データ種別] を選択します。
- 2～4 [リスト] をクリックして、バックアップ先のフォルダを設定します。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6,7 [備考] を入力して、[実行] をクリックします。
- 8 完了したら、[OK] をクリックします。
- 9 続けて、他のマスタをバックアップします。



● [備考] はバックアップデータの名称となり、リストア時にこの名称が表示されます。識別できるように「物件マスタ(住宅用)」というように名称を変更しておくといでしょう。

AM 単価マスタなど Archi Master が管理するマスタは、次のようにバックアップします。

- 1,2 Archi Master を起動して、[メンテナンス] メニューから [バックアップ] をクリックします。
- 3 [マスタ種類] を「積算」に変更します。
- 4 [参照] をクリックして、バックアップ先のフォルダを設定します。
- 5 [▼ バックアップの開始 ▼] をクリックします。
- 6,7 [出力先ファイル] の名称を確認して、[OK] をクリックします。
- 8 完了したら、[OK] をクリックします。



－ 自社用の物件マスタを作成する －

P.10 と同様の操作で、自社仕様を設定し、物件マスタに書き込みます。

2-4 [共通マスタ] 内壁仕上マスタの登録

内壁仕上マスタには、自社の部屋仕様にあわせて壁（腰壁）の仕上・下地、巾木の仕様を登録しておきます。

内壁仕様を編集する

- 1 内壁仕上マスタを開きます。
- 2 一覧から「No.1：ビニールクロス」をダブルクリックして編集画面を開きます。
- 3 4 右図のように編集して、ホール・LDK・物入などで使用する壁や巾木の仕様に変更します。
- 5 [OK] をクリックすると「内壁仕上マスタ選択」ダイアログに戻ります。
- 6 同様にして、残りの壁仕様も編集します。

The screenshot shows the '共通マスタ' (Common Master) application. The '内壁仕上' (Interior Wall Finishing) section is selected. A table lists various wall types, with 'No. 1' (ビニールクロス) highlighted. A detailed edit dialog for 'No. 001' is shown, where the '壁' (Wall) section is configured with 'タイプ' (Type) as '一般' (General), '仕上厚' (Finish Thickness) as '0.0 mm', and '下地厚' (Underlayment Thickness) as '12.5 mm'. The '巾木' (Baseboard) section is also visible, with 'タイプ' (Type) set to '木製(規格品)' (Wooden (Standard Product)).

▲ホール・LDK など
「No.1：ビニールクロス」を編集

▼トイレ・洗面脱衣室
「No.2：ビニールクロス（耐水）」を編集

The screenshot shows the edit dialog for 'No. 002' (No. 2: Waterproof Vinyl Cross). The '壁' (Wall) section is configured with 'タイプ' (Type) as '一般' (General), '仕上厚' (Finish Thickness) as '0.0 mm', and '下地厚' (Underlayment Thickness) as '12.5 mm'. The '巾木' (Baseboard) section is also visible, with 'タイプ' (Type) set to '木製(規格品)' (Wooden (Standard Product)).

▼玄関
「No.3：ビニールクロス（巾木タイル）」を編集

The screenshot shows the edit dialog for 'No. 003' (No. 3: Vinyl Cross with Baseboard Tiles). The '壁' (Wall) section is configured with 'タイプ' (Type) as '一般' (General), '仕上厚' (Finish Thickness) as '0.0 mm', and '下地厚' (Underlayment Thickness) as '12.5 mm'. The '巾木' (Baseboard) section is also visible, with 'タイプ' (Type) set to 'タイル/石' (Tile/Stone), '巾木厚' (Baseboard Thickness) as '10.0 mm', and '下地厚' (Underlayment Thickness) as '10.0 mm'. The '巾木' (Baseboard) section is also visible, with 'タイプ' (Type) set to 'タイル' (Tile), '巾木厚' (Baseboard Thickness) as '300 x 300', and '下地厚' (Underlayment Thickness) as '10.0 mm'.

2 自社用マスタの作成

▼和室

「No.27 : ジュラク壁 (長押)」を編集

▼床の間

「No.28 : ジュラク壁 (雑巾摺)」を編集

No.27 と同じ
素材に変更

▼押入

「No.31 : ラワン合板張り」を編集

▼寝室

「No.7 : ビニールクロス (腰ボーター)」を編集

▼UB

「No.226 : ユニットバス壁」をそのまま使用

これはユニットバス専用の壁仕様です。
立体データでUBの壁面を表現するために
素材だけを登録しています。

マスタを整理する

今回使わなかったマスタを削除して、使いやすいように並び替えましょう。

- マスタを削除する -

- ①② 一覧から削除するマスタを選んで、[削除] をクリックします。
 - ③ 確認画面で [はい] をクリックすると、選択したマスタが削除されます。
- ※ Delete キーを押すことでも削除できます。
- ④ 同様にして残りのマスタも削除します。ここでは、「1: 木造タイプ」のマスタ (No.1~No.75) のうち、使わなかったマスタを削除しています。

内壁仕上マスタ選択 <c:\Watzero自社用マスタ\WATERMASTER\仕上\住宅用>

No.	チェック	識別名	壁	腰壁	巾木	巻居	見切	タイプ	壁仕上 名称・摘要	厚み	壁下地 名称・摘要
1	<input type="checkbox"/>	クロス 木製						一般	ビニール加 ス	0.0	石膏ボード t=12.5
2	<input type="checkbox"/>	耐水クロス 木製						一般	耐水ビニール加 ス	0.0	耐水石膏ボード t=12.5
3	<input type="checkbox"/>	クロス タイル						一般	ビニール加 ス	0.0	石膏ボード t=12.5
4	<input type="checkbox"/>	ビニール加ス(巾木もれみ)						一般	ビニール加 ス AAガラス	0.0	PB下地 t=12.5
5	<input type="checkbox"/>	ビニール加ス(腰版)						一般	ビニール加 ス AAガラス	0.0	コンクリ t=12.5
10	<input type="checkbox"/>	和風加ス						一般	アクリル系 AAガラス	0.0	コンクリ t=12.5

削除

削除 No. 4 を削除してもよろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

No.	チェック	識別名	壁	腰壁	巾木	巻居	見切	タイプ	壁仕上 名称・摘要	厚み	壁下地 名称・摘要
1	<input type="checkbox"/>	クロス 木製						一般	ビニール加 ス	0.0	石膏ボード t=12.5
2	<input type="checkbox"/>	耐水クロス 木製						一般	耐水ビニール加 ス	0.0	耐水石膏ボード t=12.5
3	<input type="checkbox"/>	クロス タイル						一般	ビニール加 ス	0.0	石膏ボード t=12.5
4											
5											
6											
7	<input type="checkbox"/>	クロス(ボーダー)木製						一般	ビニール加 ス	0.0	石膏ボード t=12.5
8											
9											
10											

- マスタを移動する -

- ① [一覧編集] を ON にします。
 - ② 「No.7: クロス (ボーダー) 木製」 を選びます。
 - ③ [上移動] をクリックしてマスタを移動します。
- ④ 同様にして残りのマスタも移動します。ここでは、一覧のマスタを見やすくするために、タイプごとに 1 行空けて登録しています。

内壁仕上マスタ選択 <c:\Watzero自社用マスタ\WATERMASTER\仕上\住宅用>

No.	チェック	識別名	壁	腰壁	巾木	巻居	見切	タイプ	壁仕上 名称・摘要	厚み	壁下地 名称・摘要
1	<input type="checkbox"/>	クロス 木製						一般	ビニール加 ス	0.0	石膏ボード t=12.5
2	<input type="checkbox"/>	耐水クロス 木製						一般	耐水ビニール加 ス	0.0	耐水石膏ボード t=12.5
3	<input type="checkbox"/>	クロス タイル						一般	ビニール加 ス	0.0	石膏ボード t=12.5
4	<input type="checkbox"/>	クロス(ボーダー)木製						一般	ビニール加 ス	0.0	石膏ボード t=12.5
5											
6	<input type="checkbox"/>	京壁(長押) 畳寄						一般	京壁仕上	10.0	ラスボード t=7
7	<input type="checkbox"/>	京壁 雑巾摺						一般	京壁仕上	10.0	ラスボード t=7
8											
9	<input type="checkbox"/>	ラワン合板 雑巾摺						一般	ラワン合板 t=5.5	10.0	下地なし
10											
11	<input type="checkbox"/>	エポパズ壁						モルタル		1.0	下地なし
12											

保存

マスタが変更されています。保存しますか?

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

終了

以上で、内壁仕上マスタが登録できました。マスタを更新して終了しましょう。

- ⑤ [一覧編集] を OFF にします。
- ⑥ [終了] をクリックします。
- ⑦ 確認画面で [はい] をクリックします。

2-5 [共通マスタ] 床仕上マスタの登録

床仕上マスタには、自社の部屋仕様にあわせて床の仕上・下地の仕様を登録しておきます。

矩計図などの図面で使用される根太・大引の情報も登録できるため、同じ仕上でも、1階用と2階用に分けてマスタを用意しておきます。

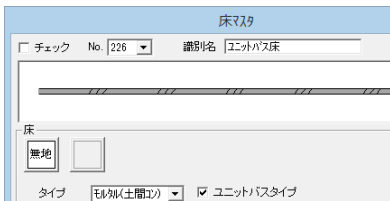
1 階用の床仕様を編集する

① 床仕上マスタを開きます。

内壁仕上マスタと同様に、標準マスタの内容を変更して自社の床仕様を登録します。

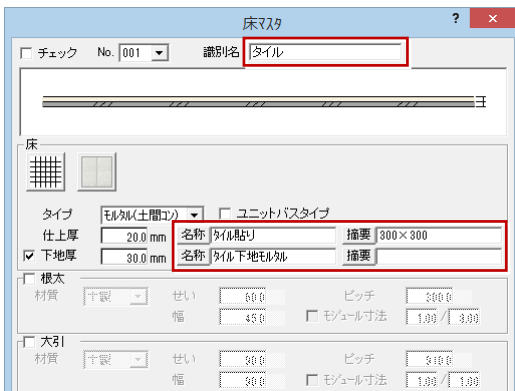
▼UB

「No.226：ユニットバス床」をそのまま使用



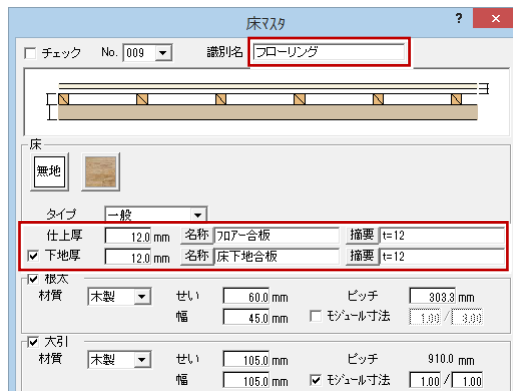
▼玄関

「No.1：300角タイル」を編集



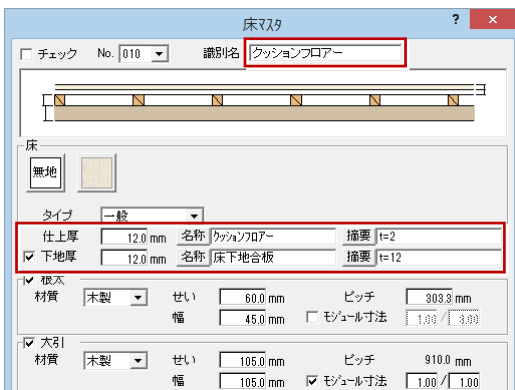
▼ホール・LDK など

「No.9：フローリング」を編集



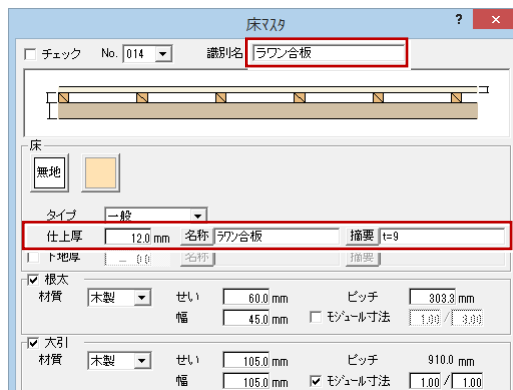
▼トイレ・洗面脱衣室

「No.10：クッションフロア」を編集



▼階段

「No.14：ラワン合板張り」を編集



マスタの削除・移動を行って、使いやすいように並び替えておきます。



2 階用の床仕様を編集する

- ① [ページ名称] を「2：木造2階タイプ」に変更します。
一覧が「No.76」から表示されます。
- ② 1階と同様にして、床仕様を編集します。

床仕上り選択 <c:\yatzero\自社用マスタ\yatzeromaster\仕上り住宅用>

No.	チェック	識別名	床	床タイプ	仕上		下地	
					名称・摘要	厚み	名称・摘要	厚み
76	<input type="checkbox"/>							
77	<input type="checkbox"/>	300角タイル		一般	セラミックタイル 300×300	200	珪藻土合板	150
78	<input type="checkbox"/>	150角タイル		一般	セラミックタイル 150×150	200	珪藻土合板	150
79	<input type="checkbox"/>	100角タイル		一般	セラミックタイル 100×100	200	珪藻土合板	150
80	<input type="checkbox"/>	モザイクタイル50角		一般	角モザイクタイル 50×50	200	珪藻土合板	150
81	<input type="checkbox"/>	珪藻土土間工		珪藻土土間工	珪藻土土間工	300	下地なし	0.0

▼ホール・寝室など
「No.86：フローリング」を編集

床マスタ

チェック No. 086 識別名 フローリング

床

無地

タイプ 一般

仕上厚 12.0 mm 名称 フロー合板 摘要 t=12

下地厚 12.0 mm 名称 床下地合板 摘要 t=12

根太
材質 木製 せい 105.0 mm ピッチ 303.3 mm
幅 45.0 mm モジュール寸法 1.00 / 3.00

大引
材質 干製 せい 90.0 mm ピッチ 910.0 mm
幅 90.0 mm モジュール寸法 1.00 / 1.00

▼トイレ
「No.87：クッションフロア」を編集

床マスタ

チェック No. 087 識別名 クッションフロア

床

無地

タイプ 一般

仕上厚 12.0 mm 名称 クッションフロア 摘要 t=2

下地厚 12.0 mm 名称 床下地合板 摘要 t=12

根太
材質 木製 せい 105.0 mm ピッチ 303.3 mm
幅 45.0 mm モジュール寸法 1.00 / 3.00

大引
材質 干製 せい 90.0 mm ピッチ 910.0 mm
幅 90.0 mm モジュール寸法 1.00 / 1.00

▼和室
「No.92：畳敷き」を編集

床マスタ

チェック No. 092 識別名 畳敷き

床

無地

タイプ 畳床

仕上厚 54.0 mm 名称 畳 摘要

下地厚 12.0 mm 名称 床下地合板 摘要 t=12

根太
材質 木製 せい 105.0 mm ピッチ 364.0 mm
幅 45.0 mm モジュール寸法 1.00 / 3.00

大引
材質 干製 せい 90.0 mm ピッチ 910.0 mm
幅 90.0 mm モジュール寸法 1.00 / 1.00

▼床の間・押入
「No.90：ラワン合板張り」を編集

床マスタ

チェック No. 090 識別名 ラワン合板

床

無地

タイプ 一般

仕上厚 12.0 mm 名称 ラワン合板 摘要 t=9

下地厚 0.0 mm 名称

根太
材質 木製 せい 105.0 mm ピッチ 303.3 mm
幅 45.0 mm モジュール寸法 1.00 / 3.00

大引
材質 干製 せい 90.0 mm ピッチ 910.0 mm
幅 90.0 mm モジュール寸法 1.00 / 1.00

▼バルコニー
「No.84：FRP防水」を編集

床マスタ

チェック No. 084 識別名 バルコニーFRP

床

無地

タイプ 一般

仕上厚 20.0 mm 名称 FRP 摘要 2層

下地厚 12.0 mm 名称 床下地合板 摘要 t=12

根太
材質 干製 せい 45.0 mm ピッチ 90.0 mm
幅 45.0 mm モジュール寸法 1.00 / 3.00

大引
材質 干製 せい 90.0 mm ピッチ 910.0 mm
幅 90.0 mm モジュール寸法 1.00 / 1.00

マスタの削除・移動を行って、使いやすいように並び替えておきます。
マスタを更新して終了します。

床仕上り選択 <c:\yatzero\自社用マスタ\yatzeromaster\仕上り住宅用>

No.	チェック	識別名	素材	床タイプ	仕上		下地	
					名称・摘要	厚み	名称・摘要	厚み
76	<input type="checkbox"/>	フローリング		一般	フロー合板 t=12	12.0	床下地合板 t=12	12.0
77	<input type="checkbox"/>	クッションフロア		一般	クッションフロア t=2	12.0	床下地合板 t=12	12.0
78								
79	<input type="checkbox"/>	畳敷き		畳床	畳	54.0	床下地合板 t=12	12.0
80	<input type="checkbox"/>	ラワン合板		一般	ラワン合板 t=9	12.0	下地なし	0.0
81								
82	<input type="checkbox"/>	バルコニーFRP		一般	FRP 2層	20.0	床下地合板 t=12	12.0
83								
84								
85								

終了 複写 削除 上書 処理

保存

マスタが変更されています。保存しますか？

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

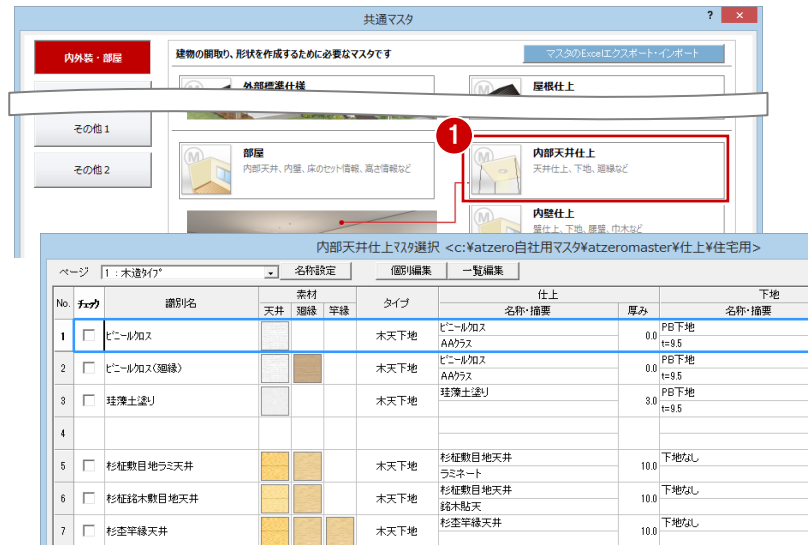
2-6 [共通マスタ] 内部天井仕上マスタの登録

内部天井仕上マスタには、自社の部屋仕様にあわせて天井の仕上・下地、廻縁の仕様を登録しておきます。

天井仕様を編集する

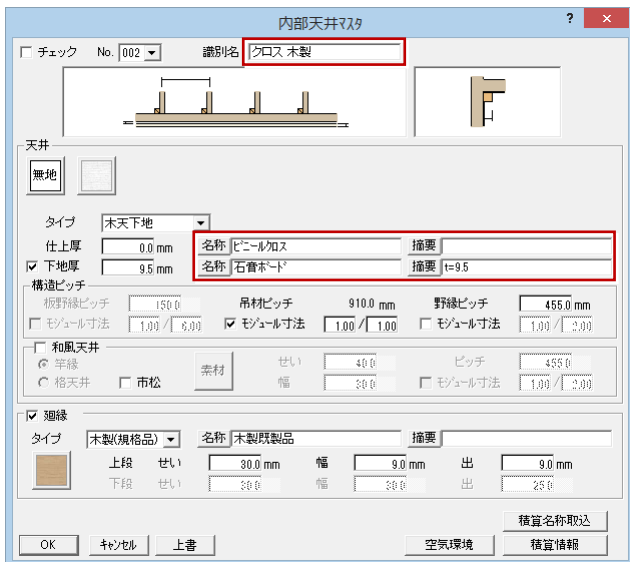
① 内部天井仕上マスタを開きます。

内壁仕上マスタと同様に、標準マスタの内容を変更して自社の天井仕様を登録します。



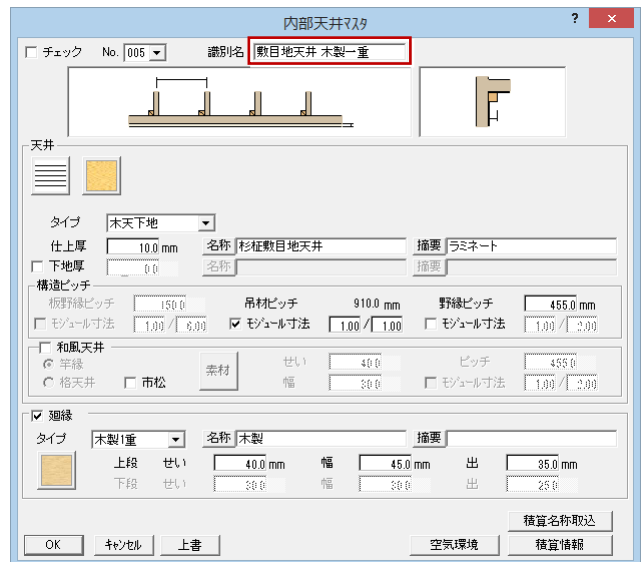
▼玄関・ホール・LDK など

「No.2：ビニールクロス（廻縁）」を編集



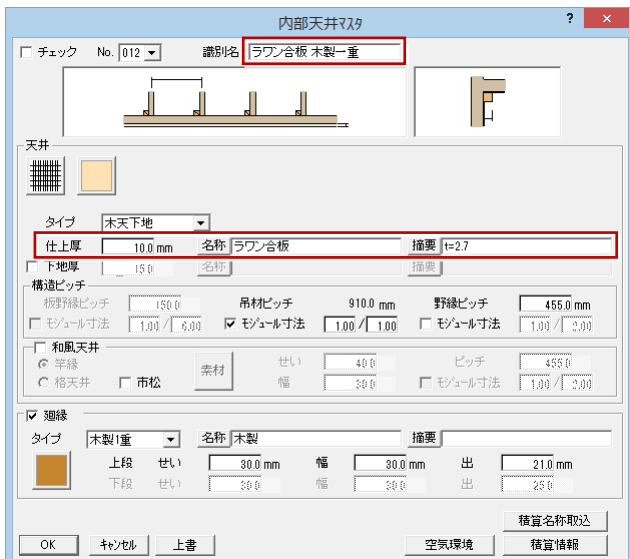
▼和室・床の間

「No.5：杉桁敷目地ラミ天井」を編集



▼押入

「No.12：押入ボード」を編集



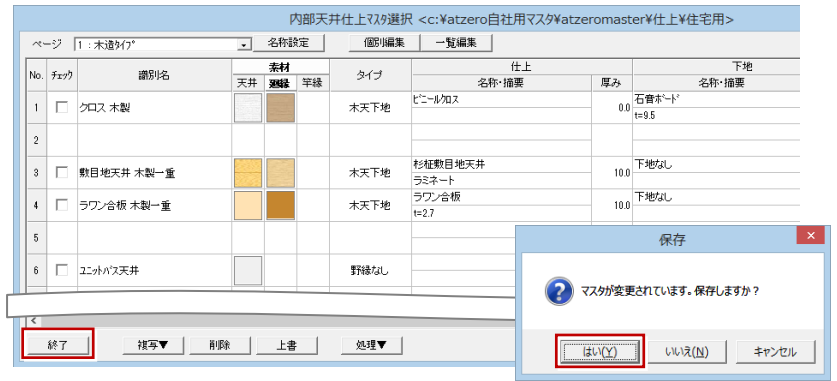
▼UB

「No.226：ユニットバス天井」をそのまま使用



マスタの削除・移動を行って、使いやすいように並び替えておきます。

マスタを更新して終了します。

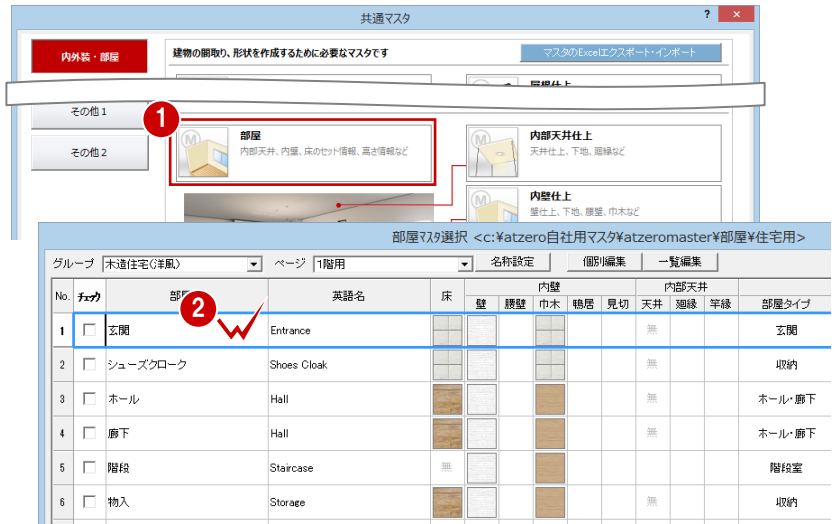


2-7 [共通マスタ] 部屋マスタの登録

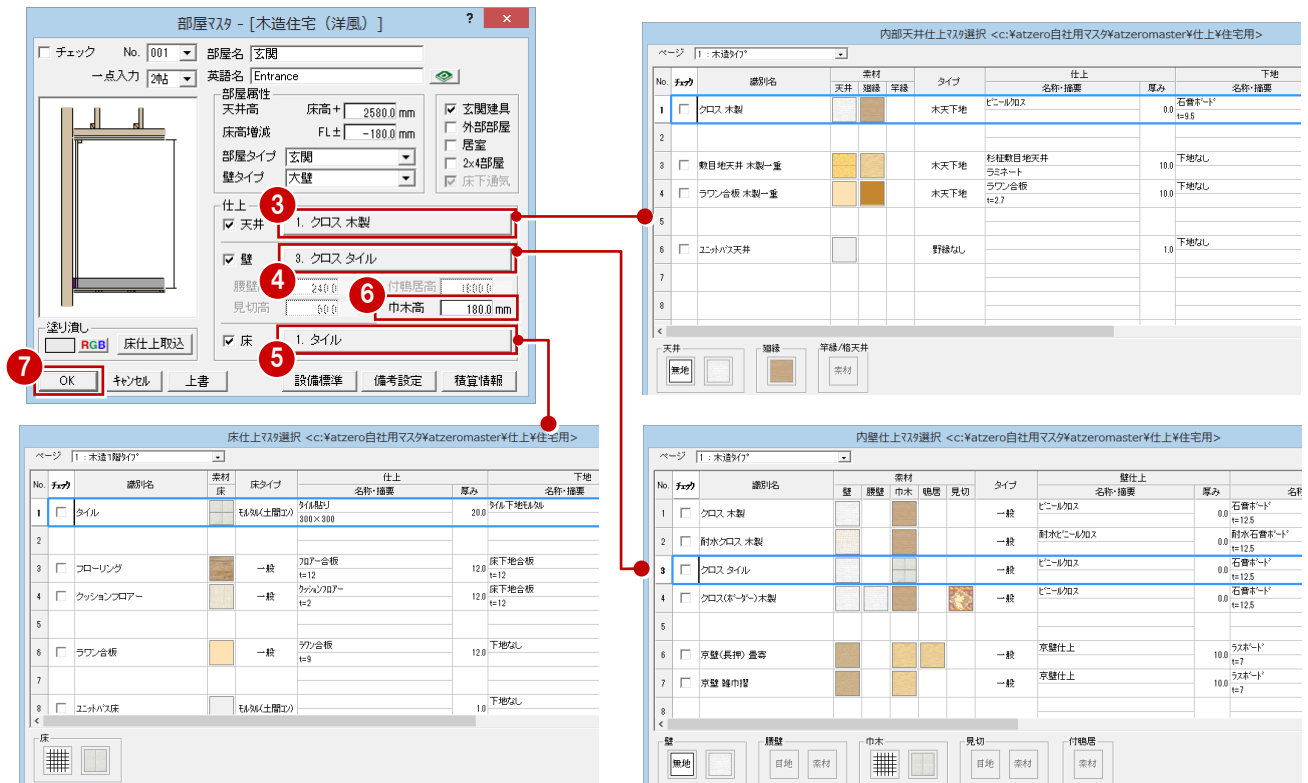
部屋マスタには、自社の部屋仕様（部屋名・天井高・床高増減・壁仕上・床仕上・天井仕上など）を登録しておきます。壁仕上・床仕上・天井仕上は、先ほど登録した各仕上マスタから仕様を割り当てます。部屋マスタは、平面図で入力する部屋データの初期値になります。

1 階用の部屋仕様を編集する

- ① 部屋マスタを開きます。
- ② 一覧から「No.1：玄関」をダブルクリックして編集画面を開きます。
- ③～⑤ [天井] [壁] [床] の仕上をクリックして、下図のように一覧から仕様を選びます。
- ⑥ [巾木高] を設定します。
- ⑦ [OK] をクリックすると [部屋マスタ選択] ダイアログに戻ります。



▼1階 玄関 「No.1：玄関」を編集



2 自社用マスタの作成

▼1階 ホール 「No.3 : ホール」を編集

部屋マスタ - [木造住宅 (洋風)]

チェック No. 003 部屋名 |ホール|

一点入力 2階 英語名 |Hall|

部屋属性
天井高 床高+ 2400.0 mm
床高増減 FL± 0.0 mm
部屋タイプ |ホール/廊下|
壁タイプ |大壁|

仕上
 天井 1. クロス木製
 壁 1. クロス木製
床 3. フローリング

床高増減 FL± 0.0 mm
見切高 25 巾木高 60.0 mm

塗り直し RGB 床仕上取込

OK キャンセル 上書 設備標準 備考設定 積算情報

▼1階 LDK 「No.8 : LDK」を編集

部屋マスタ - [木造住宅 (洋風)]

チェック No. 008 部屋名 |LDK|

一点入力 2階 英語名 |Living Dining Kitchen|

部屋属性
天井高 床高+ 2400.0 mm
床高増減 FL± 0.0 mm
部屋タイプ |居間|
壁タイプ |大壁|

仕上
 天井 1. クロス木製
 壁 1. クロス木製
床 3. フローリング

床高増減 FL± 0.0 mm
見切高 25 巾木高 60.0 mm

塗り直し RGB 床仕上取込

OK キャンセル 上書 設備標準 備考設定 積算情報

▼1階 物入 「No.6 : 物入」を編集

部屋マスタ - [木造住宅 (洋風)]

チェック No. 006 部屋名 |物入|

一点入力 2階 英語名 |Storage|

部屋属性
天井高 床高+ 2400.0 mm
床高増減 FL± 0.0 mm
部屋タイプ |収納|
壁タイプ |大壁|

仕上
 天井 1. クロス木製
 壁 1. クロス木製
床 3. フローリング

床高増減 FL± 0.0 mm
見切高 25 巾木高 60.0 mm

塗り直し RGB 床仕上取込

OK キャンセル 上書 設備標準 備考設定 積算情報

▼1階 家事室 「No.20 : ユーティリティー」を編集

部屋マスタ - [木造住宅 (洋風)]

チェック No. 020 部屋名 |ユーティリティー|

一点入力 2階 英語名 |Utility|

部屋属性
天井高 床高+ 2400.0 mm
床高増減 FL± 0.0 mm
部屋タイプ |脱衣室|
壁タイプ |大壁|

仕上
 天井 1. クロス木製
 壁 1. クロス木製
床 3. フローリング

床高増減 FL± 0.0 mm
見切高 25 巾木高 60.0 mm

塗り直し RGB 床仕上取込

OK キャンセル 上書 設備標準 備考設定 積算情報

▼1階 トイレ 「No.15 : トイレ」を編集

部屋マスタ - [木造住宅 (洋風)]

チェック No. 015 部屋名 |トイレ|

一点入力 2階 英語名 |Lavatory|

部屋属性
天井高 床高+ 2400.0 mm
床高増減 FL± 0.0 mm
部屋タイプ |便所|
壁タイプ |大壁|

仕上
 天井 1. クロス木製
 壁 2. 耐水クロス木製
床 4. クッションフロア

床高増減 FL± 0.0 mm
見切高 25 巾木高 60.0 mm

塗り直し RGB 床仕上取込

OK キャンセル 上書 設備標準 備考設定 積算情報

▼1階 洗面脱衣室 「No.16 : 洗面脱衣室」を編集

部屋マスタ - [木造住宅 (洋風)]

チェック No. 016 部屋名 |洗面脱衣室|

一点入力 2階 英語名 |Sanitary|

部屋属性
天井高 床高+ 2400.0 mm
床高増減 FL± 0.0 mm
部屋タイプ |洗面所|
壁タイプ |大壁|

仕上
 天井 1. クロス木製
 壁 2. 耐水クロス木製
床 4. クッションフロア

床高増減 FL± 0.0 mm
見切高 25 巾木高 60.0 mm

塗り直し RGB 床仕上取込

OK キャンセル 上書 設備標準 備考設定 積算情報

▼1階 UB 「No.17 : UB」を編集

部屋マスタ - [木造住宅 (洋風)]

チェック No. 017 部屋名 |UB|

一点入力 2階 英語名 |Bathroom|

部屋属性
天井高 床高+ 2200.0 mm
床高増減 FL± -20.0 mm
部屋タイプ |浴室(ユニットバス)|
壁タイプ |大壁|

仕上
 天井 6. エニツバ天井
 壁 11. エニツバ壁
床 8. エニツバ床

床高増減 FL± -20.0 mm
見切高 25 巾木高 100.0 mm

塗り直し RGB 床仕上取込

OK キャンセル 上書 設備標準 備考設定 積算情報

▼1階 階段 「No.5 : 階段」を編集

部屋マスタ - [木造住宅 (洋風)]

チェック No. 005 部屋名 |階段|

一点入力 2階 英語名 |Staircase|

部屋属性
天井高 床高+ 2500.0 mm
床高増減 FL± 0.0 mm
部屋タイプ |階段室|
壁タイプ |大壁|

仕上
 天井 1. クロス木製
 壁 1. クロス木製
床 6. ラワン合板

床高増減 FL± 0.0 mm
見切高 25 巾木高 0.0 mm

塗り直し RGB 床仕上取込

OK キャンセル 上書 設備標準 備考設定 積算情報

吹抜けになるように [天井] はOFF

同様に、残りの部屋も編集します。
マスタの削除・移動を行って、使いやすいように並び替えておきます。

No.	チェック	部屋名	英語名	床	壁	天井	内壁	内天井	部室タイプ	壁タイプ	天井高	床増減
1	<input type="checkbox"/>	玄関	Entrance						玄関	大壁	2500.0	-180.0
2	<input type="checkbox"/>	ホール	Hall						ホール・廊下	大壁	2400.0	0.0
3	<input type="checkbox"/>	LDK	Living Dining Kitchen						居間	大壁	2400.0	0.0
4	<input type="checkbox"/>	物入	Storage						収納	大壁	2400.0	0.0
5	<input type="checkbox"/>	ユーティリティ	Utility						脱衣室	大壁	2400.0	0.0
6												
7	<input type="checkbox"/>	洗面脱衣室	Sanitary						洗面所	大壁	2400.0	0.0
8	<input type="checkbox"/>	トイレ	Lavatory						便所	大壁	2400.0	0.0
9	<input type="checkbox"/>	UB	Bathroom						浴室(ユニットバス)	大壁	2200.0	-20.0
10												
11	<input type="checkbox"/>	階段	Staircase						階段室	大壁	-	0.0

2階用の部屋仕様を編集する

- ① [ページ] を「2階用」に変更します。一覧が「No.51」から表示されます。1階と同様にして、部屋を編集します。
- ※ 床仕上を変更するときは、2階用のマスタから選びます。

No.	チェック	部屋名	英語名	床	壁	天井	内壁	内天井	部室タイプ	壁タイプ	天井高	床増減
51	<input type="checkbox"/>	ホール	Hall						ホール・廊下	大壁	2400.0	0.0
52	<input type="checkbox"/>	廊下	Hall						ホール・廊下	大壁	2400.0	0.0
53	<input type="checkbox"/>	階段	Staircase						階段室	大壁	2400.0	-
54	<input type="checkbox"/>	物入	Storage						収納	大壁	2400.0	0.0
55	<input type="checkbox"/>	吹抜	Void						吹抜	大壁	2400.0	-
56												
57	<input type="checkbox"/>	寝室	Bedroom						寝室	大壁	2400.0	0.0
58	<input type="checkbox"/>	子供室	Child Room						子供室	大壁	2400.0	0.0

▼2階 ホール 「No.51 : ホール」を編集

▼2階 寝室 「No.57 : 寝室」を編集

▼2階 ウォークインクローゼット 「No.61 : ウォークインクローゼット」を編集

▼2階 和室 「No.80 : 和室 (真壁長押)」を編集

2 自社用マスタの作成

▼2階 床の間 「No.82 : 床の間 (真壁)」を編集

▼2階 押入 「No.75 : 押入」を編集

▼2階 トイレ 「No.67 : トイレ」を編集

▼2階 階段 「No.53 : 階段」を編集

▼2階 吹抜 「No.55 : 吹抜」を編集

マスタの削除・移動を行って、使いやすいように並び替えておきます。

マスタを更新して終了します。

部屋マスタ選択 <<c:\yatzero\自社用マスタ\yatzeromaster\部屋\住宅用>

No.	チェック	部屋名	英語名	床	壁	腰壁	巾木	巻居	見切	天井	窓枠	手縁	部屋タイプ	壁タイプ	天井高	床増減
51	<input type="checkbox"/>	ホール	Hall										ホール・廊下	大壁	2400.0	0.0
52	<input type="checkbox"/>	寝室	Bedroom										寝室	大壁	2400.0	0.0
53	<input type="checkbox"/>	ウォークインクローゼット	Walk-in Closet										ウォークインクローゼット	大壁	2400.0	0.0
54	<input type="checkbox"/>															
55	<input type="checkbox"/>	和室	Japanese Room										和室	真壁	2400.0	51.0
56	<input type="checkbox"/>	床の間	Alcove										床の間・仏間	真壁	2400.0	51.0
57	<input type="checkbox"/>	押入	Closet										押入	大壁	2400.0	50.0
58	<input type="checkbox"/>															
59	<input type="checkbox"/>	トイレ	Lavatory													
60	<input type="checkbox"/>															
61	<input type="checkbox"/>	階段	Staircase													
62	<input type="checkbox"/>	吹抜	Void													

保存

マスタが変更されています。保存しますか?

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

終了 検索▼ 上書 削除 処理▼

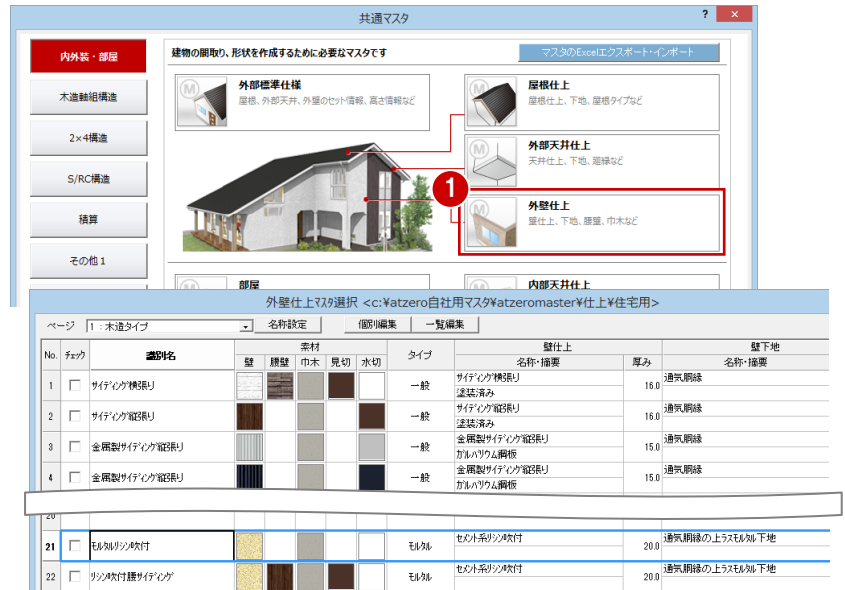
2-8 [共通マスタ] 外壁仕上マスタの登録

外壁仕上マスタには、自社の外部仕様にあわせて外壁の仕上・下地・外巾木の仕様を登録しておきます。

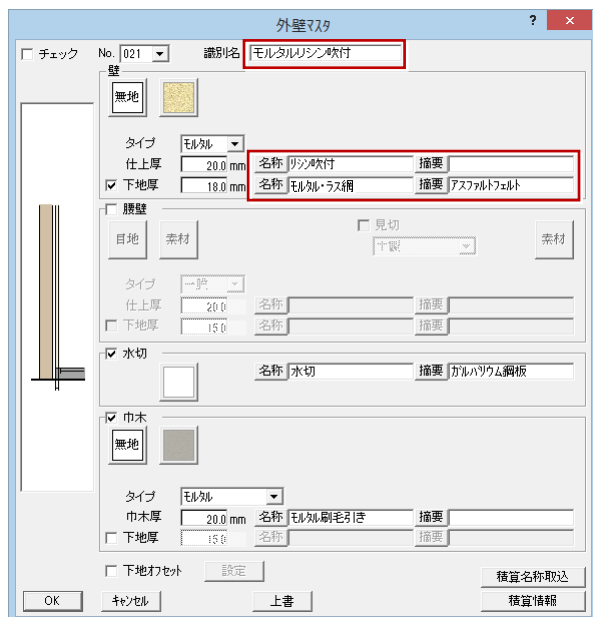
外壁仕様を編集する

① 外壁仕上マスタを開きます。

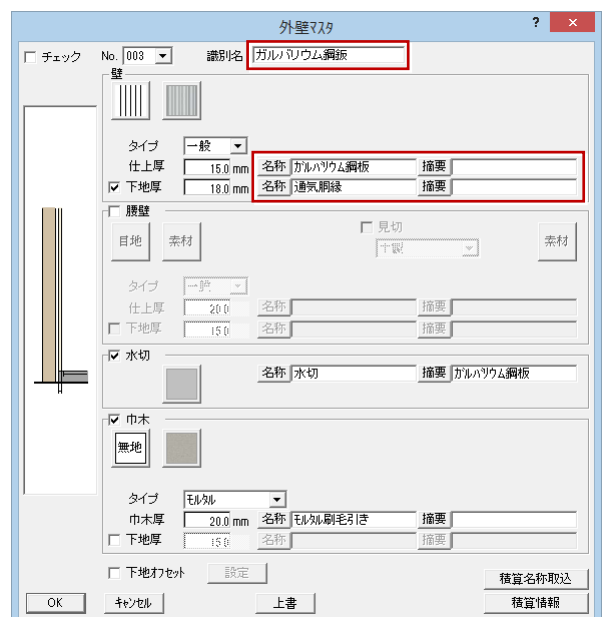
内壁仕上マスタと同様に、標準マスタの内容を変更して自社の壁仕様を登録します。



▼外壁 A 「No.21：モルタルリシン吹付」を編集

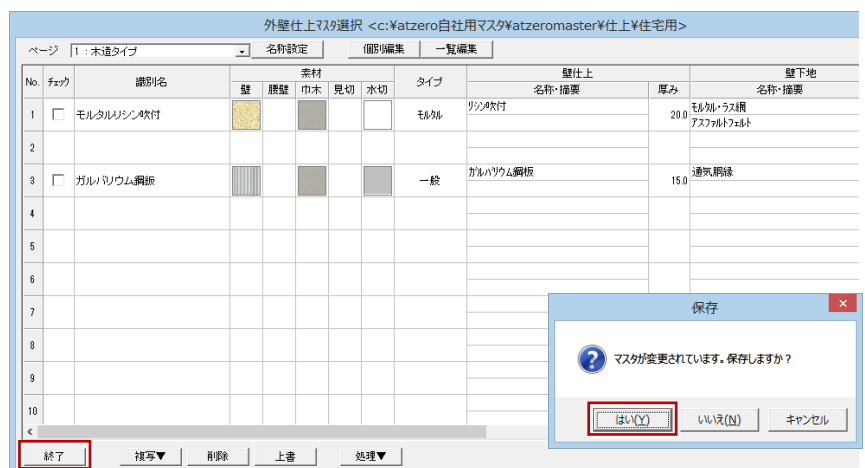


▼外壁 B 「No.3：金属製サイディング縦張り」を編集



マスタの削除・移動を行って、使いやすいように並び替えておきます。

マスタを更新して終了します。



2-9 [共通マスタ] 屋根仕上マスタの登録

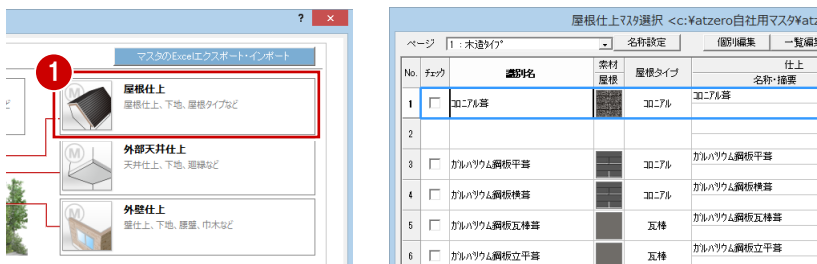
屋根仕上マスタには、自社の外部仕様にあわせて屋根・下地の仕様を登録しておきます。

屋根仕様を編集する

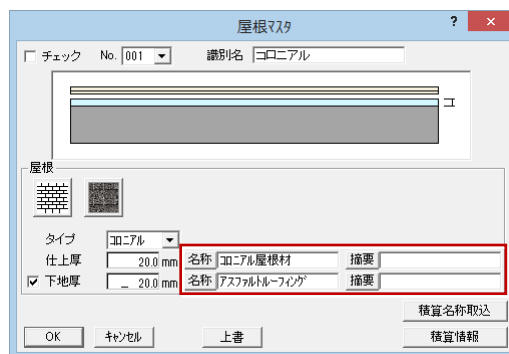
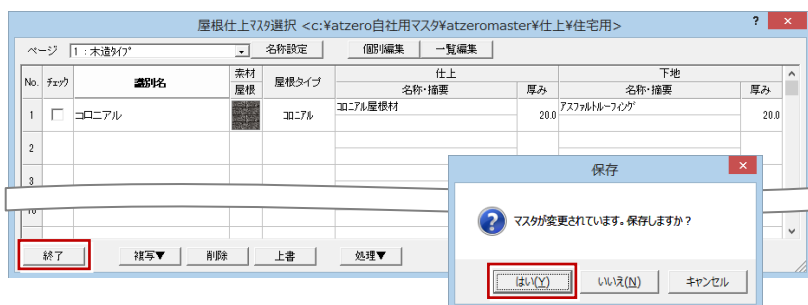
① 屋根仕上マスタを開きます。

内壁仕上マスタと同様に、標準マスタの内容を変更して自社の屋根仕様を登録します。

マスタの削除・移動を行って、使いやすいように並び替えておきます。
マスタを更新して終了します。



▼屋根 「No.1: コロニアル葺」を編集



2-10 [共通マスタ] 外部天井仕上マスタの登録

外部天井仕上マスタには、自社の外部仕様にあわせて軒天井の仕上・下地、廻縁の仕様を登録しておきます。

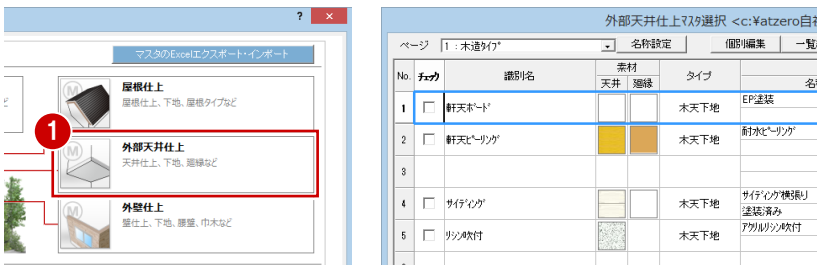
天井仕様を編集する

① 外部天井仕上マスタを開きます。

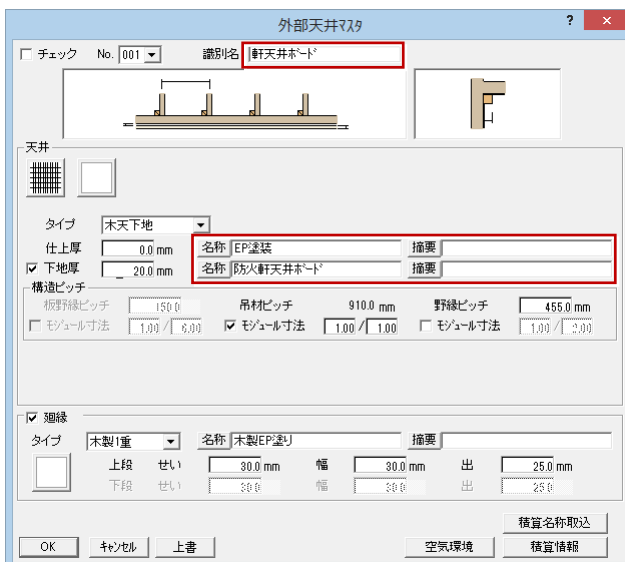
② 内壁仕上マスタと同様に、標準マスタの内容を変更して自社の天井仕様を登録します。

マスタの削除・移動を行って、使いやすいように並び替えておきます。

マスタを更新して終了します。



▼軒天井 「No.1: 軒天ボード」を編集



2-11 [共通マスタ] 外部標準マスタの登録

外部標準マスタには、自社の外部仕様（屋根勾配・軒天形状、外壁仕上・屋根仕上・軒天仕上など）を登録しておきます。外壁仕上・屋根仕上・軒天仕上は、先ほど登録した各仕上マスタから仕様を割り当てます。

外部仕様を編集する

- 外部標準マスタを開きます。
- 一覧から「No.1: 平板瓦_サイディング横」をダブルクリックして編集画面を開きます。
- 識別名や軒先・軒天形状、勾配などを設定します。
- ～7 [屋根] [軒天] [外壁] の仕上をクリックして、下図のように一覧から仕様を選びます。
- [OK] をクリックすると [外部標準マスタ選択] ダイアログに戻ります。
- 同様にして、他の外部仕様も登録します。

▼外部仕様 A 「No.1: 平板瓦_サイディング横」を編集

▼外部仕様 B 「No.2: 和瓦_サイディング横」を編集

マスタの削除・移動を行って、使いやすいように並び替えておきます。マスタを更新して終了します。

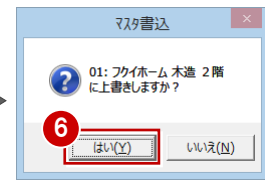
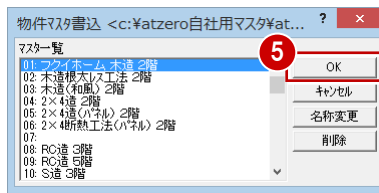
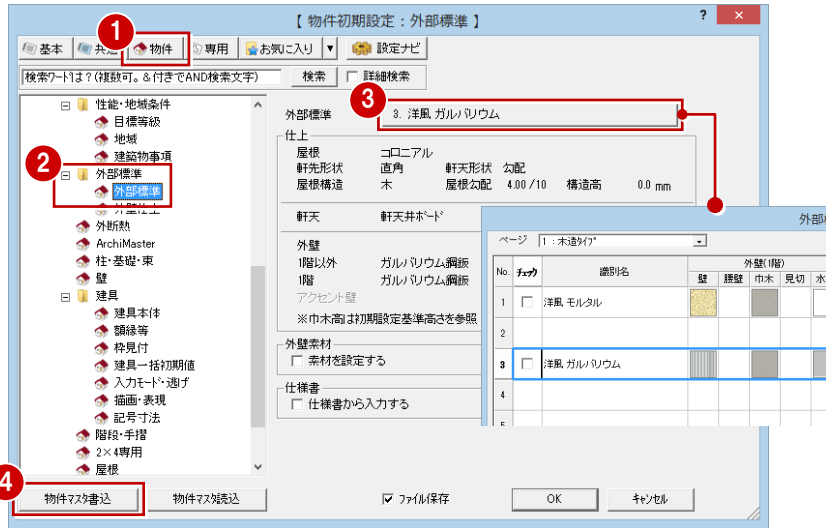
2 自社用マスタの作成

物件マスタを更新する

自社物件で使用する外部標準マスタを物件マスタに書き込んでおきましょう。

複数登録した場合は、よく使うマスタを書き込んでおきます。

- 1 2 [物件初期設定 (外部標準-外部標準)] ダイアログを開きます。
- 3 [外部標準] をクリックして、初期値として使用する外部標準マスタを選びます。
- 4~6 [物件マスタ書込] をクリックして、自社用の物件マスタを更新します。

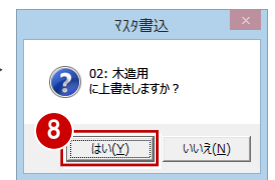
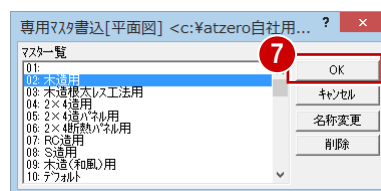
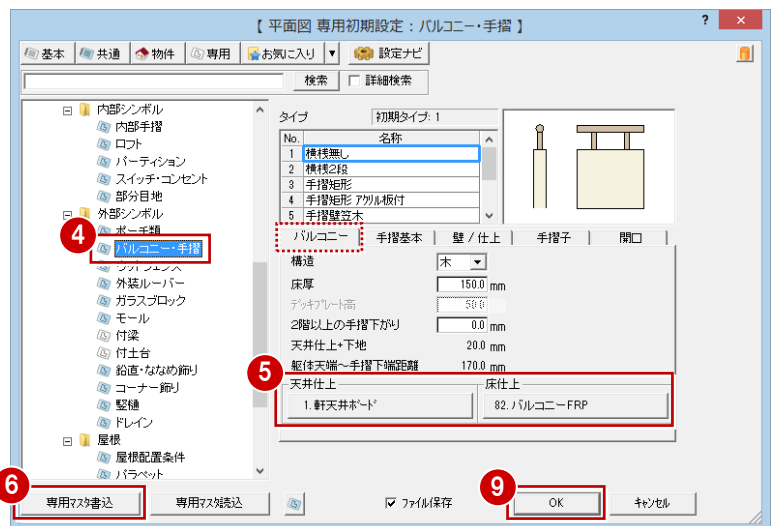
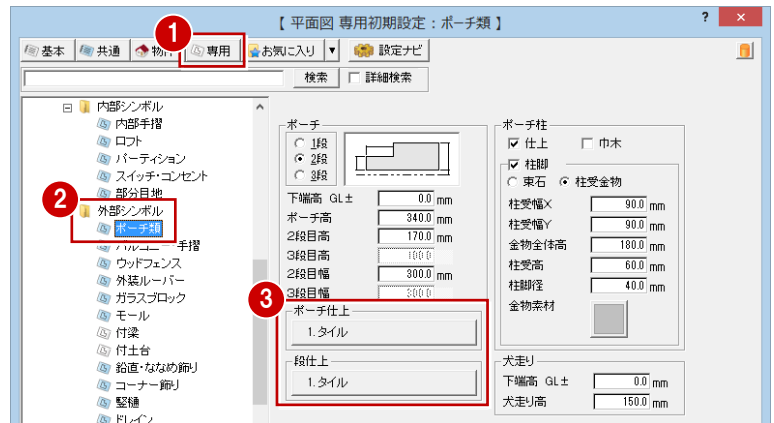


専用マスタを更新する

仕上マスタを削除したり並び替えたときは、壁や床の仕上が影響する専用初期設定も確認が必要です。

ここでは、ポーチやバルコニー手摺の設定を変更して、専用マスタに書き込みましょう。

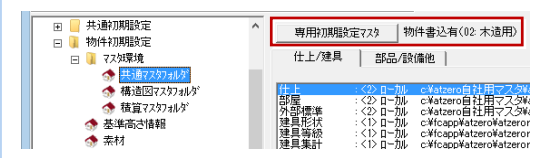
- 1 2 [平面図 専用初期設定 (外部シンボル-ポーチ類)] ダイアログを開きます。
- 3 [ポーチ仕上] [段仕上] をクリックして、使用する床仕上マスタを選びます。
- 4 5 [平面図 専用初期設定 (外部シンボル-バルコニー・手摺)] ダイアログを開いて、[バルコニー] タブの [天井仕上] [床仕上] を設定します。
- 6~8 [専用マスタ書込] をクリックして、専用マスタ (ここでは「02: 木造用」) を更新します。
- 9 [OK] をクリックします。



専用マスタについて

図面を入力する際の作図条件は各図面の専用初期設定で設定でき、書き込んだファイルを専用マスタといいます。

[物件初期設定 (マスタ環境-共通マスタフォルダ)] ダイアログの [専用初期設定マスタ] で、通常使用する専用マスタを割り当てておくと、新規物件作成時に選択した物件マスタから専用マスタも読み込まれるようになります。



※ この他に、「内部シンボル-内部手摺」「内部シンボル-ロフト」なども、設定の確認が必要です。

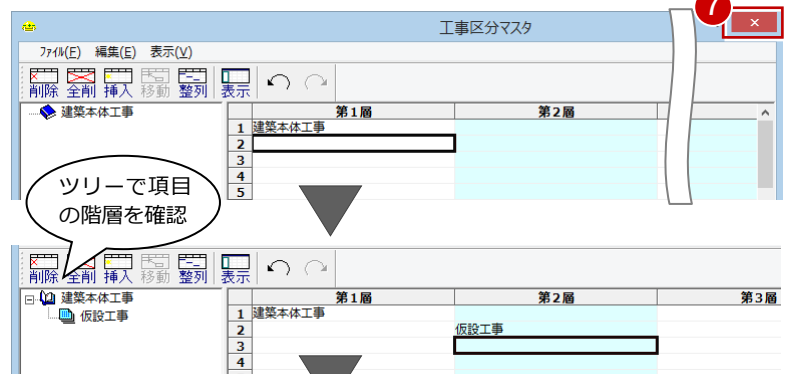
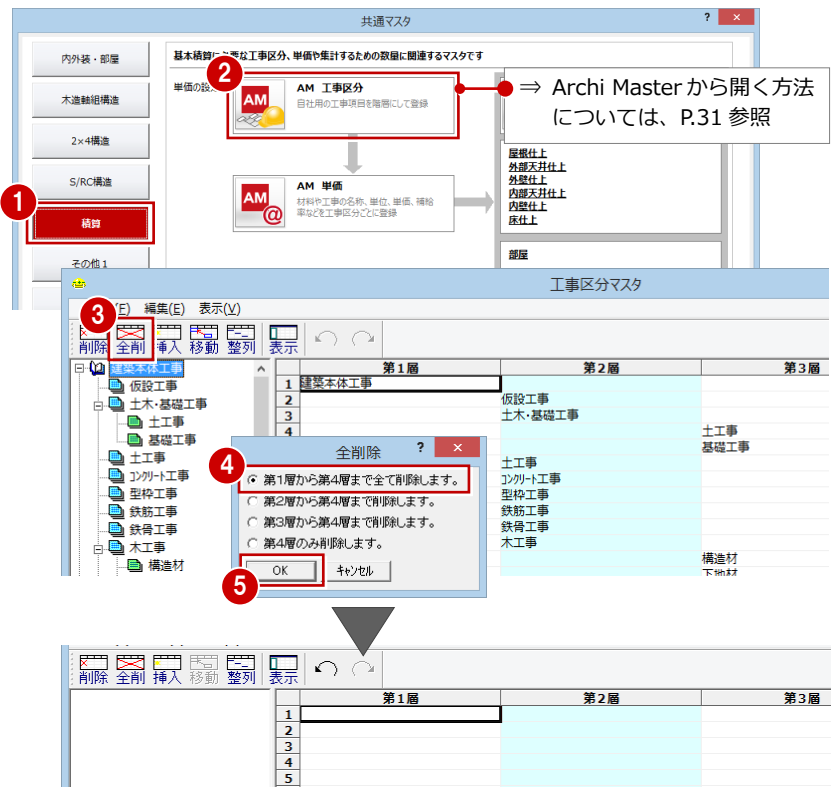
2-12 [積算マスタ] AM 工事区分マスタの登録

AM 工事区分マスタには、自社用の工事項目を階層にして登録しておきます。

ここでは、標準で用意されている工事項目をすべて削除してから、自社用の工事区分を登録してみましょう。

工事区分マスタを登録する

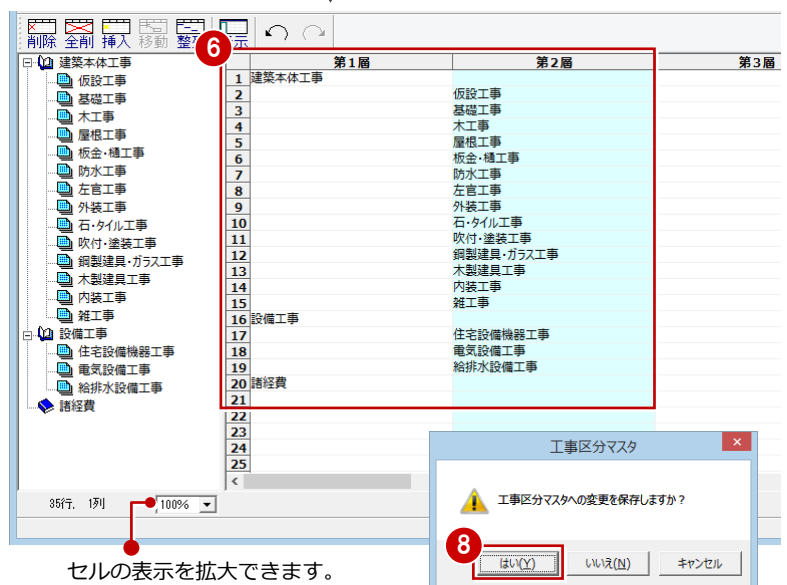
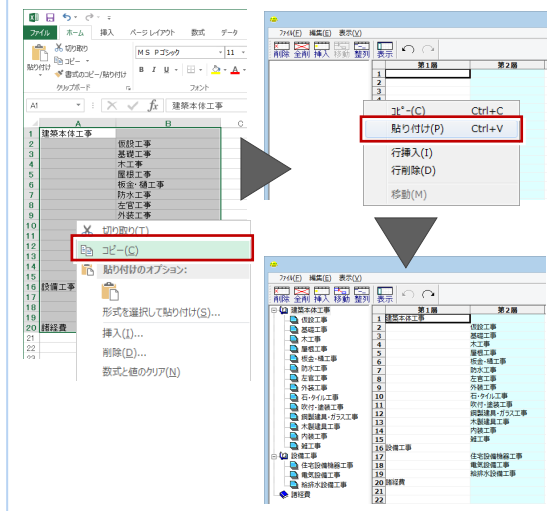
- 1 [共通マスタ] ダイアログの [積算] をクリックします。
- 2 [AM 工事区分] をクリックして AM 工事区分マスタを開きます。
- 3 [全削] をクリックします。
- 4 5 [第1層から第4層まで全て削除します。] が選択されていることを確認して、[OK] をクリックします。
工事区分がすべて削除されます。
- 6 セルに工事項目を入力していきます。
ここでは、右図のように登録します。
- 7 入力が終了したら、右上の [x] をクリックします。
- 8 確認画面で [はい] をクリックします。



工事項目の入力について

階層は4階層まで対応していますが、上層が入力されていないとき、その下層には入力できません。また、すでに工事項目が入力されているとき、別の階層に新しい項目を入力すると、入力済みの項目は自動的に消えます。

あらかじめ Excel のシートに工事項目を入力しておき、コピー&貼り付けの機能を使ってまとめて入力することも可能です。

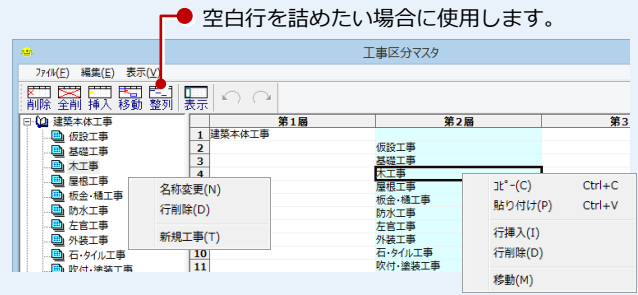


【補足】工事区分マスタの編集について

工事項目は、ツールバーやポップアップメニューから追加・削除、移動などの編集を行えます。

ポップアップメニューは、ツリーで右クリックした場合とセルで右クリックした場合では異なります。

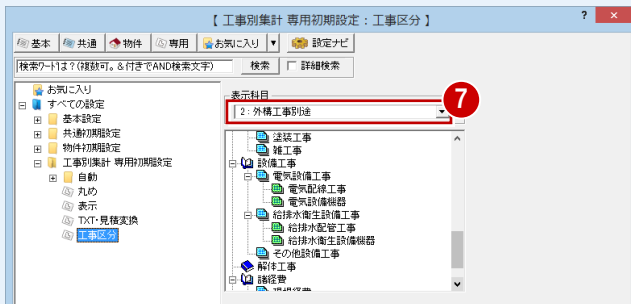
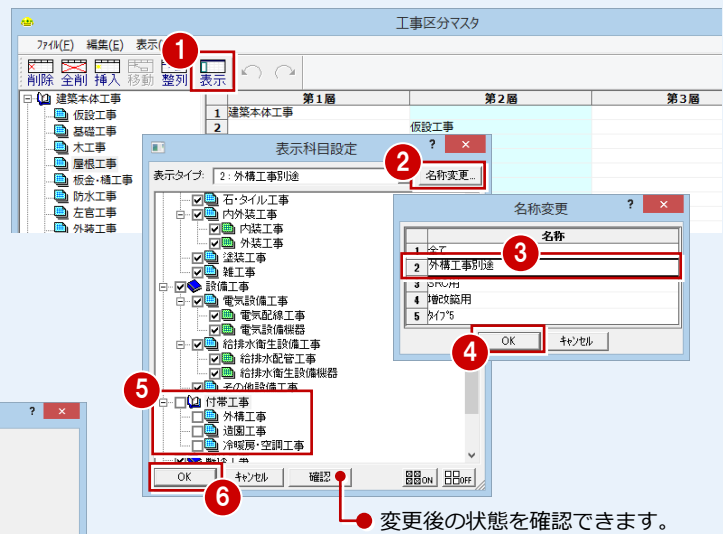
※【行削除】では、ツリー構成が成り立たなくなるような項目の削除はできません。その場合は先に下層の項目を削除してください。



■ 物件によって見積に出したくない工事項目がある場合

工事区分マスタでは、使用する工事項目を集計の際に切り替えられる「表示タイプ」を設定できます。物件によって使用しない工事項目でもすべて登録しておき、その後、工事項目の構成を設定します。

- 1 [表示] をクリックします。
- 2~4 [名称変更] を選択して、タイプ名を設定します。
- 5,6 ツリーから、表示したくない工事項目のチェックをはずして、[OK] をクリックします。
- 7 工事別集計で [専用初期設定 (工事区分)] ダイアログを開き、表示タイプを変更して集計を実行します。



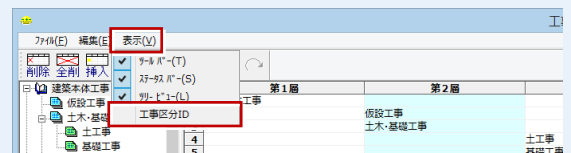
■ 積算マスタを構築後に工事区分マスタを変更するときは

単価マスタなどで参照される工事区分は「工事区分 ID」という識別番号によって管理されていて、工事区分マスタで工事項目を入力した順に番号が割り当てられています。

積算マスタ構築後に工事区分 ID が変わると、単価マスタなどでもその工事項目を割り当てていた箇所の修正が必要になるため、[表示] メニューの [工事区分 ID] で、工事区分 ID を確認しながら作業されることをお勧めします。

【工事名称を変えたい場合】

工事区分マスタでそのセルの内容を修正します。この場合、工事区分 ID は変わらないので、マスタを保存するだけで自動的に単価マスタなどへも変更内容が反映されます。

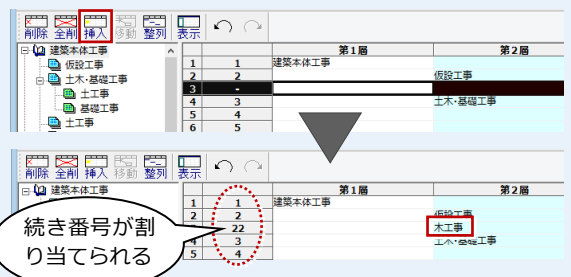


【工事項目を追加・移動・削除したい場合】

入力済みの項目の工事区分 ID が変わらないように、[挿入] [移動] [削除] を使って編集してください。

※【コピー】 & 【貼り付け】 で項目を移動してしまうと、工事項目に対する工事区分 ID が変わってしまうので、注意してください。

【工事項目を追加した例】



2-13 [積算マスタ] AM 単価マスタの登録

AM 単価マスタには、材料や工事の名称、単位、単価、補給率などを工事区分ごとに登録しておきます。計上される数量によって単価を変えたいときには、段階単価を登録することも可能です。

グループを設定する

積算情報を設定するとき単価マスタを使いやすいように、工事項目を用途別にまとめたグループを作成しておきましょう。

- 標準のグループを削除する -

- 1 AM 単価マスタを開きます。
- 2 [用途設定] をクリックします。
- 3 4 「1: 仮設・躯体」～「16: 」までを選択して、[マスタ削除] をクリックします。
- 5 6 [部材単価マスタ] [段階単価マスタ] の両方にチェックを付けて、[OK] をクリックします。
- 7 確認画面で [はい] をクリックします。

※ 本書では、玄関ドアやサッシ、既製品建具については、標準で用意されているマスタ「21: ガラス別積算_引違窓(新)」～「34: ガラス別積算単価 10」を使用するため、これらのグループは残しておきます。

- グループを登録する -

- 1 新しいグループの名称を登録します。
ここでは、右図のように入力します。
- 2 9 番のセルはダブルクリックだけして、名称のないグループを作っておきます。
グループを選ぶときに表示されるリストで、新しく作成したグループと標準マスタのグループの間に空白行が入り、見やすくなります。

1: 仮設・基礎
2: 木・屋根・板金・防水
3: 左官・タイル・塗装・内外装
4: 雑工事
5: 設備工事
6: 諸経費
7: 鋼製建具・ガラス
8: 木製建具工事
9:
21: ガラス別積算_引違窓(新)
22: ガラス別積算_引違戸(新)
23: ガラス別積算_洋窓(新)
24: 建具共通(新)
25: ガラス別積算単価1
26: ガラス別積算単価2
27: ガラス別積算単価3
28: ガラス別積算単価4
29: ガラス別積算単価5
30: ガラス別積算単価6
31: ガラス別積算単価7
32: ガラス別積算単価8
33: ガラス別積算単価9
34: ガラス別積算単価10

工事区分マスタ	単価マスタのグループ設定
建築本体工事	
仮設工事	1: 仮設・基礎
基礎工事	
木工事	2: 木・屋根・板金・防水
屋根工事	
板金・種工事	
防水工事	
左官工事	3: 左官・タイル・塗装・内外装
外装工事	
石・タイル工事	
吹付・塗装工事	
鋼製建具・ガラス工事	7: 鋼製建具・ガラス ※
木製建具工事	8: 木製建具工事 ※
内装工事	3: 左官・タイル・塗装・内外装
雑工事	4: 雑工事
設備工事	
住宅設備機器工事	
電気設備工事	5: 設備工事
給排水設備工事	
諸経費	6: 諸経費

※ 「21: ガラス別積算_引違窓(新)」～「34: ガラス別積算単価 10」も使用

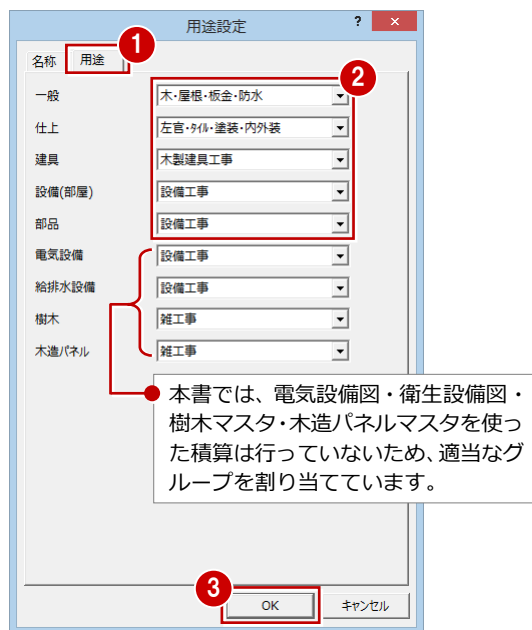
2 自社用マスタの作成

- 用途を設定する -

単価マスタを使用する場面にあわせて最初に表示されるグループを割り当てましょう。

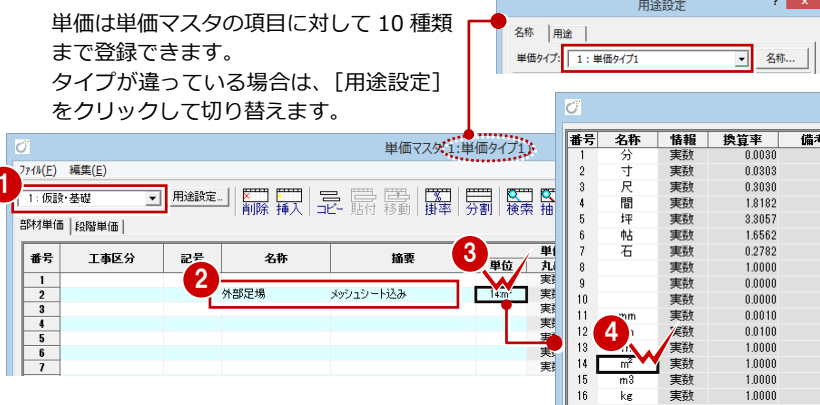
- 1 [用途] タブをクリックします。
- 2,3 ここでは、右図のように変更して、[OK] をクリックします。

用途	単価マスタを使用する場面
一般	部屋マスタ・外部標準マスタの備考用積算情報、AM 汎用数量コードの積算情報
仕上	各仕上マスタの積算情報
建具	AM 建具の積算情報
設備(部屋)	部屋マスタの設備用積算情報
部品	AM 部品の積算情報
電気設備	電気設備図の設備記号・配線シンボルなどの積算情報
給排水設備	衛生設備図の設備記号・配線シンボルなどの積算情報
樹木	樹木マスタの積算情報
木造パネル	木造パネルマスタの積算情報



単価マスタを登録する

- 1 グループを「1: 仮設・基礎」に切り替えます。
- 2 名称、摘要を入力します。
- 3,4 単位のセルをダブルクリックして、[単位設定] ダイアログから単位を選びます。
- 5 同様にして、他の行も入力します。



単価マスタの入力について

単位などは、入力済みのセルのコピー & 貼り付けで設定できます。

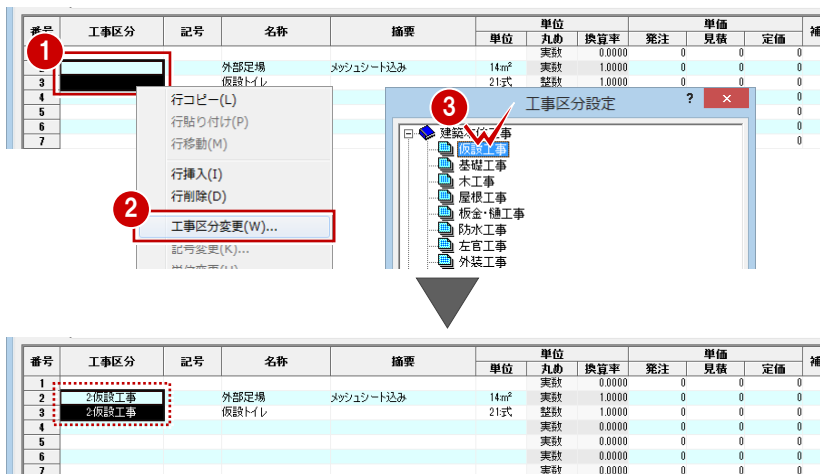
また、工事区分マスタと同様、Excel からのコピー & 貼り付けが有効です (ただし、工事区分や単位のように No で管理されているセルは対象外)。



- まとめて工事区分を設定する -

- 1,2 工事区分を設定したいセルをドラッグで選択し、ポップアップメニューから [工事区分変更] を選びます。
- 3 [工事区分設定] ダイアログから工事をダブルクリックして選択します。

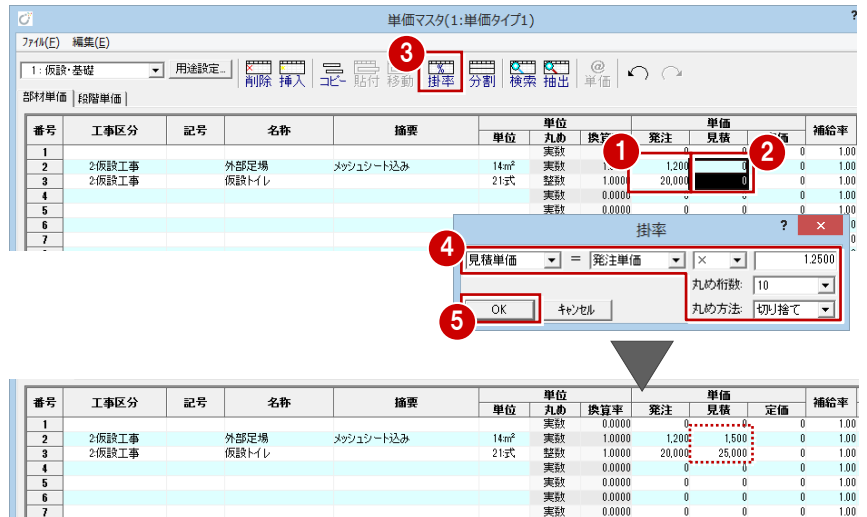
※ 個別に工事区分を変更する場合は、セルをダブルクリックして [工事区分設定] ダイアログから工事を選びます。



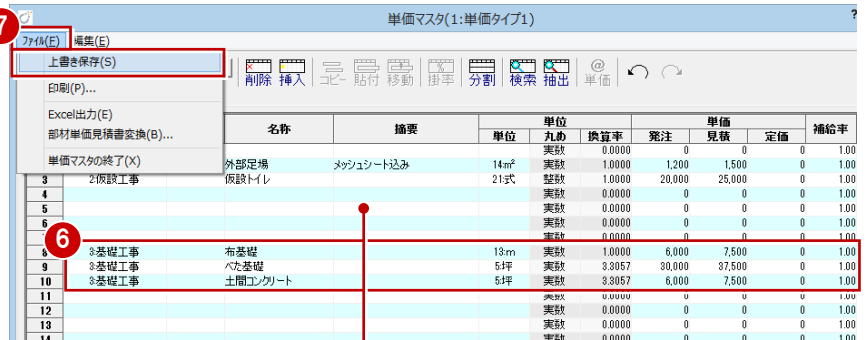
見積単価を発注単価の25%掛け(10円単位で切り捨て)に設定してみましょう。

- 掛率を使って単価を設定する -

- 1 発注単価を入力します。
- 2,3 見積単価のセルを選択して、[掛率]をクリックします。
- 4,5 [掛率]ダイアログで次のように設定し、[OK]をクリックします。
「見積単価」 = 「発注単価」 × 1.25
「丸め桁数」 : 10
「丸め方法」 : 切り捨て

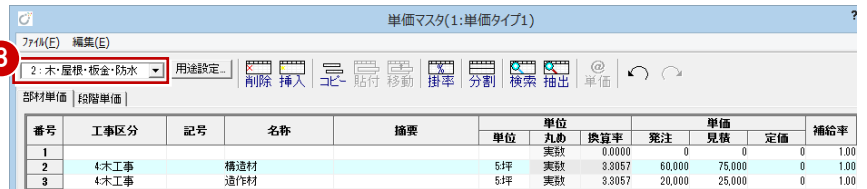


- 6 同様にして、他の工事の単価も入力します。
 - 7 [ファイル]メニューから[上書き保存]を選んで、随時マスタを保存します。
- ※ ここでは、数行しか登録していませんが、積算集計に必要な項目はすべて登録しておきましょう。



マスタ構築後の項目の追加に備えて、工事区分と次の工事区分の間は、適宜に行を空けておきましょう。

- 8 グループを変更して、項目を入力していきます。
- ⇒ 単価マスタの設定例については、P.34参照

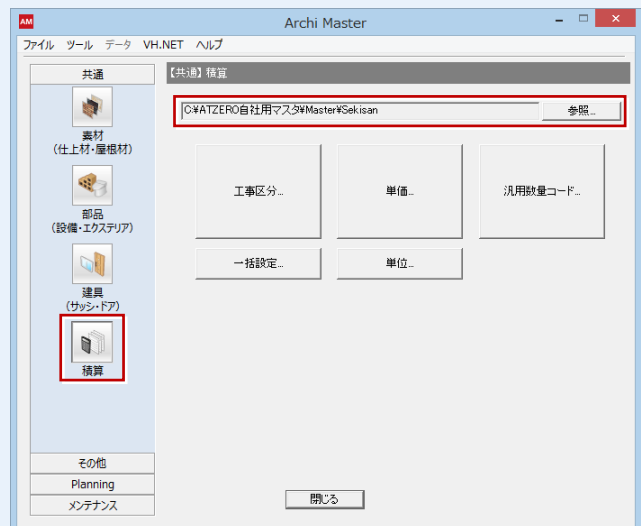


【補足】AM 積算マスタを Archi Master から開くには

工事区分マスタ・単価マスタ・単位設定・汎用数量コードの編集は Archi Master の [積算] から行えます。

[参照] をクリックして自社用マスタのフォルダに変更してから、各マスタのボタンを選択します。

工事区分	工事区分マスタの編集画面を開きます。
単価	単価マスタの編集画面を開きます。
単位	単位設定の編集画面を開きます。
汎用数量コード	汎用数量コードの編集画面を開きます。
一括設定	AM 建具・AM 部品の積算情報を個々のアイテムに登録している場合に、その工事区分だけをまとめて変更する機能です。本書では単価マスタを使うため、この機能は使用しません。



2 自社用マスタの作成

単位と換算率について

プログラムがデータから数量を拾う際、面積は㎡、長さはmの固定単位で拾います。㎡を枚数、mを本数などで集計したいときは、換算率を設定した単位を使用します。

910×1820 サイズの枚数で拾う場合、
 $0.91 \times 1.82 = 1.6562 \text{ m}^2$
 換算率 = 1.6562 / 整数

1本 4mの部材で拾う場合
 換算率 = 4 / 整数

番号	名称	情報	換算率	備考	番号	名称	情報	換算率	備考
1	分	実数	0.0030		21	式	整数	1.0000	
2	寸	実数	0.0303		22	本	整数	1.0000	
3	尺	実数	0.3030		23	個	整数	1.0000	
4	間	実数	1.8182		24	組	整数	1.0000	
5	坪	実数	3.3057		25	ヶ旭	整数	1.0000	
6	帖	実数	1.6562		26	箇所	整数	1.0000	
7	石	実数	0.2782		27	枚	整数	1.6562	910x1820
8		実数	1.0000		28	種	整数	1.0000	
156	反	整数	1.0000		176	門	実数	1.0000	
157	百m	実数	1.0000		177	ネット	実数	1.0000	
158	瓶	整数	1.0000		178	3.3m ²	実数	1.0000	
159	伏m ²	実数	1.0000		179	フーズ	実数	1.0000	
160	盤m ²	実数	1.0000		180	本	整数	4.0000	1本4m

単位を追加編集するには

例えば、1 ケース 24 本の換算率を新しく設定する場合は、次のように操作します。

- 1 [単位設定] ダイアログの [編集モード] を ON にします。
- 2 セルをダブルクリックして、単位の名称・換算率・備考などを入力します。
- 3 数量の扱い方について、整数 (小数点以下 切り上げ) で計上する場合は「整数」を、0.5、1、1.5、2...のように 0.5 単位で切り上げる場合は「0.5 単位」を選びます。
- 4 [OK] をクリックすると、追加編集した単位を設定できます。

24.0000 24本/ケース

0.5 単位

編集モード

補給率について

ロスが多い材料は、補給率を設定することで実際より多めに数量を拾うことができます。

補給率の考慮

[工事別集計 専用初期設定 (自動 - 集計条件)] ダイアログ、または [積算一括処理 4/5] ダイアログの [補給率を考慮する] が ON になっている場合に、補給率を考慮して集計されます。

工事区分	記号	名称	摘要	単位	丸め	換算率	発注	見積	定価	補給率	部材
4木工事		構造材		5坪	実数	3.3057	60,000	75,000	0	1.00	
4木工事		造作材		5坪	実数	3.3057	20,000	25,000	0	1.00	
4木工事		大工手間		5坪	実数	0.0000	0	0	0	1.00	
4木工事		床下地合板	t=12	27枚	実数	3.3057	28,000	35,000	0	1.00	
4木工事		ラワン合板 床	t=9	27枚	整数	0.0000	0	0	0	1.10	
4木工事		ラワン合板 壁	t=5.5	27枚	整数	1.6562	900	1,120	0	1.10	
4木工事		ラワン合板 天井	t=2.7	27枚	整数	1.6562	800	1,000	0	1.00	
4木工事		石膏ボード 壁	t=12.5	27枚	整数	1.6562	600	750	0	1.00	
4木工事		耐水石膏ボード 壁	t=12.5	27枚	整数	0.0000	0	0	0	1.10	
4木工事		石膏ボード 天井	t=9.5	27枚	整数	1.6562	300	370	0	1.10	
4木工事		ラスボード	t=7	27枚	実数	1.6562	1,200	1,500	0	1.00	
4木工事		杉趾敷目地天井	ラネネット	27枚	実数	0.0000	0	0	0	1.00	
4木工事		野地板		27枚	整数	1.6562	800	1,000	0	1.00	
4木工事		防火軒天井ボード		27枚	整数	0.0000	0	0	0	1.20	
4木工事		畳寄せ	4000×50×21	180本	整数	4.0000	600	750	0	1.00	
4木工事		雑巾割	4000×50×21	180本	整数	4.0000	200	250	0	1.00	
4木工事		和室廻縁	4000×36×30	180本	整数	4.0000	1,800	2,250	0	1.00	
					実数	0.0000	0	0	0	1.00	

段階単価を設定する

数量の範囲（段階）に応じて単価を変えたい場合は、段階単価を設定します。

ここでは、「雑工事」の「室内クリーニング」に、延床面積が100㎡未満の単価（1式いくら）と100㎡以上の単価（㎡いくら）を設定してみましょう。

- 1 [部材単価] タブで、延床面積が100㎡未満の単価と100㎡以上の単価を登録しておきます。
- 2 [段階単価] タブに切り替えます。
- 3 4 登録する行のセルを選択して、[単価] をクリックします（または、[¥] のセルをダブルクリックします）。
- 5~7 項目が登録されている場合は、全項目を選択して削除しておきます。

- 8 9 [工事区分] をクリックして、ツリーから「雑工事」を選びます。
- 10 [名称] に「室内クリーニング」、[摘要] に「100㎡未満は1式、100㎡以上は面積×単価」と入力します。
- 11 12 1行目のセルをダブルクリックして、[単価選択] ダイアログから「100㎡未満の単価」を選びます。
- 13 [段階数量] に「100」と入力します。
- 14 [1式] にチェックを付けます。
- 15 3行目のセルには「100㎡以上の単価」を設定します。
- 16 [OK] をクリックします。
「室内クリーニング」の段階単価が登録されます。

段階単価を3段階以上にする場合

2行目（*印）のセルをダブルクリックして、その間の単価を設定します。

名称	摘要	段階数量	1式
0013室内クリーニング	50㎡未満	50.00未満	<input checked="" type="checkbox"/>
0014室内クリーニング	50㎡以上100㎡未満	100.00未満	<input checked="" type="checkbox"/>
0015室内クリーニング	100㎡以上150㎡未満	150.00未満	<input checked="" type="checkbox"/>
* 0016室内クリーニング	150㎡以上	150.00以上	<input checked="" type="checkbox"/>

番号	工事区分	記号	名称	摘要	単位	丸め	換算率	発注	見積	定価	補給
1							0.0000	0	0	0	
2	15雑工事		防塵処理		14㎡	実数	1.0000	500	620	0	
3						実数	0.0000	0	0	0	
4						実数	0.0000	0	0	0	
5	15雑工事		畳 1帖		48枚	実数	1.0000	6,000	7,500	0	
6	15雑工事		畳 半帖		48枚	実数	1.0000	3,500	4,370	0	
7						実数	0.0000	0	0	0	
8	15雑工事		バルコニー葺木		18㎡	実数	1.0000	18,000	18,250	0	
9						実数	0.0000	0	0	0	
10	15雑工事		物干し金物		31ヶ外	実数	1.0000	10,000	12,500	0	
11						実数	0.0000	0	0	0	
12						実数	0.0000	0	0	0	
13	15雑工事		室内クリーニング	100㎡未満	21式	実数	1.0000	30,000	37,500	0	
14	15雑工事		室内クリーニング	100㎡以上	14㎡	実数	1.0000	300	370	0	
15						実数	0.0000	0	0	0	
16						実数	0.0000	0	0	0	

単価設定ダイアログボックスの「単価」ボタンが強調されています。

「工事区分」ツリーで「雑工事」が選択され、「単価選択」ダイアログで「100㎡未満の単価」が選ばれています。

最終的な「単価設定」ダイアログボックスの表示内容。

番号	工事区分	記号	名称	摘要
1				
2	15雑工事		室内クリーニング	100㎡未満は1式、100㎡以上は面積×単価
3				
4				

2 自社用マスタの作成

【本書での単価マスタ設定例】

部材単価マスタ【1:仮設・基礎】

番号	工事区分	記号	名称	摘要	単位	丸め	換算率	発注単価	見積単価	定価	補給率
1											
2	2:仮設工事		外部足場	メッシュシート込み	14:㎡	実数	1.0000	1,200	1,500	0	1.00
3	2:仮設工事		仮設トイレ		21:式	整数	1.0000	20,000	25,000	0	1.00
4											
5											
6											
7											
8	3:基礎工事		布基礎		13:m	実数	1.0000	6,000	7,500	0	1.00
9	3:基礎工事		べた基礎		5:坪	実数	3.3057	30,000	37,500	0	1.00
10	3:基礎工事		土間コンクリート		5:坪	実数	3.3057	6,000	7,500	0	1.00

部材単価マスタ【2:木・屋根・板金・防水】

番号	工事区分	記号	名称	摘要	単位	丸め	換算率	発注単価	見積単価	定価	補給率
1											
2	4:木工事		構造材		5:坪	実数	3.3057	60,000	75,000	0	1.00
3	4:木工事		造作材		5:坪	実数	3.3057	20,000	25,000	0	1.00
4											
5	4:木工事		大工手間		5:坪	実数	3.3057	28,000	35,000	0	1.00
6											
7	4:木工事		床下地合板	t=12	27:枚	整数	1.6562	1,000	1,250	0	1.10
8											
9	4:木工事		ラワン合板 床	t=9	27:枚	整数	1.6562	900	1,120	0	1.10
10	4:木工事		ラワン合板 壁	t=5.5	27:枚	整数	1.6562	800	1,000	0	1.00
11	4:木工事		ラワン合板 天井	t=2.7	27:枚	整数	1.6562	600	750	0	1.00
12											
13	4:木工事		石膏ボード 壁	t=12.5	27:枚	整数	1.6562	300	370	0	1.10
14	4:木工事		耐水石膏ボード 壁	t=12.5	27:枚	整数	1.6562	500	620	0	1.10
15	4:木工事		石膏ボード 天井	t=9.5	27:枚	整数	1.6562	200	250	0	1.10
16	4:木工事		ラスボード	t=7	27:枚	整数	1.6562	300	370	0	1.00
17											
18	4:木工事		杉柵敷目地天井	ラミネート	27:枚	整数	1.6562	1,200	1,500	0	1.00
19											
20	4:木工事		野地板		27:枚	整数	1.6562	800	1,000	0	1.00
21											
22	4:木工事		防火軒天井ボード		27:枚	整数	1.6562	2,100	2,620	0	1.20
23											
24											
25	4:木工事		畳寄せ	4000×50×21	180:本	整数	4.0000	600	750	0	1.00
26	4:木工事		雑巾摺り	4000×50×21	180:本	整数	4.0000	200	250	0	1.00
27	4:木工事		和室廻縁	4000×36×30	180:本	整数	4.0000	1,800	2,250	0	1.00
28											
29											
30	4:木工事		玄関 上り框	100×150×1950	22:本	整数	1.0000	6,000	7,500	0	1.00
31	4:木工事		玄関 付框	30×150×1950	22:本	整数	1.0000	5,000	6,250	0	1.00
32											
33	4:木工事		和室 長押	2間	22:本	整数	1.0000	2,000	2,500	0	1.00
34	4:木工事		和室 長押	1.5間	22:本	整数	1.0000	1,500	1,870	0	1.00
35	4:木工事		和室 付鴨居	6尺	22:本	整数	1.0000	800	1,000	0	1.00
36	4:木工事		和室 付鴨居	3尺	22:本	整数	1.0000	400	500	0	1.00
37											
38	4:木工事		前丸黒檀床柱		22:本	整数	1.0000	15,000	18,750	0	1.00
39	4:木工事		床の間セット	框付床板	31:セット	整数	1.0000	12,000	15,000	0	1.00
40											
41	4:木工事		押入 枕棚+中棚	1間	30:ヶ所	整数	1.0000	7,000	8,750	0	1.00
42											
43	4:木工事		キッチンカウンター	片面R 36×350×2500	30:ヶ所	整数	1.0000	13,000	16,250	0	1.00
44											
45	4:木工事		階段 I型		31:セット	整数	1.0000	120,000	150,000	0	1.00
46	4:木工事		階段 L型		31:セット	整数	1.0000	150,000	187,500	0	1.00
47	4:木工事		階段 U型		31:セット	整数	1.0000	200,000	250,000	0	1.00
48	4:木工事		階段連続手摺 I型		31:セット	整数	1.0000	17,000	21,250	0	1.00
49	4:木工事		階段連続手摺 L型		31:セット	整数	1.0000	20,000	25,000	0	1.00
50	4:木工事		階段連続手摺 U型		31:セット	整数	1.0000	22,000	27,500	0	1.00
51											
52											
53	4:木工事		バルコニー造作		21:式	整数	1.0000	100,000	125,000	0	1.00
54											
55											
56											
57											
58											

59	5:屋根工事		コロニアル屋根材		14:㎡	実数	1.0000	3,000	3,750	0	1.00
60											
61	5:屋根工事		アスファルトルーフィング		14:㎡	実数	1.0000	400	500	0	1.00
62											
63	5:屋根工事		雨押え		13:m	実数	1.0000	1,300	1,620	0	1.00
64											
65	5:屋根工事		谷板金		13:m	実数	1.0000	1,500	1,870	0	1.00
66											
67											
68											
69											
70											
71	6:板金・樋工事		土台水切		13:m	実数	1.0000	900	1,120	0	1.00
72											
73											
74											
75											
76											
77	7:防水工事		FRP		14:㎡	実数	1.0000	5,700	7,120	0	1.00

部材単価マスタ【3:左官・タイル・塗装・内外装】

番号	工事区分	記号	名称	摘要	単位	丸め	換算率	発注単価	見積単価	定価	補給率
1											
2	8:左官工事		基礎モルタル刷毛引き		14:㎡	実数	1.0000	1,000	1,250	0	1.00
3											
4	8:左官工事		タイル下地モルタル		14:㎡	実数	1.0000	1,200	1,500	0	1.00
5	8:左官工事		モルタル金コテ押さえ		14:㎡	実数	1.0000	2,200	2,750	0	1.00
6											
7	8:左官工事		アスファルトフェルト		14:㎡	実数	1.0000	2,500	3,120	0	1.00
8	8:左官工事		ラス網		14:㎡	実数	1.0000	2,000	2,500	0	1.00
9	8:左官工事		外壁モルタル刷毛引き		14:㎡	実数	1.0000	800	1,000	0	1.00
10											
11											
12	8:左官工事		京壁仕上げ		14:㎡	実数	1.0000	1,000	1,250	0	1.00
13											
14											
15											
16											
17											
18	9:外装工事		ガルバリウム鋼板	15×350×3790	14:㎡	実数	1.0000	6,300	7,870	0	1.00
19											
20											
21											
22											
23											
24	10:石・タイル工事		玄関タイル		14:㎡	実数	1.0000	10,000	12,500	0	1.00
25											
26											
27											
28											
29											
30	11:吹付・塗装工事		リシン吹付		14:㎡	実数	1.0000	700	870	0	1.00
31											
32	11:吹付・塗装工事		鼻隠し・破風 塗装		13:m	実数	1.0000	500	620	0	1.00
33											
34	11:吹付・塗装工事		軒天井 塗装		14:㎡	実数	1.0000	800	1,000	0	1.00
35											
36											
37											
38											
39											
40	14:内装工事		フロー合板		14:㎡	実数	1.0000	2,100	2,620	0	1.00
41	14:内装工事		クッションフロー		14:㎡	実数	1.0000	1,300	1,620	0	1.00
42											
43											
44	14:内装工事		ビニールクロス 壁		14:㎡	実数	1.0000	1,000	1,250	0	1.00
45	14:内装工事		耐水ビニールクロス 壁		14:㎡	実数	1.0000	1,200	1,500	0	1.00
46	14:内装工事		ボーダークロス		13:m	実数	1.0000	2,000	2,500	0	1.00
47											
48	14:内装工事		ビニールクロス 天井		14:㎡	実数	1.0000	1,000	1,250	0	1.00
49											
50											
51	14:内装工事		木製巾木	12.5×75×4000	180:本	整数	4.0000	10,000	12,500	0	1.00
52	14:内装工事		木製廻縁	25×51×4000	180:本	整数	4.0000	7,000	8,750	0	1.00

2 自社用マスタの作成

部材単価マスタ【4:雑工事】

番号	工事区分	記号	名称	摘要	単位	丸め	換算率	発注単価	見積単価	定価	補給率
1											
2	15:雑工事		防蟻処理		14:m ²	実数	1.0000	500	620	0	1.00
3											
4											
5	15:雑工事		畳 1帖		43:枚	整数	1.0000	6,000	7,500	0	1.00
6	15:雑工事		畳 半帖		43:枚	整数	1.0000	3,500	4,370	0	1.00
7											
8	15:雑工事		バルコニー笠木		13:m	実数	1.0000	13,000	16,250	0	1.00
9											
10	15:雑工事		物干し金物		31:セット	整数	1.0000	10,000	12,500	0	1.00
11											
12											
13	15:雑工事		室内クリーニング	100m ² 未満	21:式	整数	1.0000	30,000	37,500	0	1.00
14	15:雑工事		室内クリーニング	100m ² 以上	14:m ²	実数	1.0000	300	370	0	1.00

部材単価マスタ【5:設備工事】

番号	工事区分	記号	名称	摘要	単位	丸め	換算率	発注単価	見積単価	定価	補給率
1											
2	17:住宅設備機器工事		玄関収納	L=1260	21:式	整数	1.0000	68,000	85,000	0	1.00
3	17:住宅設備機器工事		玄関収納	L=1260 ミラー付	21:式	整数	1.0000	54,000	67,500	0	1.00
4											
5	17:住宅設備機器工事		システムキッチン	L=2550	21:式	整数	1.0000	460,000	575,000	0	1.00
6	17:住宅設備機器工事		ユニットバス	1坪タイプ	21:式	整数	1.0000	360,000	450,000	0	1.00
7	17:住宅設備機器工事		洗面化粧台	W=750	21:式	整数	1.0000	72,000	90,000	0	1.00
8	17:住宅設備機器工事		洋風便器		21:式	整数	1.0000	80,000	100,000	0	1.00
9											
10	17:住宅設備機器工事		紙巻き器		30ヶ所	整数	1.0000	1,000	1,250	0	1.00
11	17:住宅設備機器工事		タオル掛け		30ヶ所	整数	1.0000	800	1,000	0	1.00
12											
13											
14											
15											
16											
17	18:電気設備工事		電灯配線		30ヶ所	整数	1.0000	2,100	2,620	0	1.00
18	18:電気設備工事		スイッチ		30ヶ所	整数	1.0000	2,500	3,120	0	1.00
19	18:電気設備工事		3路スイッチ		30ヶ所	整数	1.0000	5,600	7,000	0	1.00
20	18:電気設備工事		コンセント		30ヶ所	整数	1.0000	2,100	2,620	0	1.00
21	18:電気設備工事		E付コンセント		30ヶ所	整数	1.0000	2,600	3,250	0	1.00
22	18:電気設備工事		防水コンセント		30ヶ所	整数	1.0000	3,400	4,250	0	1.00
23	18:電気設備工事		エアコン用コンセント		30ヶ所	整数	1.0000	5,200	6,500	0	1.00
24	18:電気設備工事		TV配線		30ヶ所	整数	1.0000	5,000	6,250	0	1.00
25	18:電気設備工事		TEL配管		30ヶ所	整数	1.0000	5,000	6,250	0	1.00
26	18:電気設備工事		換気扇	パイプ用ファン+取付費	30ヶ所	整数	1.0000	15,000	18,750	0	1.00
27											
28	18:電気設備工事		分電盤		21:式	整数	1.0000	42,000	52,500	0	1.00
29											
30	18:電気設備工事		電気温水器		31:セット	整数	1.0000	350,000	437,500	0	1.00
31	18:電気設備工事		電気温水器取付費		21:式	整数	1.0000	20,000	25,000	0	1.00
32											
33											
34											
35											
36											
37	19:給排水設備工事		給排水設備工事		21:式	整数	1.0000	25,000	31,250	0	1.00

部材単価マスタ【6:諸経費】

番号	工事区分	記号	名称	摘要	単位	丸め	換算率	発注単価	見積単価	定価	補給率
1											
2	20:諸経費		地盤調査費		21:式	整数	1.0000	70,000	87,500	0	1.00
3	20:諸経費		確認申請手数料		21:式	整数	1.0000	100,000	125,000	0	1.00
4	20:諸経費		産業廃棄物処理費		14:m ²	実数	1.0000	1,200	1,500	0	1.00

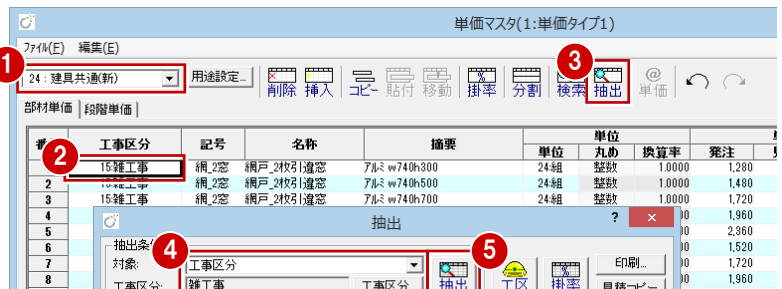
部材単価マスタ【8:木製建具工事】

番号	工事区分	記号	名称	摘要	単位	丸め	換算率	発注単価	見積単価	定価	補給率
1											
2	13:木製建具工事		押入襖 1間	H=1800	31:セット	整数	1.0000	48,000	60,000	0	1.00

工事区分の抽出・変更

「21：ガラス別積算_引違窓(新)」～「34：ガラス別積算単価 10」の内容を確認すると、工事区分マスタを新しくしたため、工事区分がずれていることがわかります。次の手順で、工事区分を変更しておきましょう。

- 1 目的のグループ（ここでは「24：建具共通（新）」）を選びます。
- 2,3 工事区分のセルをクリックして、[抽出] をクリックします。
- 4 [抽出] ダイアログで、[対象] が「工事区分」、[工事区分] が「雑工事」になっていることを確認します。
- 5 [抽出] をクリックします。「雑工事」の項目だけが表示されます。



「雑工事」だけを抽出

- 6 左上の[番号]と書かれた項目をクリックして、全ての行を選択状態にします。
- 7,8 [工区] をクリックして、ツリーから「鋼製建具・ガラス工事」をダブルクリックします。工事区分が変更されます。



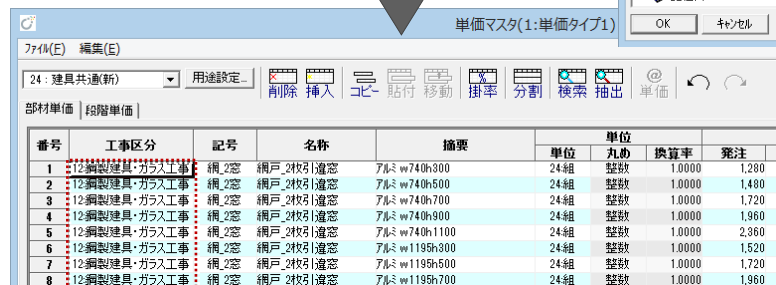
工事区分が変更される

- 9～13 続けて、[工事区分] を「設備工事」に設定して設備工事の項目だけを抽出し、工事項目を「木製建具工事」に変更します。
- 14 [閉じる] をクリックします。

「設備工事」だけを抽出



※ グループによっては、金属製建具（ここでは「雑工事」の項目）しか登録されていないものもあります。



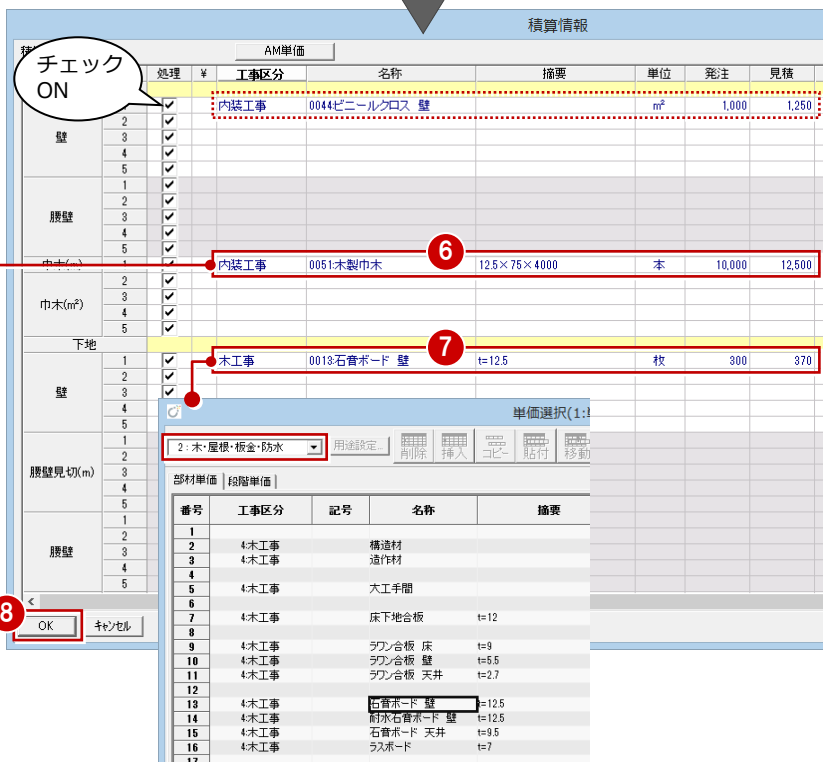
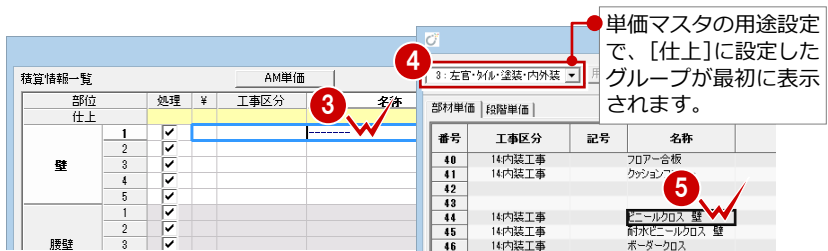
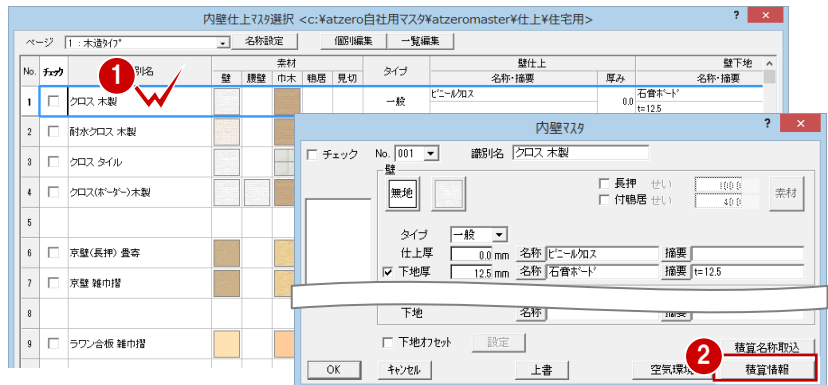
2-14 [積算マスタ] 内壁仕上マスタに積算情報を設定

壁仕上データからクロス、石膏ボード、巾木などの数量を拾う場合は、内壁仕上マスタの積算情報で単価マスタから目的の材料・工事を割り当てておきます。

積算情報を設定する

- ① 内壁仕上マスタを開き、一覧から「No.1 : クロス 木製」を開きます。
- ② [積算情報] をクリックします。
- ③ [仕上-壁] の1行目のセルをダブルクリックします。
- ④⑤ [単価選択] ダイアログから、設定したい単価（ここでは「No.44 : ビニールクロス 壁」）を選択します。
- ⑥⑦ 同様にして、[仕上-巾木 (m)] [下地-壁] の単価を設定します。
- ⑧ 設定した項目の[処理]の欄にチェックが付いていることを確認して、[OK] をクリックします。
- ⑨ 同様にして、残りのマスタにも積算情報を設定します。

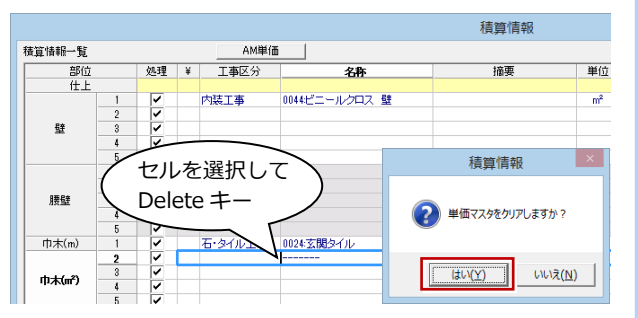
⇒ 積算情報の設定時に単価マスタを修正したいときは、P.41 参照



積算情報の設定について

単価を設定していても[処理]のチェックが付いていないと積算処理の対象になりません。必ず確認しましょう。

以前、標準の単価マスタが設定されていた項目には、[名称]のセルに「-----」が表示されます。これは設定されていた項目が現在の単価マスタに見つからないことを示しています。新しく単価を設定した後もこの表示が残っているときは、Delete キーで設定をクリアしておきましょう（次回この積算情報を見たとき、必要な単価かどうかわからなくなるのを防ぐため）。



▼「No.2：耐水クロス 木製」

積算情報					
積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
壁	1	✓	内装工事	0045耐水ビニルクロス 壁	
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
腰壁	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
巾木(m)	1	✓	内装工事	0051木製巾木	12.5×75×4000
巾木(m ²)	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地					
壁	1	✓	木工事	0014耐水石膏ボード 壁	t=12.5
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
腰壁見切(m)	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			

▼「No.3：クロススタイル」

積算情報					
積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
壁	1	✓	内装工事	0044ビニルクロス 壁	
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
腰壁	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
巾木(m)	1	✓			
巾木(m ²)	2	✓	石・タイル工事	0024玄関タイル	
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地					
壁	1	✓	木工事	0018石膏ボード 壁	t=12.5
	2	✓			
	3	✓			
腰壁	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
	巾木(m)	1	✓	左官工事	0004タイル下地モルタル
	2	✓			

▼「No.4：クロス(ポードー) 木製」

積算情報					
積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
壁	1	✓	内装工事	0044ビニルクロス 壁	
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
腰壁	1	✓	内装工事	0044ビニルクロス 壁	
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
巾木(m)	1	✓	内装工事	0051木製巾木	12.5×75×4000
巾木(m ²)	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地					
壁	1	✓	木工事	0018石膏ボード 壁	t=12.5
	2	✓			
	3	✓			
腰壁	5	✓			
	1	✓	木工事	0018石膏ボード 壁	t=12.5
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			

▼「No.6：京壁(長押) 畳寄」

積算情報					
積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
壁	1	✓	左官工事	0012京壁仕上げ	
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
腰壁	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
巾木(m)	1	✓	木工事	0025畳寄せ	4000×50×21
巾木(m ²)	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地					
壁	1	✓	木工事	0016ラスボード	t=7
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
腰壁見切(m)	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			

▼「No.7：京壁 雑巾摺」

積算情報					
積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
壁	1	✓	左官工事	0012京壁仕上げ	
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
腰壁	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
巾木(m)	1	✓	木工事	0026雑巾摺	4000×50×21
巾木(m ²)	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地					
壁	1	✓	木工事	0016ラスボード	t=7
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			

▼「No.9：ラワン合板 雑巾摺」

積算情報					
積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
壁	1	✓	木工事	0010ラワン合板 壁	t=5.5
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
腰壁	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
巾木(m)	1	✓	木工事	0026雑巾摺	4000×50×21
巾木(m ²)	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地					
壁	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			

設定できたら、マスタを更新して終了します。

▼「No.11：ユニットバス壁」

積算情報					
積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
壁	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
腰壁	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
巾木(m)	1	✓			
巾木(m ²)	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地					
壁	1	✓			

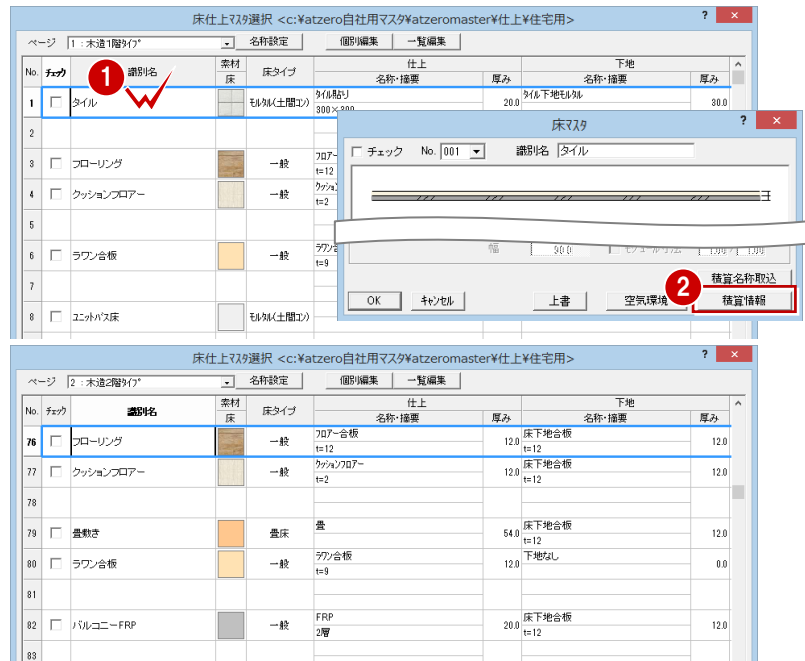
このマスタは立体用のため
積算情報はありません。

2-15 [積算マスタ] 床仕上マスタに積算情報を設定

床仕上データからフローリング、合板下地、タイル、モルタルなどの数量を拾う場合は、床仕上マスタの積算情報で単価マスタから目的の材料・工事を割り当てておきます。

積算情報を設定する

- ①② 床仕上マスタを開き、[積算情報] ダイアログを開きます。
 - ③ 内壁仕上マスタと同様に、単価マスタから積算情報を設定します。
- ※ [ページ名称] を切り替えて、2 階用のマスタも忘れずに設定しましょう。
- ④ 設定できたら、マスタを更新して終了します。



▼ 「No.1 : タイル」

積算情報					
積算情報一覧					
AM単価					
部位	チェック	処理	工事区分	名称	摘要
床	1	✓	石・タイル工事	0024 玄関タイル	
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地	1	✓	左官工事	0004 タイル下地モルタル	
	2	✓			
	3	✓			

▼ 「No.3/No.76 : フローリング」

積算情報					
積算情報一覧					
AM単価					
部位	チェック	処理	工事区分	名称	摘要
床	1	✓	内装工事	0040 フロー合板	
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地	1	✓	木工事	0007 床下地合板	t=12
	2	✓			
	3	✓			

▼ 「No.4/No.77 : クッションフロアー」

積算情報					
積算情報一覧					
AM単価					
部位	チェック	処理	工事区分	名称	摘要
床	1	✓	内装工事	0041 クッションフロアー	
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地	1	✓	木工事	0007 床下地合板	t=12
	2	✓			
	3	✓			

▼ 「No.6/No.80 : ラワン合板」

積算情報					
積算情報一覧					
AM単価					
部位	チェック	処理	工事区分	名称	摘要
床	1	✓	木工事	0008 ラワン合板 床	t=9
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			

▼ 「No.79 : 畳敷き」

積算情報					
積算情報一覧					
AM単価					
部位	チェック	処理	工事区分	名称	摘要
床	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
下地	1	✓	木工事	0007 床下地合板	t=12
	2	✓			
	3	✓			

▼ 「No.82 : バルコニーFRP」

積算情報					
積算情報一覧					
AM単価					
部位	チェック	処理	工事区分	名称	摘要
床	1	✓	防水工事	0077 FRP	
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地	1	✓	木工事	0007 床下地合板	t=12
	2	✓			
	3	✓			

▼ 「No.8 : ユニットバス床」

積算情報					
積算情報一覧					
AM単価					
部位	チェック	処理	工事区分	名称	摘要
床	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			
	4	✓			
	5	✓			
下地	1	✓			
	2	✓			
	3	✓			

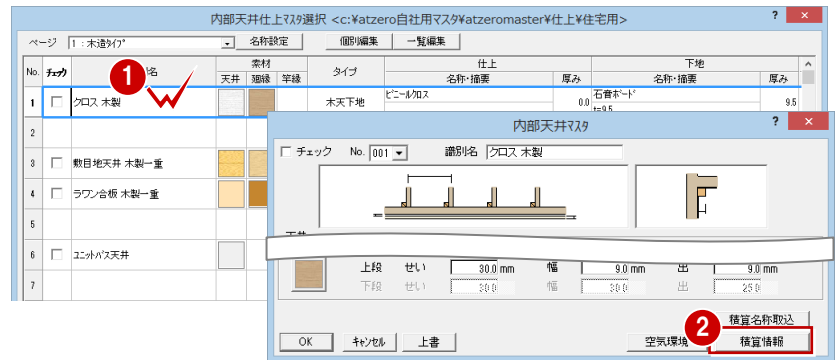
このマスタは立体用のため
積算情報はあります。

2-16 [積算マスタ] 内部天井仕上マスタに積算情報を設定

内部天井仕上データからクロス、石膏ボード、廻縁などの数量を拾う場合は、内部天井仕上マスタの積算情報で単価マスタから目的の材料・工事を割り当てておきます。

積算情報を設定する

- 内部天井仕上マスタを開き、[積算情報] ダイアログを開きます。
- 内壁仕上マスタと同様に、単価マスタから積算情報を設定します。
- 設定できたら、マスタを更新して終了します。



▼ 「No.1: クロス 木製」

積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
天井	1	<input checked="" type="checkbox"/>	内装工事	0048ビニールクロス 天井	
	2	<input checked="" type="checkbox"/>			
	3	<input checked="" type="checkbox"/>			
	4	<input checked="" type="checkbox"/>			
	5	<input checked="" type="checkbox"/>			
下地					
天井	1	<input checked="" type="checkbox"/>	木工事	0016石膏ボード 天井	t=9.5
	2	<input checked="" type="checkbox"/>			
	3	<input checked="" type="checkbox"/>			
	4	<input checked="" type="checkbox"/>			
	5	<input checked="" type="checkbox"/>			
廻縁	1	<input checked="" type="checkbox"/>	内装工事	0052木製廻縁	25×51×4000
	2	<input checked="" type="checkbox"/>			
	3	<input checked="" type="checkbox"/>			

▼ 「No.3: 敷目地天井 木製一重」

積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
天井	1	<input checked="" type="checkbox"/>	木工事	0018杉板敷目地天井	ラミネート
	2	<input checked="" type="checkbox"/>			
	3	<input checked="" type="checkbox"/>			
	4	<input checked="" type="checkbox"/>			
	5	<input checked="" type="checkbox"/>			
下地					
天井	1	<input checked="" type="checkbox"/>			
	2	<input checked="" type="checkbox"/>			
	3	<input checked="" type="checkbox"/>			
	4	<input checked="" type="checkbox"/>			
	5	<input checked="" type="checkbox"/>			
廻縁	1	<input checked="" type="checkbox"/>	木工事	0027和室廻縁	4000×36×30
	2	<input checked="" type="checkbox"/>			
	3	<input checked="" type="checkbox"/>			

▼ 「No.4: ラワン合板 木製一重」

積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
天井	1	<input checked="" type="checkbox"/>	木工事	0011ラワン合板 天井	t=2.7
	2	<input checked="" type="checkbox"/>			
	3	<input checked="" type="checkbox"/>			
	4	<input checked="" type="checkbox"/>			
	5	<input checked="" type="checkbox"/>			
下地					
天井	1	<input checked="" type="checkbox"/>			
	2	<input checked="" type="checkbox"/>			
	3	<input checked="" type="checkbox"/>			
	4	<input checked="" type="checkbox"/>			
	5	<input checked="" type="checkbox"/>			
廻縁	1	<input checked="" type="checkbox"/>	木工事	0027和室廻縁	4000×36×30
	2	<input checked="" type="checkbox"/>			
	3	<input checked="" type="checkbox"/>			

▼ 「No.6: ユニットバス天井」

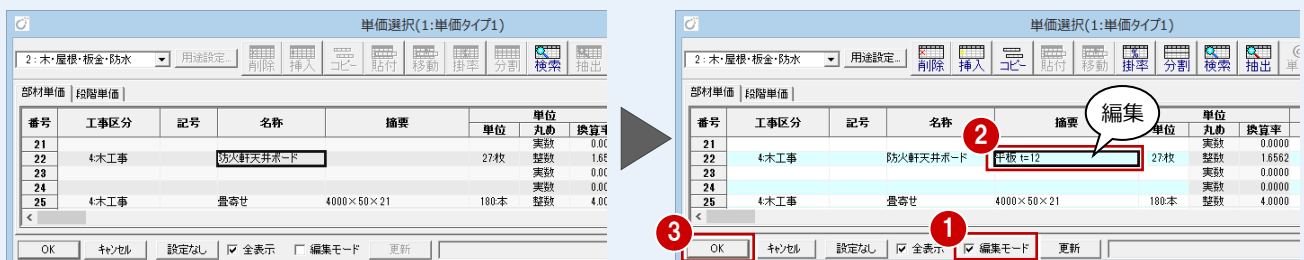
積算情報一覧					
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要
仕上					
天井	1	<input type="checkbox"/>			
	2	<input type="checkbox"/>			
	3	<input type="checkbox"/>			
	4	<input type="checkbox"/>			
	5	<input type="checkbox"/>			
下地					
天井	1	<input type="checkbox"/>			
	2	<input type="checkbox"/>			
	3	<input type="checkbox"/>			
	4	<input type="checkbox"/>			
	5	<input type="checkbox"/>			
廻縁	1	<input type="checkbox"/>			
	2	<input type="checkbox"/>			
	3	<input type="checkbox"/>			

このマスタは立体用のため
積算情報はありません。

【補足】 積算情報の設定時に単価マスタを修正したいときは

[単価選択] ダイアログの [編集モード] を ON にすると、直接マスタを編集できます。

変更した内容を保存して編集を終了するときは、部材単価を選択して [OK] をクリックします。



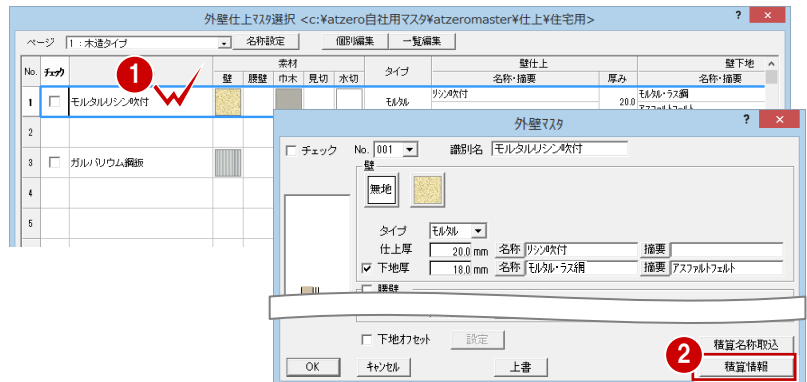
積算情報									
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要	単位	発注	見積	定価
下地									
天井	1	<input checked="" type="checkbox"/>	木工事	0022防火射天井ボード	平板 t=12	枚	2,100	2,620	
	2	<input checked="" type="checkbox"/>							
	3	<input checked="" type="checkbox"/>							
	4	<input checked="" type="checkbox"/>							

2-17 [積算マスタ] 外壁仕上マスタに積算情報を設定

外壁仕上データからモルタル、サイディングなどの数量を拾う場合は、外壁仕上マスタの積算情報で単価マスタから目的の材料・工事を割り当てておきます。

積算情報を設定する

- ①② 外壁仕上マスタを開き、[積算情報]ダイアログを開きます。
- ③ 内壁仕上マスタと同様に、単価マスタから積算情報を設定します。
- ④ 設定できたら、マスタを更新して終了します。



▼ 「No.1 : モルタルリシン吹付」

積算情報一覧					AM単価		積算情報	
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要			
仕上	1	✓		吹付・塗装工事	0030リシン吹付			
	2	✓						
	3	✓						
	4	✓						
	5	✓						
腰壁	1	✓						
	2	✓						
	3	✓						
	4	✓						
	5	✓						
巾木	1	✓	左官工事	0002基礎モルタル刷毛引き				
	2	✓						
	3	✓						
	4	✓						
	5	✓						
下地	1	✓	左官工事	0007アスファルトフェルト				
	2	✓	左官工事	0008ラス網				
	3	✓	左官工事	0009外壁モルタル刷毛引き				
	4	✓						
	5	✓						

▼ 「No.3 : ガルバリウム鋼板」

積算情報一覧					AM単価		積算情報	
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要			
仕上	1	✓		外装工事	0018ガルバリウム鋼板	15×350×3790		
	2	✓						
	3	✓						
	4	✓						
	5	✓						
腰壁	1	✓						
	2	✓						
	3	✓						
	4	✓						
	5	✓						
巾木	1	✓	左官工事	0002基礎モルタル刷毛引き				
	2	✓						
	3	✓						
	4	✓						
	5	✓						
下地	1	✓						
	2	✓						
	3	✓						
	4	✓						
	5	✓						

2-18 [積算マスタ] 屋根仕上マスタに積算情報を設定

屋根データから瓦、アスファルトルーフィングなどの数量を拾う場合は、屋根仕上マスタの積算情報で単価マスタから目的の材料・工事を割り当てておきます。

積算情報を設定する

- ①② 屋根仕上マスタを開き、[積算情報]ダイアログを開きます。
- ③ 内壁仕上マスタと同様に、単価マスタから積算情報を設定します。
- ④ 設定できたら、マスタを更新して終了します。



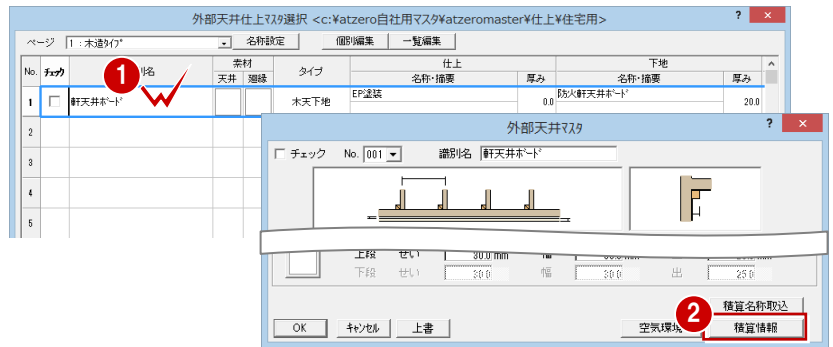
積算情報一覧					AM単価		積算情報				
部位	処理	¥	工事区分	名称	摘要	単位	発注	見積	定価	補給率	部材
仕上	1	✓		屋根工事	0059コロニアル屋根材	m ²	3,000	3,750		1.00	
	2	✓									
	3	✓									
	4	✓									
	5	✓									
下地	1	✓	屋根工事	0061アスファルトルーフィング		m ²	400	500		1.00	
	2	✓	木工事	0020野地板		枚	800	1,000		1.00	
	3	✓									
	4	✓									
	5	✓									

2-19 [積算マスタ] 外部天井仕上マスタに積算情報を設定

外部天井仕上データから軒天井ボード、廻縁などの数量を拾う場合は、外部天井仕上マスタの積算情報で単価マスタから目的的材料・工事を割り当てておきます。

積算情報を設定する

- 外部天井仕上マスタを開き、[積算情報] ダイアログを開きます
- 内壁仕上マスタと同様に、単価マスタから積算情報を設定します。
- 設定できたら、マスタを更新して終了します。



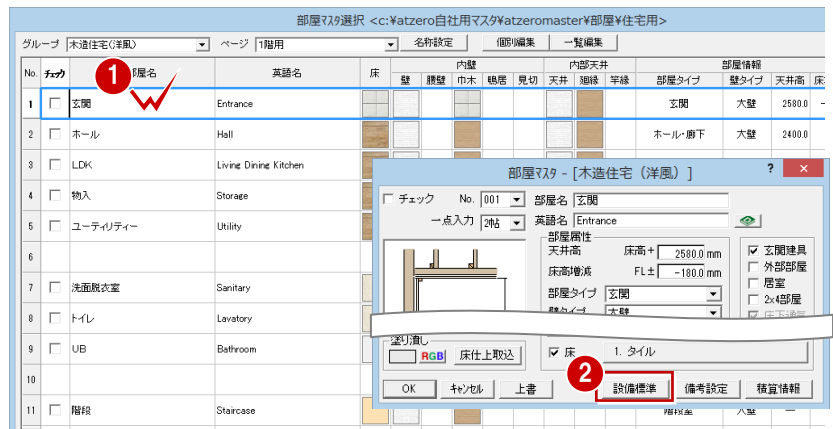
部位	処理	工事区分	名称	摘要	単位	発注	見積	定価	補給率	部材
天井	1	✓	吹付・塗装工事	0034軒天井 塗装	㎡	800	1,000		1.00	
	2	✓								
	3	✓								
	4	✓								
	5	✓								
下地	1	✓	木工事	0022防火軒天井ボード	枚	2,100	2,620		1.20	
	2	✓								
	3	✓								
	4	✓								
	5	✓								

2-20 [積算マスタ] 部屋マスタに設備用積算情報を設定

部屋データからスイッチ・コンセント・給排水などの設備箇所を積算する場合は、部屋マスタの設備用積算情報で単価マスタから目的的材料・工事を割り当てておきます。

部屋の設備仕様を設定する

- 部屋マスタを開き、一覧から「No.1:玄関」を開きます。
- [設備標準] をクリックします。
- ~7 [設備名称] をクリックし、設備の名称 (05~17) を下図のように変更して、[OK] をクリックします。
- 各項目の [個数] を「0」に変更して、[OK] をクリックします。



No.	名称	積算	個数	OK
1	CL	○	0	キャンセル
2	SW	○	0	設備名称
3	3SW	×	0	
4	コンセント	×	0	
5	E付コンセント	×	0	
6	防水コンセント	×	0	
7	Eアコンコンセント	×	0	
8	TV配線	×	0	
9	TEL配管	×	0	
10	換気扇	×	0	
11		×	0	
12		×	0	
13		×	0	
14		×	0	
15		×	0	
16		×	0	
17		×	0	
18		×	0	
19		×	0	
20		×	0	
21		×	0	

No.	名称
01	CL
02	SW
03	3SW
04	コンセント
05	E付コンセント
06	防水コンセント
07	Eアコンコンセント
08	TV配線
09	TEL配管
10	換気扇
11	チャイム
12	インターホン
13	換気扇
14	給水
15	給湯
16	排水
17	ガス
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	

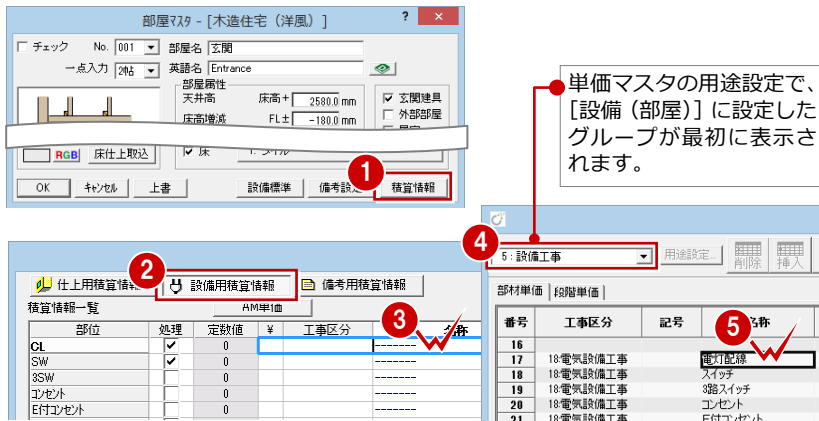
No.	名称
01	CL
02	SW
03	3SW
04	コンセント
05	E付コンセント
06	防水コンセント
07	Eアコンコンセント
08	TV配線
09	TEL配管
10	換気扇
11	チャイム
12	インターホン
13	換気扇
14	給水
15	給湯
16	排水
17	ガス
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	

No.	名称	積算	個数	OK
1	CL	○	1	キャンセル
2	SW	○	0	
3	3SW	×	0	
4	コンセント	×	0	設備名称
5	コンセントW	×	0	
6	E付コンセント	×	0	
7	専用コンセント	×	0	
8	TEL配管	×	0	
9	分電盤	×	0	
10	ANT	×	0	
11	チャイム	×	0	
12	インターホン	×	0	
13	換気扇	×	0	
14	給水	×	0	
15	給湯	×	0	
16	排水	×	0	
17	ガス	×	0	
18		×	0	
19		×	0	
20		×	0	
21		×	0	
22		×	0	
23		×	0	
24		×	0	

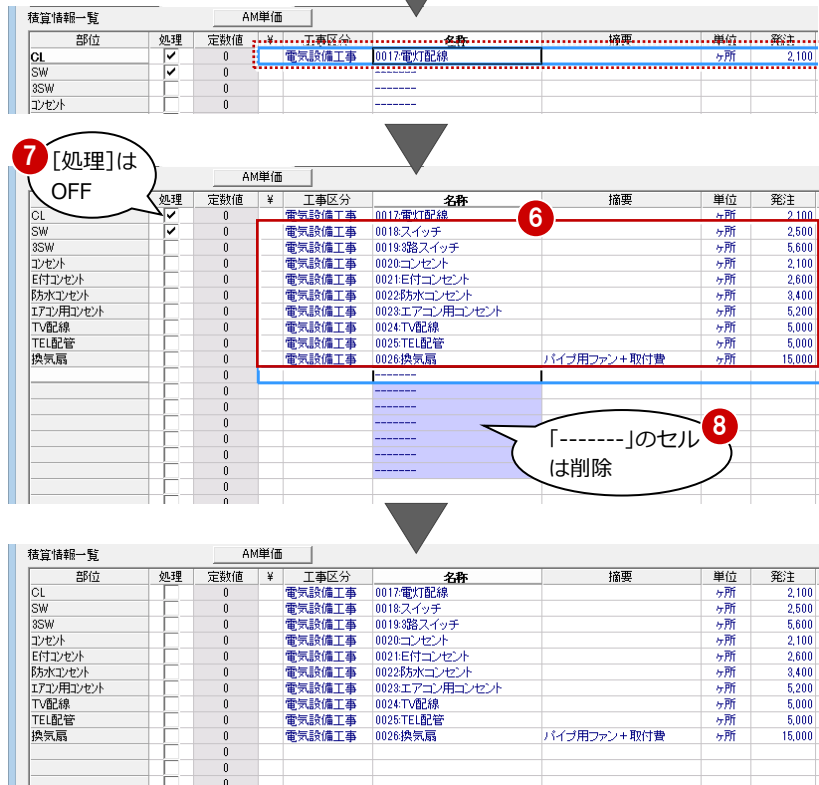
設備用の積算情報を設定する

設定した設備標準に対して、単価マスタから目的の材料・工事を割り当てましょう。

- 1 [積算情報] をクリックします。
- 2 [設備用積算情報] をクリックします。
- 3 [CL] のセルをダブルクリックします。
- 4, 5 [単価選択] ダイアログから、設定したい単価 (ここでは「No.17: 電灯配線」) を選択します。



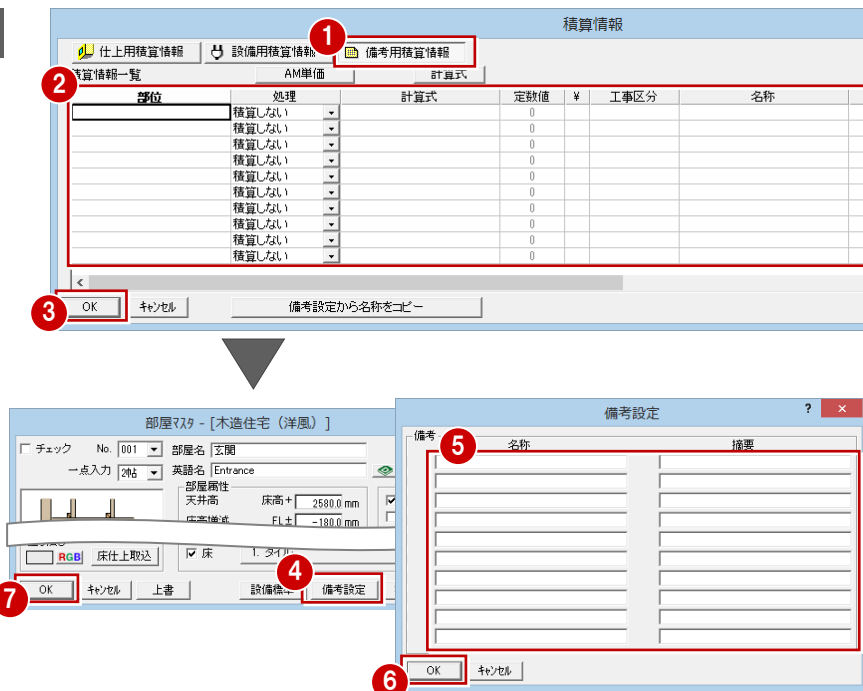
- 6 同様に、残りの設備にも部材を設定します。
- 7 設定した項目の [処理] の欄にチェックが付いている場合は、はずしておきます。
- 8 [名称] のセルに「-----」が表示されている場合は、Delete キーで削除しておきます。



備考用の積算情報を初期化する

標準で設定されている内容を削除しておきましょう。

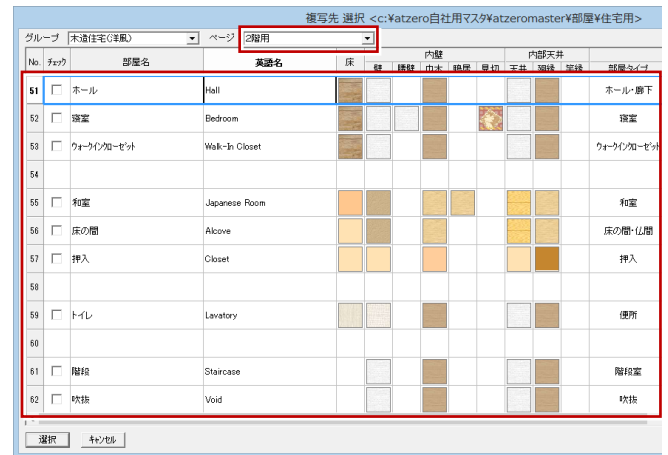
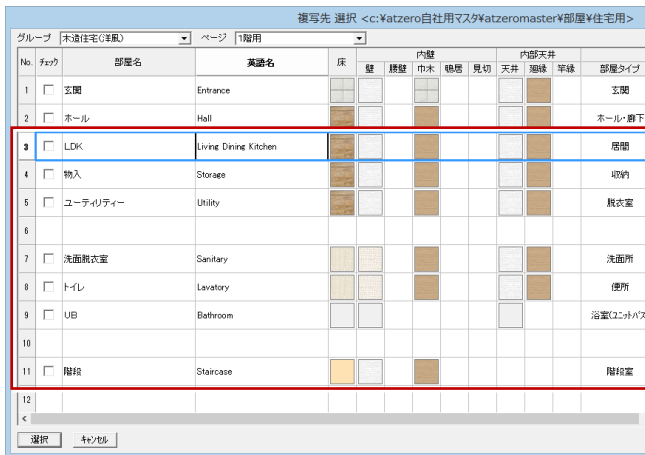
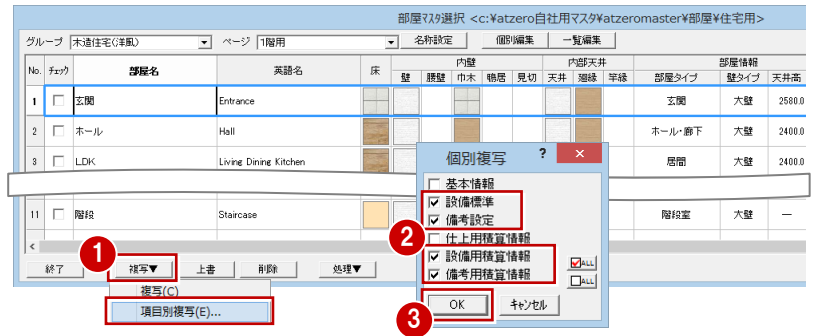
- 1 [備考用積算情報] をクリックします。
 - 2, 3 すべての設定を削除して、[OK] をクリックします。
- ※ [定数値] は「0」と入力し、それ以外は Delete キーで削除できます。
- 4 [備考設定] をクリックします。
 - 5, 6 すべての内容を削除して、[OK] をクリックします。
 - 7 [部屋マスタ] ダイアログの [OK] をクリックして [部屋マスタ選択] ダイアログに戻ります。



設備・備考・積算情報を複写する

「No.1：玄関」に設定した情報を、その他の部屋へ複写しましょう。

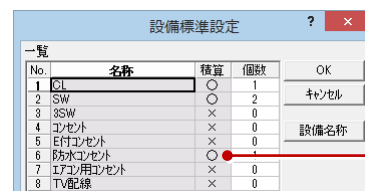
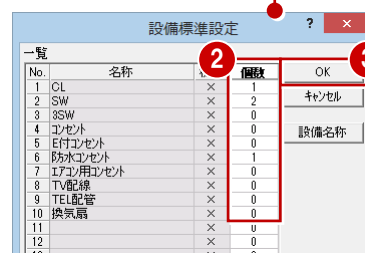
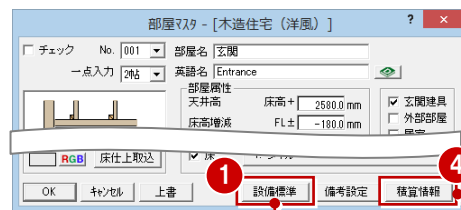
- 「No.1：玄関」の行を選択した状態で、[複写]メニューから[項目別複写]を選びます。
- 「設備標準」「備考設定」「設備用積算情報」「備考用積算情報」にチェックを付けて、[OK]をクリックします。
- [複写先 選択] ダイアログで「No.2：ホール」をダブルクリックします。
- 確認画面で[はい]をクリックします。
- 同様にして、残りの部屋（1階用・2階用）にも情報を複写します。



部屋ごとの設備を設定する

部屋ごとに設備の数量（個数）と積算情報を設定しましょう。

- 「No.1：玄関」の[設備標準]をクリックします。
- 右図のように[個数]を入力して、[OK]をクリックします。
- [積算情報]をクリックします。
- [設備用積算情報]をクリックします。
- [定数値]に数量が入っている設備の[処理]の欄にチェックを付けて、[OK]をクリックします。



[処理]をONにすると、[設備標準設定]ダイアログの[積算]の欄が「○」になります。

2-21 [積算マスタ] AM 建具に積算情報を設定

建具データから玄関ドア、サッシの数量を拾う場合は、ガラスの仕様・種類を設定して、ガラス別積算情報で単価マスタ（本体）を割り当てます。また、本体に付属する網戸・シャッター・面格子・内障子は、共通積算情報で単価マスタ（材料・工事）を割り当てておきます。

なお、室内ドアやふすまなどのようにガラス別に単価を変えないものは、本体もまとめて共通積算情報に設定しても構いません。

積算情報を設定する

標準のAM建具マスタは積算情報が設定済みですが、Virtual House.NETからダウンロードしたメーカー建具や自作の建具には積算情報を設定しておく必要があります。

ここでは、その手順を紹介します。

- 1～3 積算情報を設定する建具の[建具編集]ダイアログを開きます。
- 4 [ガラス別情報/積算情報]タブをクリックします。
- 5 ガラスの仕様や種類を設定します。
- 6～10 [積算]のセルをダブルクリックして、単価マスタを割り当てます。

1 [建具編集]ダイアログを開きます。

2 [ガラス別情報/積算情報]タブをクリックします。

3 ガラスの仕様や種類を設定します。

4 [積算]のセルをダブルクリックして、単価マスタを割り当てます。

5 積算情報を設定すると、「●」が表示されます。

6 [積算]のセルをダブルクリックして、単価マスタを割り当てます。

7 [処理] ON

8 [ガラス別積算]引違窓(新)

9 [積算]のセルをダブルクリックして、単価マスタを割り当てます。

10 [OK]をクリックして編集内容を更新します。

11 同様にして他のガラス仕様にも、本体の積算情報を設定します。

12 [積算]のセルをダブルクリックして、単価マスタを使用する共通積算情報のセルをダブルクリックして、本体に付属する網戸・取付費などの積算情報を設定します。

13 [処理] ON

14 [積算]のセルをダブルクリックして、単価マスタを使用する共通積算情報のセルをダブルクリックして、本体に付属する網戸・取付費などの積算情報を設定します。

15 [積算]のセルをダブルクリックして、単価マスタを使用する共通積算情報のセルをダブルクリックして、本体に付属する網戸・取付費などの積算情報を設定します。

16 [OK]をクリックして編集内容を更新します。

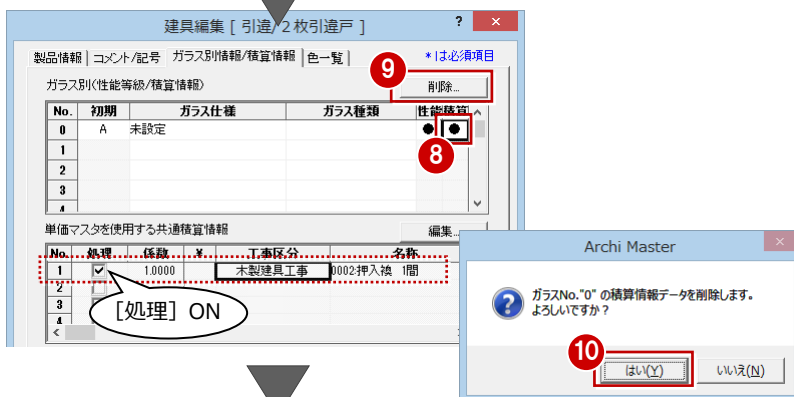
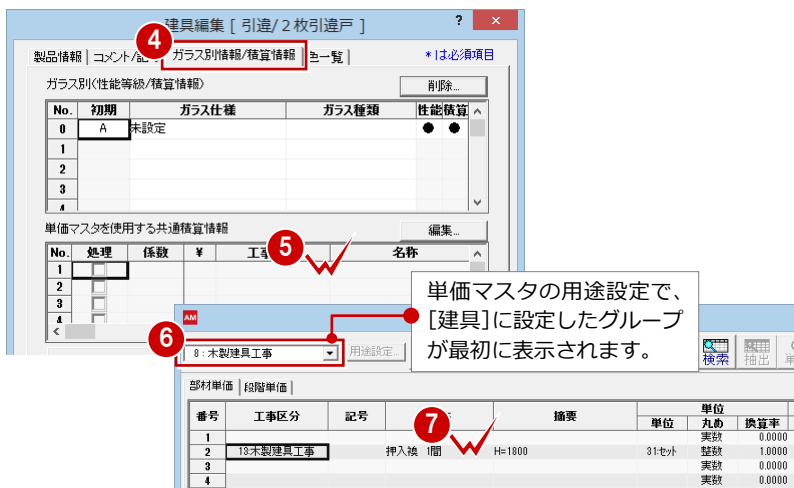
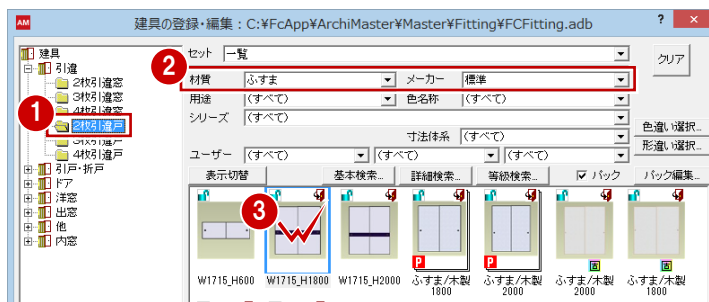
17 [OK]をクリックして編集内容を更新します。

ふすまの積算情報を変更する

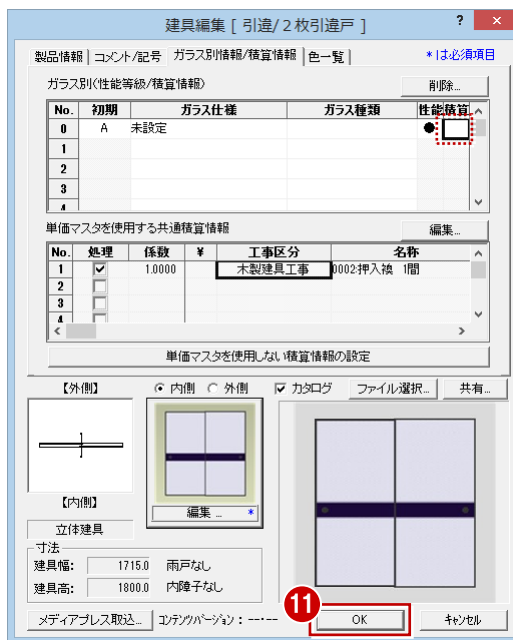
室内ドアやふすまのようにガラス別に単価を変える必要がなく、材料や取付費など複数の部材単価を設定したい場合は、まとめて共通積算情報に設定するほうがわかりやすくなります。

ここでは、ふすまの単価を共通積算情報に設定して、ガラス別に設定されている既存の積算情報は削除してみましよう。

- ①～③ 右図のふすまの [建具編集] ダイアログを開きます。
- ④ [ガラス別情報/積算情報] タブをクリックします。
- ⑤ [単価マスタを使用する共通積算情報] のセルをダブルクリックします。
- ⑥⑦ [単価選択] ダイアログから、設定したい単価 (ここでは「No.2: 押入襖 1間」) を選択します。
- ⑧⑨ [ガラス別 (性能等級/積算情報)] の [積算] の「●」を選択して、[削除] をクリックします。
- ⑩ 確認画面で [はい] をクリックします。



- ⑪ [建具編集] ダイアログで [OK] をクリックします。

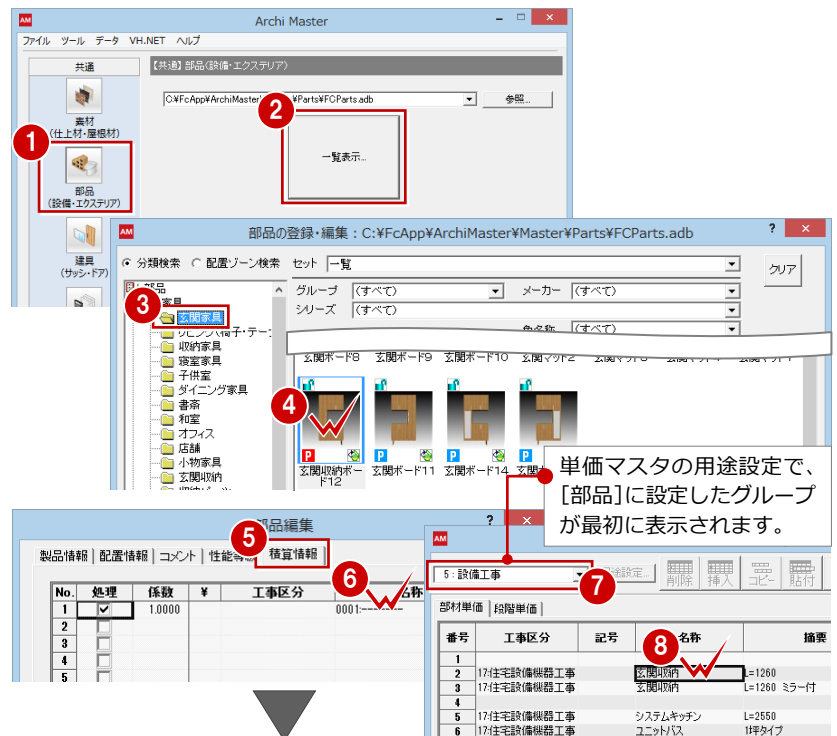


2-22 [積算マスタ] AM 部品に積算情報を設定

部品データから住宅設備機器などの数量を計上する場合は、積算情報で単価マスタから目的の材料・工事を割り当てておきます。ここでは、単価マスタを自社用に編集したため、使用する AM 部品に対して積算情報を設定しましょう。

積算情報を設定する

- ①～④ 使用する部品（ここでは「玄関収納ボード12」）の [部品編集] ダイアログを開きます。



- ⑤ [積算情報] タブをクリックします。
 ⑥ 1 行目のセルをダブルクリックします。
 ⑦⑧ [単価選択] ダイアログから、設定したい単価（ここでは「No.2：玄関収納」）を選択します。

- ⑨ [OK] をクリックして編集内容を更新します。



積算情報を複写する

他の部品に同じ単価を設定しましょう。

- ①② 「玄関ボード11」を選択して、[メンテナンス] をクリックします。



- ③ [性能等級、積算情報の複写] をクリックします。

- ④ 複写元のアイテム（ここでは「玄関収納ボード12」）をダブルクリックします。



- ⑤⑥ [積算情報] にチェックを付けて、[実行] をクリックします。

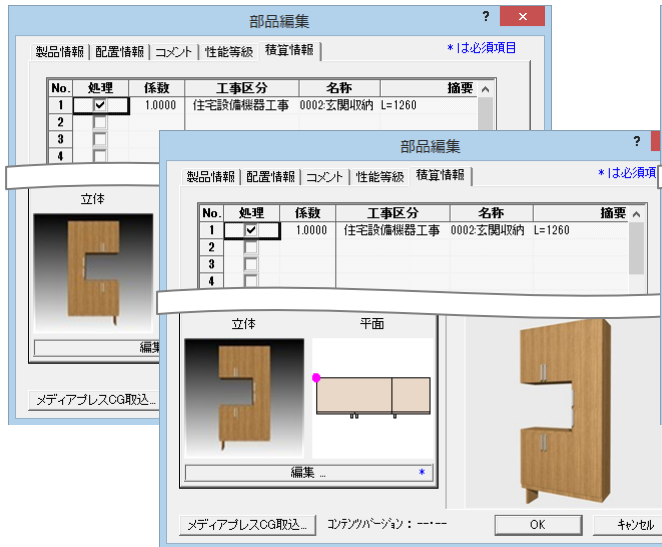
- ⑦ 確認画面で [OK] をクリックします。

2 自社用マスタの作成

同様に、「玄関ボード 13」「玄関ボード 14」にミラー付の単価を設定します。

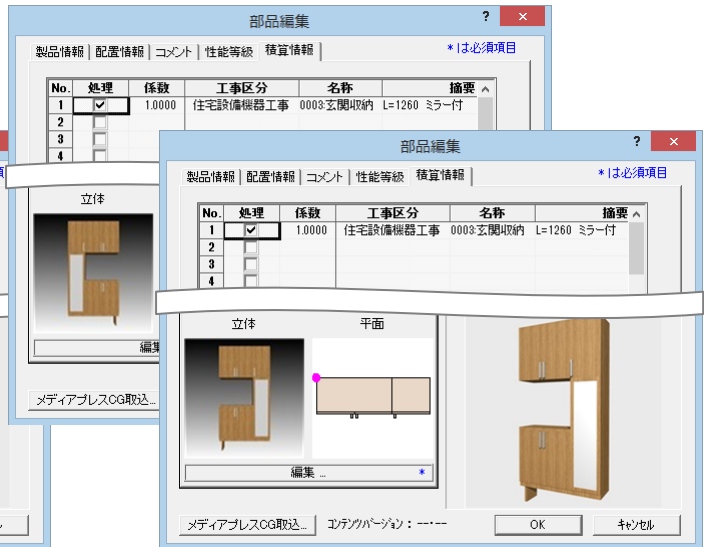


▼ 「玄関収納ボード 12」



▲ 「玄関ボード 11」

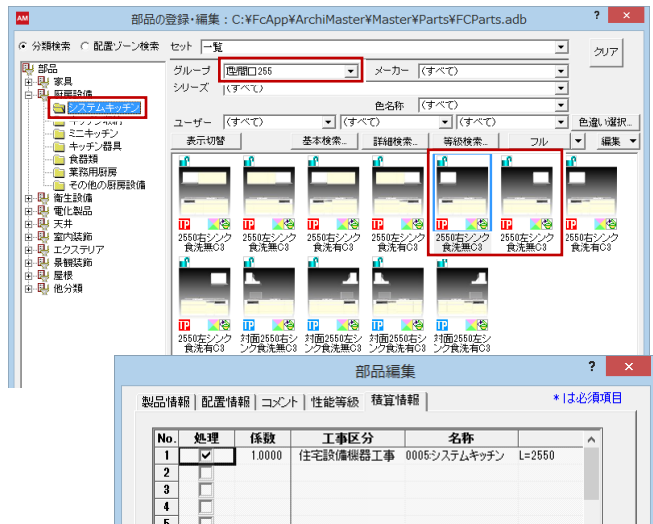
▼ 「玄関ボード 14」



▲ 「玄関ボード 13」

その他の住宅設備機器についても、同様な操作で単価を設定します。

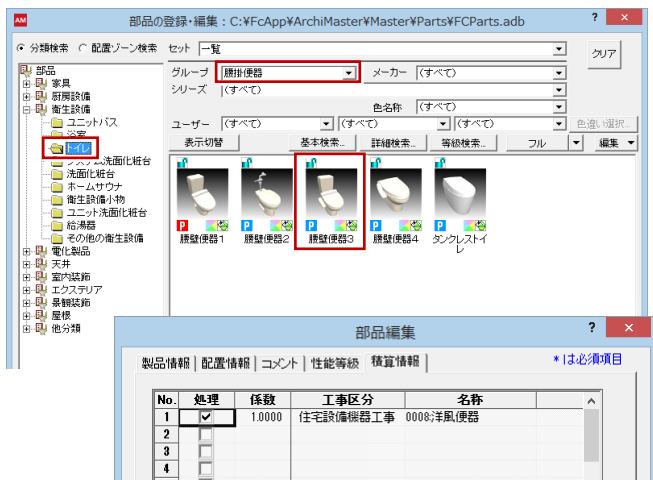
▼ システムキッチン



▼ ユニットバス



▼ 便器



▼ 洗面化粧台



2-23 [積算マスタ] 積算集計マスタの登録 (部屋・建具/部品)

積算集計マスタには、何をどのように集計するかという条件を設定します。

[部屋・建具] [構造] [パネル] [造作・下地] [設備] の各タブでは図面からの集計方法を設定し、それ以外に積算したい項目については[基本] タブで工事区分や拾い方などを設定しておきます。

これらの条件は 20 タイプまで異なった設定で登録しておくことができます。標準では構造や集計方法ごとのマスタが用意されていますが、ここではタイプ 1 に自社用のマスタを登録してみましょう。

マスタを準備する

タイプ 1 に登録されている標準のマスタを削除して、自社用のマスタの名前を登録しましょう。

①② 積算集計マスタを開きます。

③ 工事区分マスタを変更したため、最初に確認画面が表示されます。

ここでは、[はい] を選んで項目を移動しておきます。

※ [いいえ] を選んでも、以降の操作には影響しません。

④ [名称] で「1:木造用 (数量コード)」を選びます。

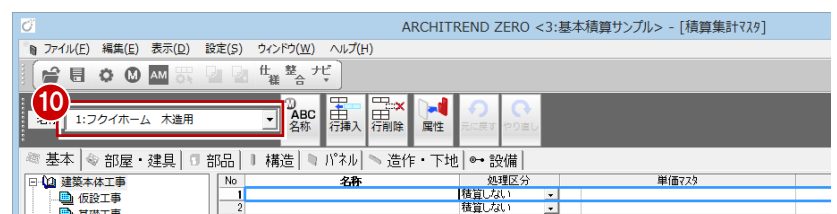
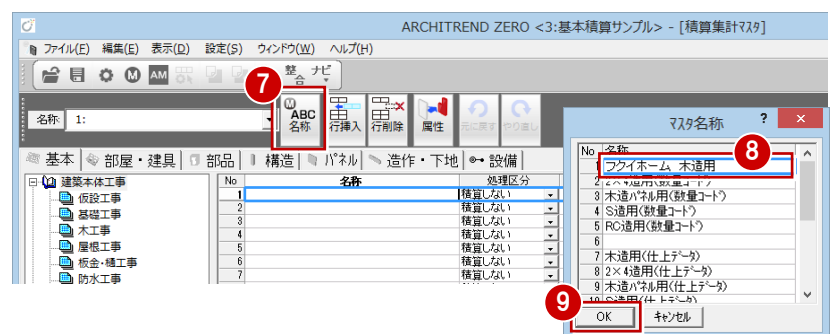
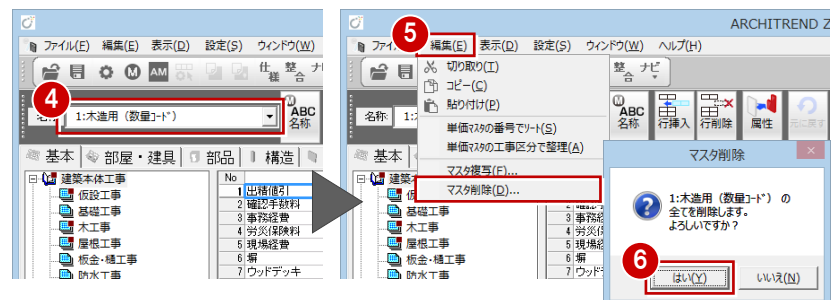
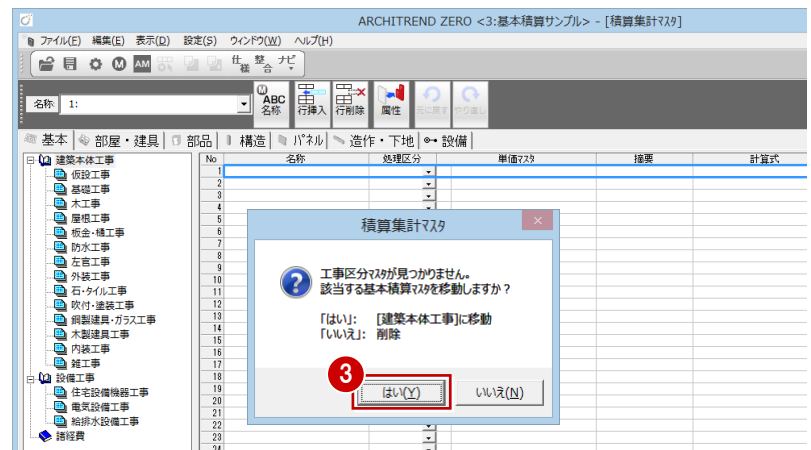
⑤ [編集] メニューから [マスタ削除] を選びます。

⑥ 確認画面で [はい] をクリックします。

⑦ [名称] をクリックします。

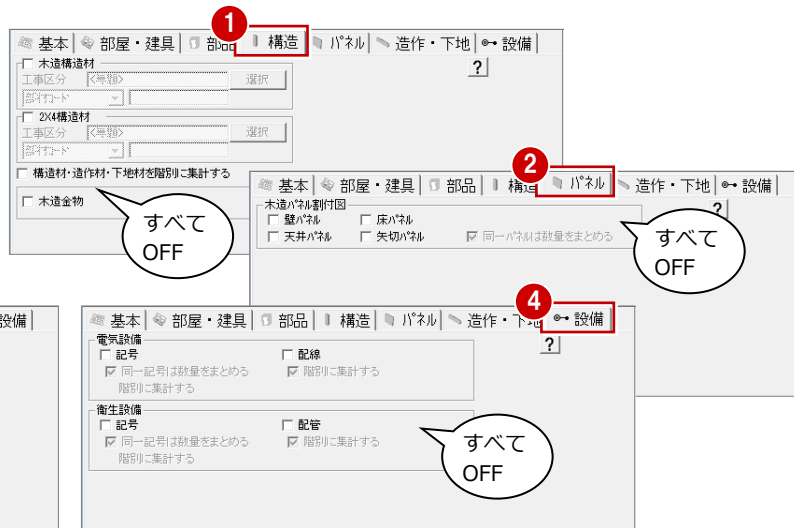
⑧⑨ No.1 にマスタの名前 (ここでは「フクイホーム 木造用」) を入力して、[OK] をクリックします。

⑩ [名称] で「1:フクイホーム 木造用」が選ばれていることを確認します。

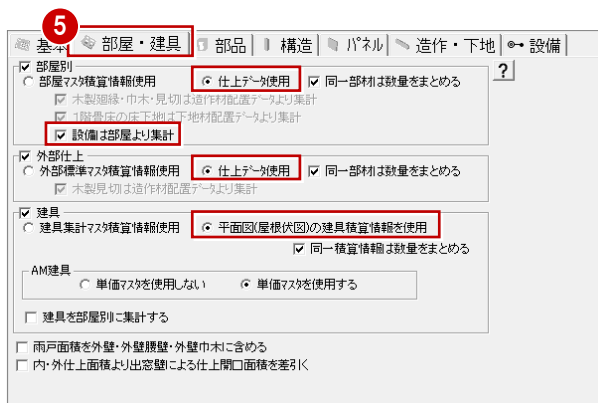


部屋・建具・部品の積算方法を設定

①～④ ここでは構造図・パネル図・造作材配置・下地材配置・設備図のデータは積算の対象としないため、[構造][パネル][造作・下地][設備]の各タブで項目のチェックをすべてはずしておきます。



⑤ [部屋・建具] タブをクリックして、右図のように設定します。

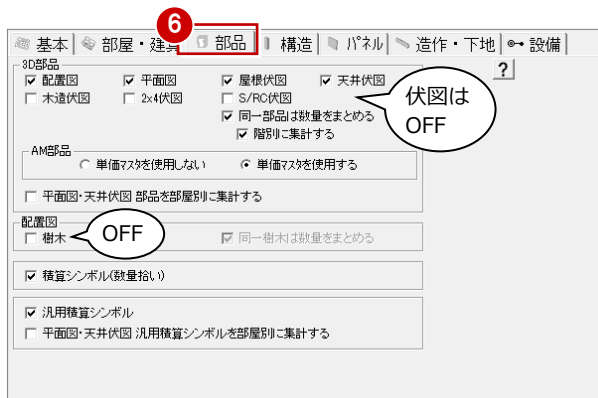


【設備は部屋より集計】について

[設備] タブがすべて OFF の場合に設定できるようになります。
 [設備は部屋より集計] が ON のとき、部屋マスタの [設備用積算情報] の積算項目と、平面図の部屋属性の [設備情報] で設定する個数から設備が集計されます。

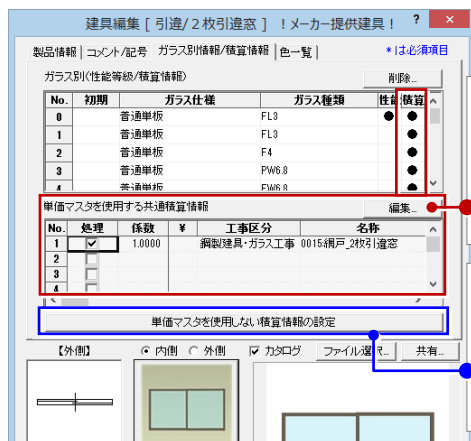
⑥ [部品] タブをクリックして、右図のように設定します。

ここでは樹木や伏図の部品を積算の対象としないため、チェックをはずしておきます。



単価マスタを使用する/しない

単価マスタを使用せずに、工事区分や単価などを各建具・部品に登録しておくこともできます。本書では、単価の見直し作業などの場合にまとめて作業できるため、単価マスタを使用する方法で解説しています。



単価マスタを使用する場合の積算情報はここで設定します。積算集計マスタで [単価マスタを使用する] に設定したときに使われます。

単価マスタを使用しない場合の積算情報はここで設定します。積算集計マスタで [単価マスタを使用しない] に設定したときに使われます。



【AM 建具の [建具編集 (ガラス別情報/積算情報)] ダイアログ】

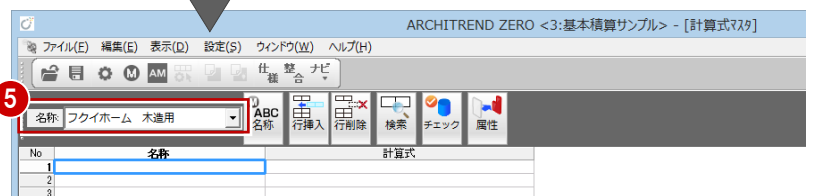
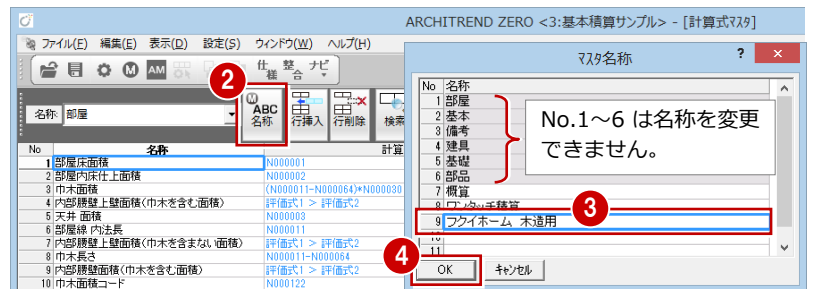
【AM 部品の [部品編集 (積算情報)] ダイアログ】

2-24 [積算マスタ] 計算式マスタの登録

積算集計マスタの[基本]タブ、部屋マスタの備考用積算情報などでは、積算したい項目に対して数量を拾うための計算式を割り当てることができます。このときに使用する計算式は計算式マスタで設定します。計算式マスタでは、数量コードや汎用数量コードを使用して計算式や条件式を登録しておきます。用途別に11タイプまで登録できますが、ここではタイプ9に自社用のマスタを登録してみましょう。

マスタを準備する

- 1 計算式マスタを開きます。
- 2 [名称] をクリックします。
- 3,4 No.9 にマスタの名前（ここでは「フクイホーム 木造用」）を入力して、[OK] をクリックします。
- 5 [名称] で「フクイホーム 木造用」が選ばれていることを確認します。



数量コードを登録する

積算集計マスタなどで直接数量コードを設定することもできますが、よく使用するコードは計算式マスタに登録しておく便利です。ここでは、配置図のトータル面積表の延床面積から数量（面積）を拾う数量コードを登録してみましょう。

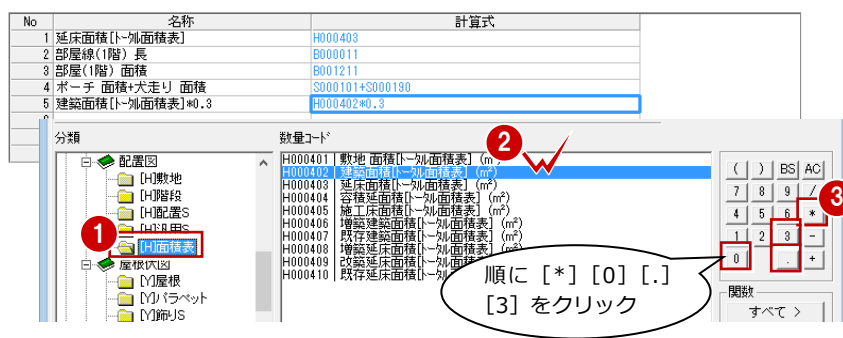
- 1 No.1 の [計算式] のセルをダブルクリックします。
- 2 ツリーから、使用したい数量コードが登録されている分類（ここでは「配置図 - [H] 面積表」）を選びます。
- 3 [数量コード] の一覧から、「H000403 : 延床面積 [トータル面積表]」をダブルクリックします。
[計算式] に数量コードがセットされます。
- 4 [文字] のチェックを付けると、数量コードを項目名で確認できます。
- 5 [<<設定] をクリックします。
[計算式] の内容（文字表示にした状態）が [名称] に取り込まれます。
- 6 [OK] をクリックします。



計算式を登録する（四則演算）

四則演算を使って計算式を組む場合は、数量コードに続けて記号・数字ボタンをクリックして演算子や数値を [計算式] に追加します。

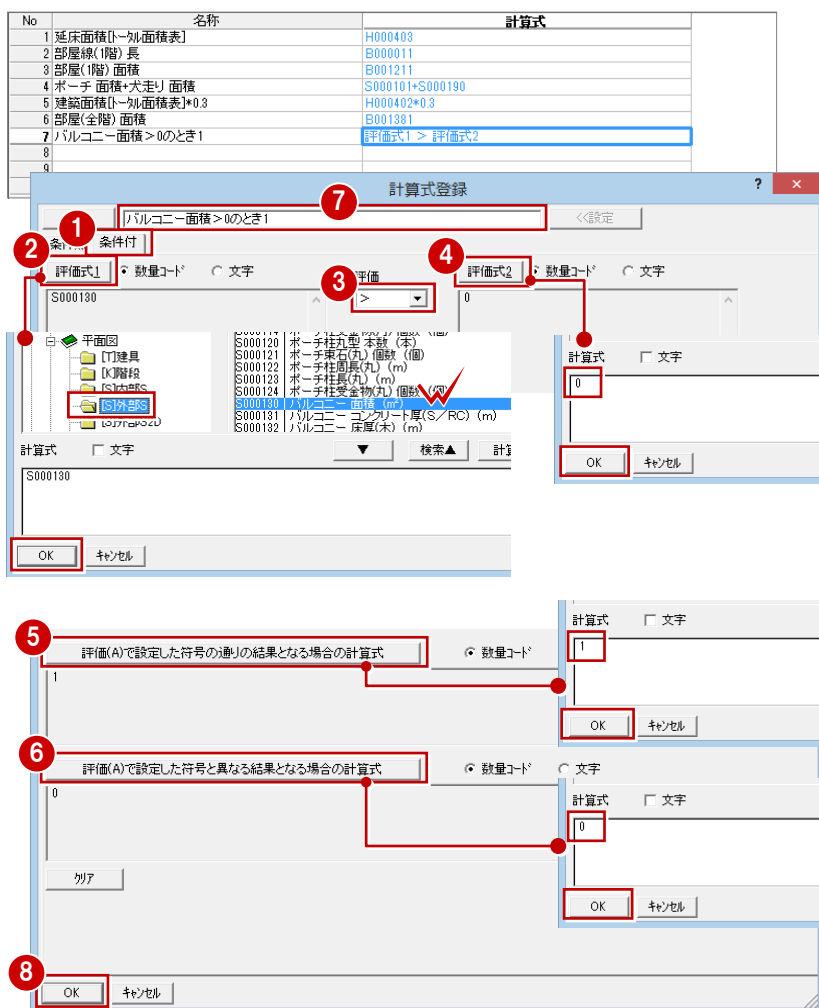
※ [AC] 以外の記号・数字ボタンについてはキーボードからも入力可能です。



条件付きの計算式を登録する

A>B のとき C、そうでないときは D、というように条件によって結果が異なる場合は、条件付の計算式を使います。ここでは、『バルコニーの面積>0 のときは数量に「1」を、それ以外の場合は「0」を計上する』という条件を設定してみましょう。

- 1 [計算式登録] ダイアログの [条件付] タブをクリックします。
- 2 [評価式 1] をクリックして数量コードを選びます。
[分類]: 平面図 - [S] 外部 S
[数量コード]: S000130: バルコニー面積 (㎡)
- 3 [評価] で「>」を選びます。
- 4 [評価式 2] をクリックして「0」を入力します。
- 5 [評価 (A) で設定した符号の通りの結果となる場合の計算式] をクリックして「1」を入力します。
- 6 [評価 (A) で設定した符号と異なる結果となる場合の計算式] をクリックして「0」を入力します。
- 7, 8 計算式の名前を設定して、[OK] をクリックします。



右図のように、他の計算式も登録します。

※「[N] 部屋データ」の数量コードは[名称]が「部屋」のマスタでしか使用できないため、マスタを切り替えて下図の計算式を登録します。



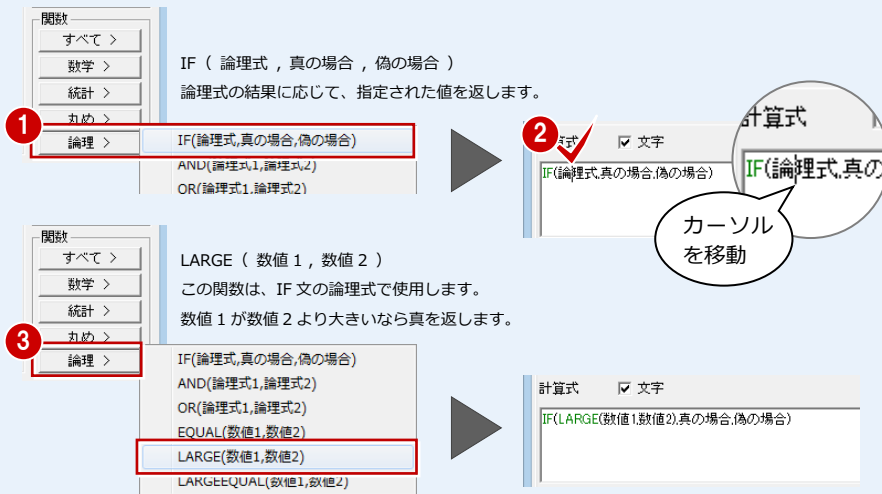
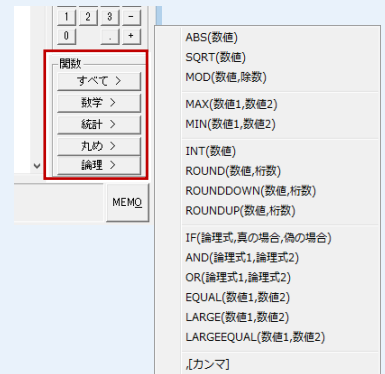
No	名称	計算式
1	延床面積(1-別面積表)	H000403
2	部屋線(階)長	B000011
3	部屋(階)面積	B001211
4	ポーチ 面積+犬走り 面積	S000101+S000190
5	建築面積(1-別面積表)*0.3	H000402*0.3
6	部屋(全階)面積	B001381
7	バルコニー面積>0のとき1	評価式1 > 評価式2
8	挿入段 数	S000082
9		
10	屋根(木造) 屋根線(妻壁取合)長+	Y000019+Y000020
11	屋根(木造) 屋根線(谷)長	Y000018
12		
13	バルコニー 周長*0.3	S000133*0.3
14	部屋線(階)長-	B000011-T000491
15	屋根(木造) 屋根線(軒先)長*	Y000014*Y000015
16		
17	畳一帖 枚数	S000031
18	畳半帖 枚数	S000032
19	手摺(外部)長	S000141
20		
21		

No	名称	計算式
1	部屋床面積	N000001
2	部屋内床仕上面積	N000002
3	中木面積	(N000011-N000064)*N000030
4	内部腰壁上壁面積(中木を含む面積)	評価式1 > 評価式2
5	天井面積	N000003
6	部屋線 内法長	N000011
7	内部腰壁上壁面積(中木を含まない面積)	評価式1 > 評価式2
8	中木長さ	N000011-N000064
9	内部腰壁面積(中木を含む面積)	評価式1 > 評価式2
10	中木面積コード	N000122
11	部屋面積	N000100
12	内部腰壁面積(中木を含まない面積)	評価式1 > 評価式2
13	腰壁見切長	N000123
14		
15	腰壁 高>中木 高のとき 部屋内法長-掃出建具 幅計	評価式1 > 評価式2
16		
17		

【補足】関数を使って計算式を登録する

右図のような関数を使って計算式を組むことができます。

ここでは論理式を使って、『延床面積が 100 m²以上のときは数量を「部屋全階の面積」、100 m²未満のときは「100」とする』という条件を設定してみましょう。



関数を使う場合は、メニューから関数を選び、計算式内で「論理式」や「数値1」などにカーソルを移動して、使用する数量コードを入力します。

設定した計算式が正しいかチェックできます。

2-25 [積算マスタ] 積算集計マスタの登録 (基本)

必ず一式で計上する経費・取付費や基本データから数量を拾う項目を、積算集計マスタの [基本] タブに工事区分別に登録していきましょう。

積算項目を登録する (計算式)

- 1 積算集計マスタの [基本] タブを開きます。
- 2 ツリーから、項目を追加する工事区分 (ここでは「仮設工事」) を選択します。
- 3 [名称] に項目名 (ここでは「外部足場」) を入力します。
- 4～6 [単価マスタ] のセルをダブルクリックして、目的の単価を選びます。
- 7 [処理区分] で「計算式」を選びます。
- 8～10 [計算式] のセルをダブルクリックして、計算式マスタから計算式を割り当てます。

The screenshot shows the 'Basic' tab of the 'Calculation Master' registration screen. It includes a tree view on the left, a main table for 'External Scaffolding', and a 'Single Price Selection' dialog box. The dialog shows a list of calculation formulas, with '1: 延床面積 (1-別面積表)' selected. The final state shows the formula assigned to the 'Calculation Formula' field in the main table.

No	名称	処理区分	単価マスタ	摘要	計算式	定数値
1	外部足場	計算式	0002外部足場	メッシュシート込み	延床面積(1-別面積表)	0.0000
2		積算しない				0.0000
3		積算しない				0.0000
4		定数値				0.0000
5		コメント				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
8		積算しない				0.0000

積算項目を登録する (定数値)

決まった数量を計上する場合は、定数値を使います。

- 1 [処理区分] で「定数値」を選びます。
- 2 [定数値] のセルに数量を設定します。

▼ 建築本体工事 - 仮設工事

No	名称	処理区分	単価マスタ	摘要	計算式	定数値
1	外部足場	計算式	0002外部足場	メッシュシート込み	延床面積(1-別面積表)	0.0000
2	仮設トイレ	定数値	0005仮設トイレ			1.0000
3		積算しない				0.0000
4		積算しない				0.0000
5		積算しない				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
8		積算しない				0.0000
9		積算しない				0.0000
10		積算しない				0.0000

積算項目を登録する (コメント)

- 1 物件によって見積に出すかどうか決まっていない項目は、[処理区分] を「コメント」にしておきます。

※ コメントにしておいた項目は、積算集計を行うと数量が「0」で計上されます。見積に出したい場合は、[工事別集計]で数量などを直接入力します。

▼ 設備工事 - 電気設備工事

No	名称	処理区分	単価マスタ	摘要	計算式	定数値
1	分電盤	定数値	0026分電盤			1.0000
2	電気温水器	コメント	0030電気温水器			0.0000
3	電気温水器取付費	コメント	0031電気温水器取付費			0.0000
4		積算しない				0.0000
5		積算しない				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
8		積算しない				0.0000
9		積算しない				0.0000
10		積算しない				0.0000

【本書での積算集計マスタ設定例】

No	名称	処理区分	単価マスタ	摘要	計算式	定数値
1	外部足場	計算式	0002外部足場	メッシュシート込み	延床面積[1-別面積表]	0.0000
2	仮設トイレ	定数値	0003仮設トイレ			1.0000
3		積算しない				0.0000
4		積算しない				0.0000
5		積算しない				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
8		積算しない				0.0000
1	布基礎	計算式	0008布基礎		部屋線(1階) 長	0.0000
2	べた基礎	計算式	0009べた基礎		部屋(1階) 面積	0.0000
3	土間コンクリート	計算式	0010土間コンクリート		ポーチ 面積+犬走り 面積	0.0000
4		積算しない				0.0000
5		積算しない				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
8		積算しない				0.0000
1	構造材	計算式	0002構造材		部屋(全階) 面積	0.0000
2	造作材	計算式	0003造作材		部屋(全階) 面積	0.0000
3	大工手間	計算式	0005大工手間		部屋(1階) 面積	0.0000
4	押入 枕欄+中欄	計算式	0041押入 枕欄+中欄	1間	押入段 箇所数	0.0000
5	バルコニー造作	計算式	0050バルコニー造作		バルコニー面積 > 0のとき 1	0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
8		積算しない				0.0000
1	雨押え	計算式	0063雨押え		屋根(木造) 屋根線(妻壁取合) 長*...	0.0000
2	捨て谷板金	計算式	0065谷板金		屋根(木造) 屋根線(谷) 長	0.0000
3		積算しない				0.0000
4		積算しない				0.0000
5		積算しない				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
8		積算しない				0.0000
1	FRP バルコニー	計算式	0077FRP		バルコニー 周長*0.3	0.0000
2		積算しない				0.0000
3		積算しない				0.0000
4		積算しない				0.0000
5		積算しない				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
8		積算しない				0.0000
9		積算しない				0.0000
10		積算しない				0.0000
1	鼻隠し・破風 塗装	計算式	0032鼻隠し・破風 塗装		屋根(木造) 屋根線(軒先) 長*...	0.0000
2		積算しない				0.0000
3		積算しない				0.0000
4		積算しない				0.0000
5		積算しない				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
8		積算しない				0.0000
9		積算しない				0.0000
10		積算しない				0.0000
11		積算しない				0.0000
12		積算しない				0.0000
13		積算しない				0.0000
14		積算しない				0.0000
15		積算しない				0.0000
16		積算しない				0.0000
1	防錆処理	計算式	0002防錆処理		部屋(階) 面積	0.0000
2	畳 1帖	計算式	0005畳 1帖		畳一帖 枚数	0.0000
3	畳 半帖	計算式	0006畳 半帖		畳半帖 枚数	0.0000
4	バルコニー 笠木	計算式	0008バルコニー 笠木		手摺(外部) 長	0.0000
5	物干し金物	計算式	0010物干し金物		バルコニー面積 > 0のとき 1	0.0000
6	室内クリーニング	計算式	0002室内クリーニング	100㎡未満1式、100㎡以上1式	延床面積[1-別面積表]	0.0000
7		積算しない				0.0000
8		積算しない				0.0000
9		積算しない				0.0000
10		積算しない				0.0000
11		積算しない				0.0000
12		積算しない				0.0000
13		積算しない				0.0000
14		積算しない				0.0000
15		積算しない				0.0000
16		積算しない				0.0000
17		積算しない				0.0000
18		積算しない				0.0000
19		積算しない				0.0000
20		積算しない				0.0000
1	分電盤	定数値	0028分電盤			1.0000
2	電気温水器	コメント	0030電気温水器			0.0000
3	電気温水器取付費	コメント	0031電気温水器取付費			0.0000
4		積算しない				0.0000
5		積算しない				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
1	給排水設備工事	定数値	0037給排水設備工事			1.0000
2		積算しない				0.0000
3		積算しない				0.0000
4		積算しない				0.0000
5		積算しない				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000
1	地盤調査費	定数値	0002地盤調査費			1.0000
2	確認申請手数料	定数値	0003確認申請手数料			1.0000
3	産業廃棄物処理費	計算式	0004産業廃棄物処理費		部屋(全階) 面積	0.0000
4		積算しない				0.0000
5		積算しない				0.0000
6		積算しない				0.0000
7		積算しない				0.0000

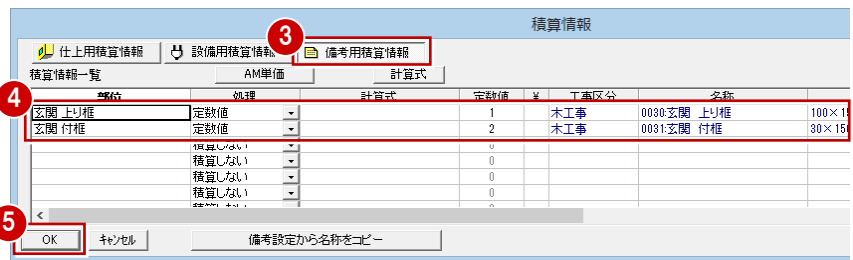
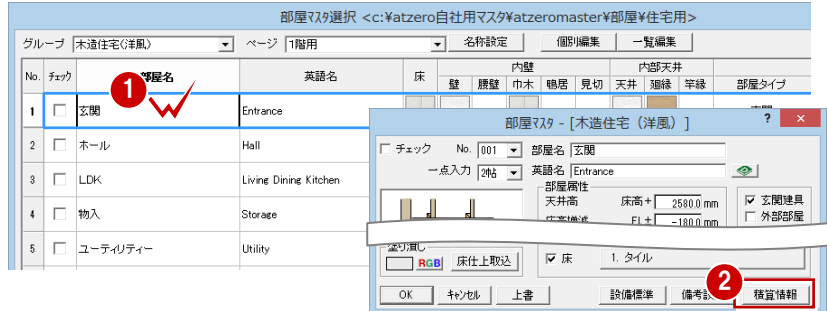
2-26 [積算マスタ] 部屋マスタに備考用積算情報を設定

部屋データに付随する建材（床柱・床板など）や器具（紙巻器・タオル掛けなど）などを部屋データから積算する場合は、部屋マスタの備考用積算情報に積算項目を登録しておきます。平面図で対象となる部屋を入力すると、登録されている項目が積算に計上されます。

ここでは、「玄関」「トイレ」「寝室」「床の間」に備考用積算情報を登録しておきましょう。

備考用の積算情報を設定する

- 1 部屋マスタを開き、一覧から「No.1 : 玄関」を開きます。
- 2 [積算情報] をクリックします。
- 3 [備考用積算情報] をクリックします。
- 4 5 右図のように積算情報を入力して、[OK] をクリックします。
- 6 同様に、他の部屋にも備考用積算情報を設定します。



▼ 「No.8/No.59 : トイレ」



▼ 「No.52 : 寝室」



▼ 「No.56 : 床の間」

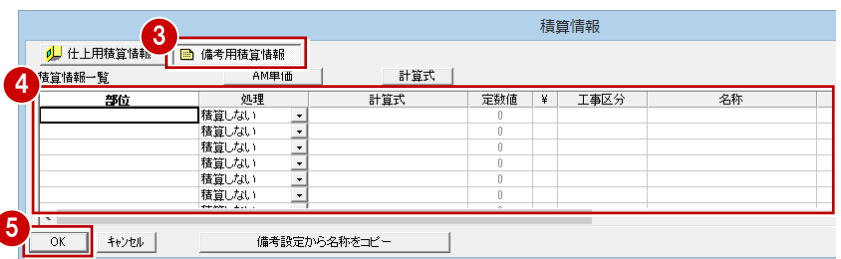
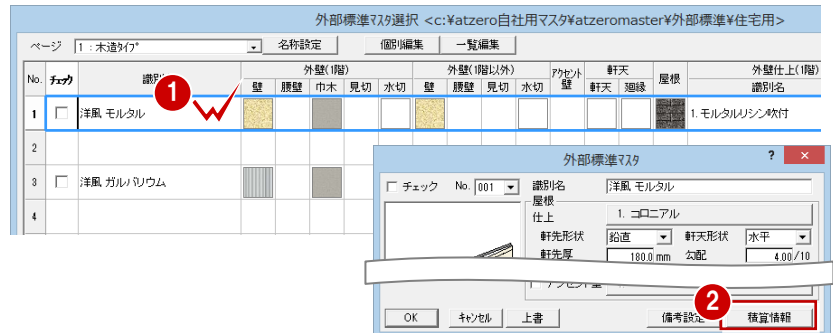


2-27 [積算マスタ] 外部標準マスタに備考用積算情報を設定

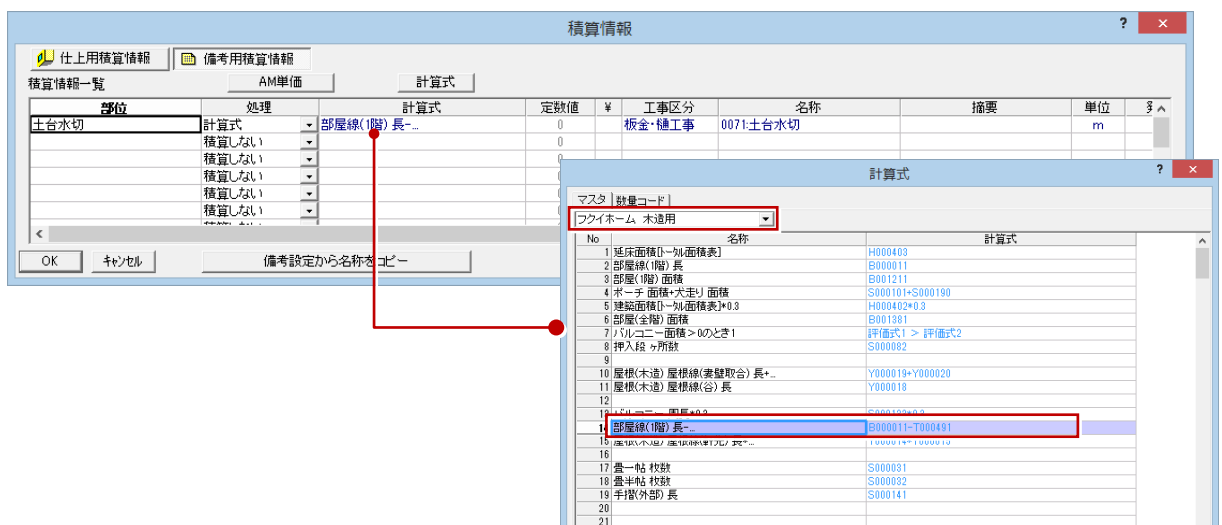
外部仕様によって使用する材料が変わるような場合は、外部標準マスタの備考用積算情報に積算項目を登録しておきます。ここでは、標準で設定されている内容を削除して、外部仕様がガルバリウム有的时候に土台水切が積算されるよう、備考用積算情報を登録しておきましょう。

備考用の積算情報を設定する

- 1 外部標準マスタを開き、一覧から「No.1：洋風 モルタル」を開きます。
 - 2 [積算情報] をクリックします。
 - 3 [備考用積算情報] をクリックします。
 - 4 5 すべての設定を削除して、[OK] をクリックします。
- ※ [定数値] は「0」と入力し、それ以外は Delete キーで削除できます。
- 6 同様にして、「No.3：洋風 ガルバリウム」の備考用積算情報も削除し、下図のように「土台水切」を設定します。



▼ 「No.3：洋風 ガルバリウム」



2-28 [積算マスタ] AM 汎用数量コードの登録

プログラム固定の「数量コード」に対して、オリジナルの項目を登録できる数量コードを「汎用数量コード」といいます。図面データから拾えない数量を直接積算に計上したいときは、汎用数量コードに積算情報（単価マスタ）を設定しておき、積算集計処理の際に[数量拾い]で数量（面積・長さ・個数など）を入力します。ここでは、階段、階段手摺、長押、付鴨居を汎用数量コードに登録してみましょう。

項目を登録する

①② AM 汎用数量コードを開きます。

⇒ Archi Master から開く方法については、P.31 参照



③ 空いている行（ここでは 111 行目）に、項目の名称、区分、単位などを登録します。

- [名称]：階段 I 型
- [区分]：個数
- [単位]：ヶ所
- [文字]：階段 I 型

④ [積算情報] のセルをダブルクリックします。

⑤ 1 行目のセルをダブルクリックします。

⑥⑦ [単価選択] ダイアログから、設定したい単価（ここでは「No.45：階段 I 型」）を選択します。

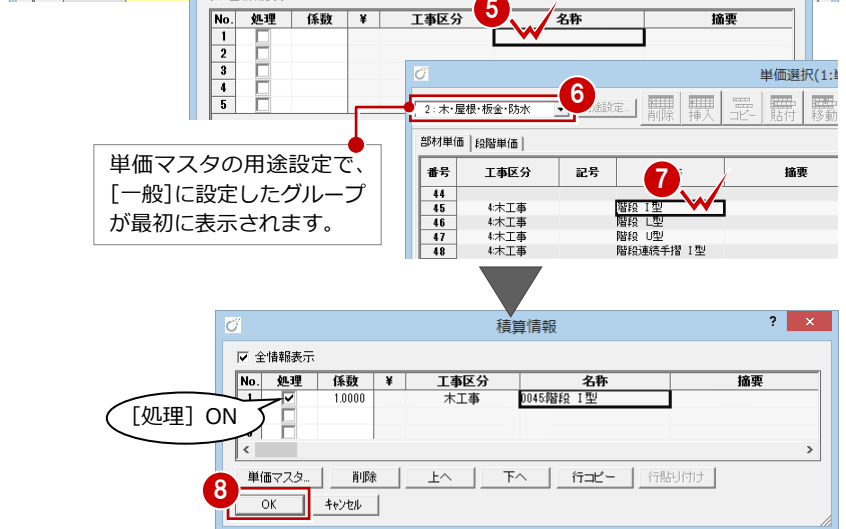
⑧ [OK] をクリックします。

⑨ 同様にして、他の項目も登録します。



単価マスタの用途設定で、[一般]に設定したグループが最初に表示されます。

[処理] ON



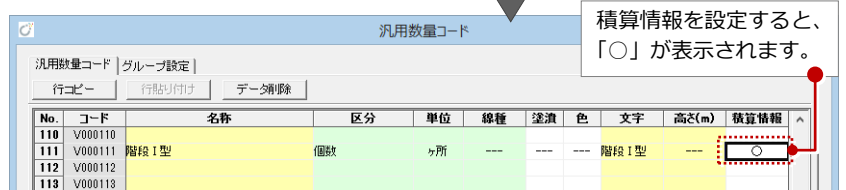
積算情報を設定すると、「○」が表示されます。

汎用数量コードの使い方

汎用数量コードは、計算式マスタなどで計算式の登録時に使用できます。この場合、積算集計処理の際に[数量拾い]の[汎用数量]で数量（面積・長さ・個数など）を入力します。

また、汎用数量コードに積算情報を持たせたもの（AM 単価を割り当てたもの）を積算シンボルと呼びます。積算シンボルとして使用する場合は、[数量拾い]の[積算シンボル]で数量（面積・長さ・個数など）を入力し、その数量とシンボルがもつ積算情報をもとに積算されます（計算式は使用しません）。

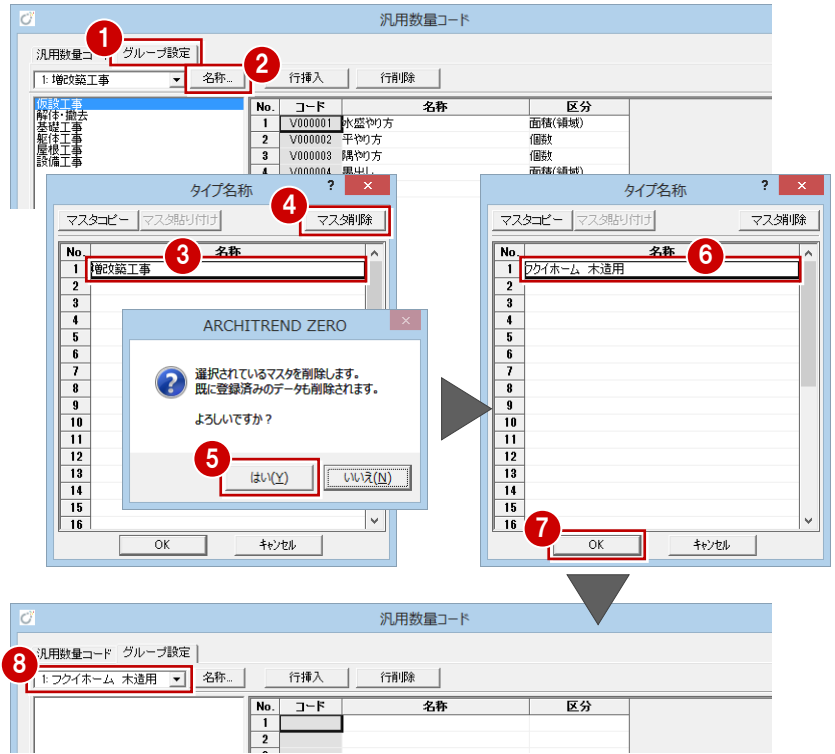
本書では、積算シンボルとして使用する手順を解説しています。



マスタを準備する

No.1 に登録されている標準のマスタを削除して、新しく自社用のマスタを登録しましょう。

- ① [グループ設定] タブをクリックします。
- ② [名称] をクリックします。
- ③④ No.1のセルを選択して、[マスタ削除] をクリックします。
- ⑤ 確認画面で [はい] をクリックします。
- ⑥⑦ 新しいマスタの名前（ここでは「フクイホーム 木造用」）を入力して、[OK] をクリックします。
- ⑧ 「1: フクイホーム 木造用」が選ばれていることを確認します。

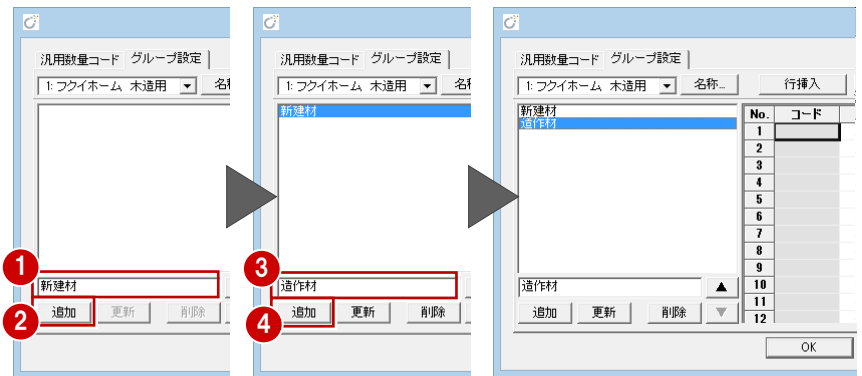


汎用数量コードを登録する

自社用マスタに新しいグループを追加して、汎用数量コード（項目）を登録しましょう。

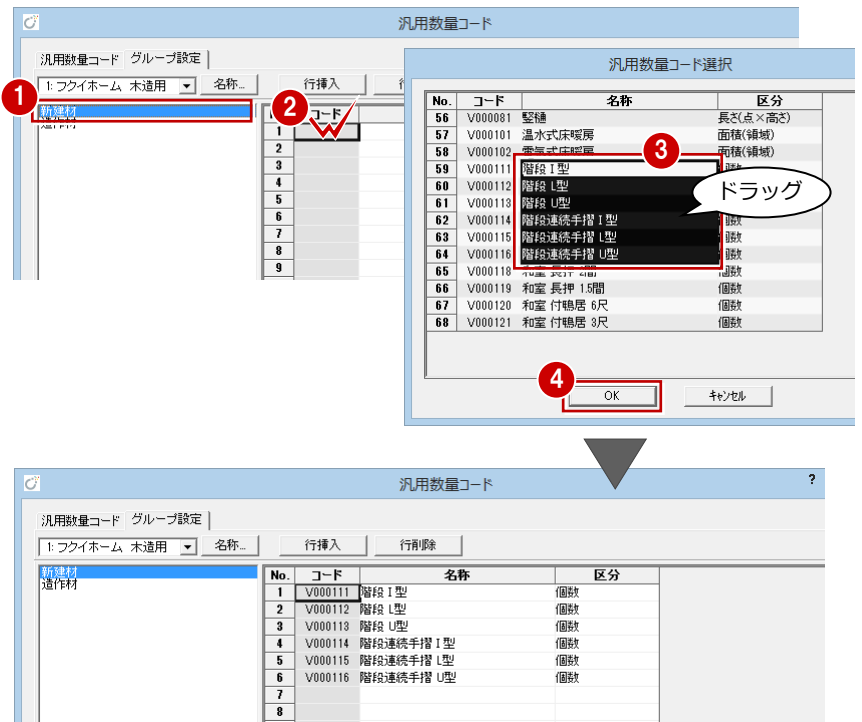
- グループを追加する -

- ①② 左下のセルにグループ名（ここでは「新建材」）を入力して、[追加] をクリックします。
- ③④ 同様にして「造作材」のグループも追加します。



- 汎用数量コード（項目）を登録する -

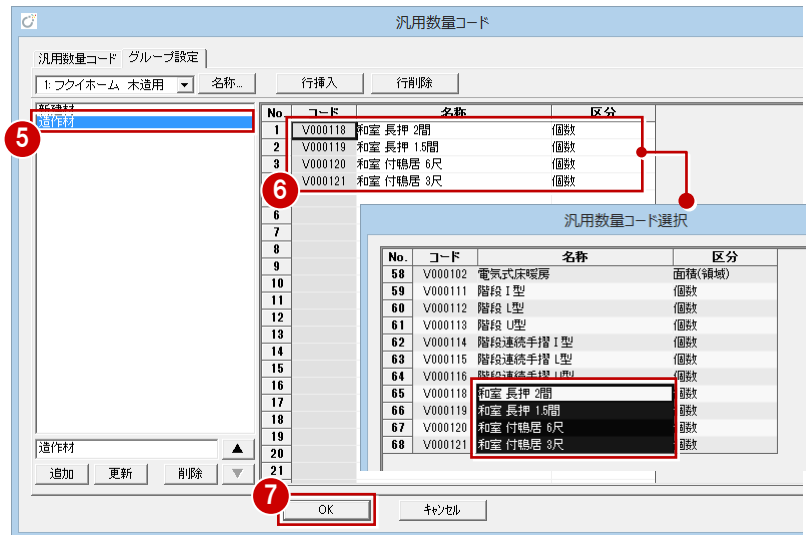
- ① 「新建材」のグループを選択します。
- ② No.1のセルをダブルクリックします。
- ③④ 「階段 I 型」から「階段連続手摺 U 型」までを選択して、[OK] をクリックします。



2 自社用マスタの作成

5 6 同様に、「造作材」のグループに「和室 長押 2間」～「和室 付鴨居 3尺」までを登録します。

7 [OK] をクリックして終了します。



物件マスタを更新する

ここまで構築できたら、自社用に登録した積算関連のマスタを物件マスタに書き込んでおきましょう。

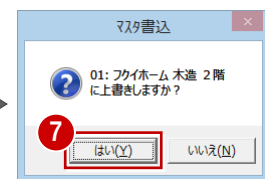
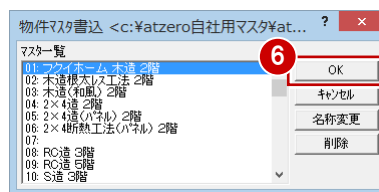
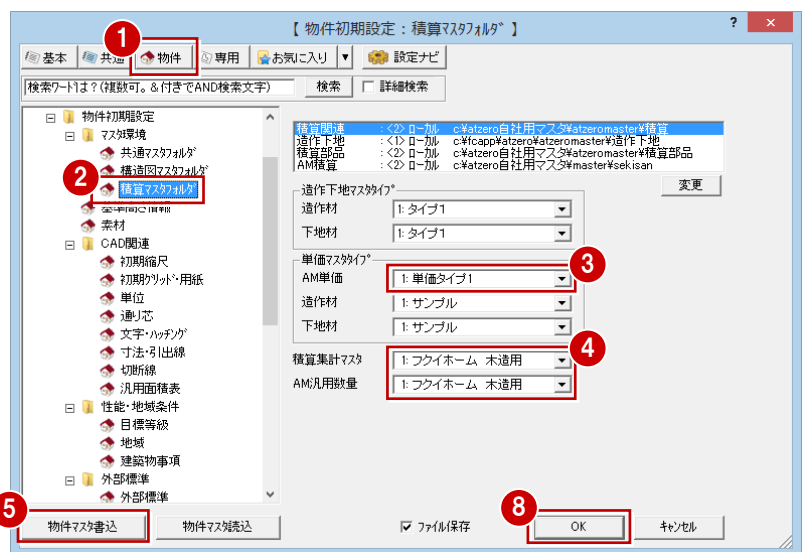
1 2 [物件初期設定 (マスタ環境 - 積算マスタフォルダ)] ダイアログを開きます。

3 [AM 単価] で、単価を登録したタイプを選択します。

4 [積算集計マスタ] [AM 汎用数量] で、自社用に登録したマスタを選びます。

5 ~ 7 [物件マスタ書込] をクリックして、自社用の物件マスタを更新します。

8 [OK] をクリックします。



3

基本積算の実行

積算マスタの構築ができれば、新規物件を入力して積算してみましょう。

3-1 基本データの入力

自社用の物件マスタを使って新規物件を作成し、平面図・屋根伏図・天井伏図でデータを入力しましょう。
また、本書のようにトータル面積表の建築面積・延床面積を積算で使用している場合は、配置図にトータル面積表を配置しておきましょう。

新規物件を作成する

新規物件の作成時に、[物件マスタ] で自社用の物件マスタを選択します。

平面図を入力する

部屋・建具・柱壁・仕上・シンボル・部品などを入力します。

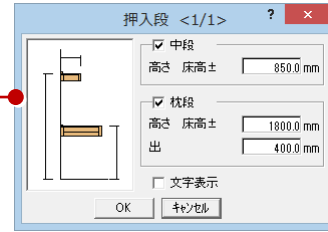
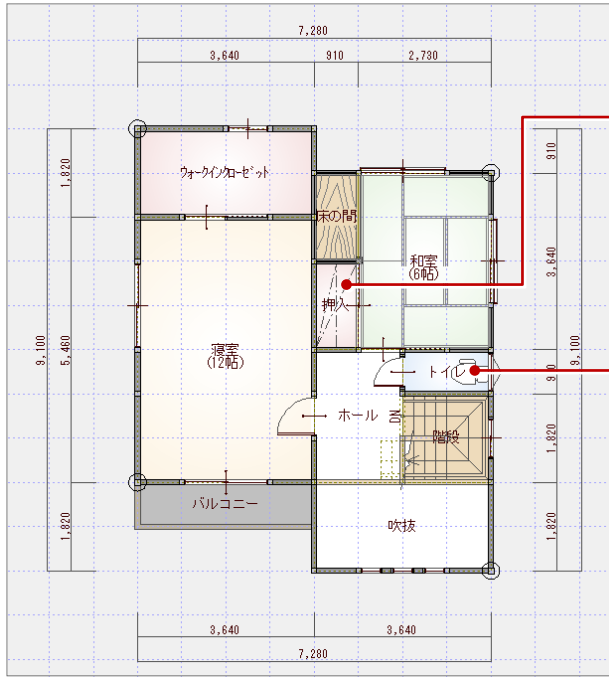
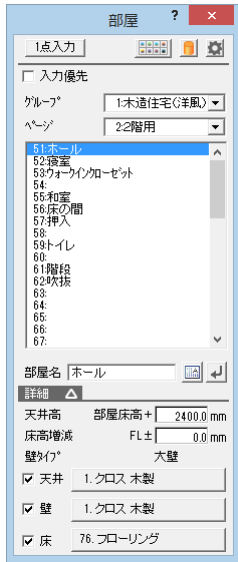
⇒ 入力手順については、ZERO 操作ガイドの「導入マニュアル」にある「プラン作成編」参照

※「ユーティリティ」の部屋名を変更して入力します。

No.	処理	係数	単価	工事区分	名称	採算
1	✓	1.000		木工事	0043キッチンカウンター	片面R 36×350×2500
2		1.000				
3		1.000				
4		1.000				
5		1.000				

※ カウンターの入力時に積算情報を設定しておきます。

3 基本積算の実行

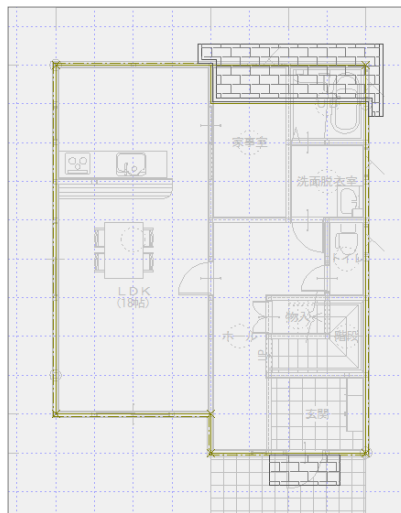


【部屋データから積算される項目】

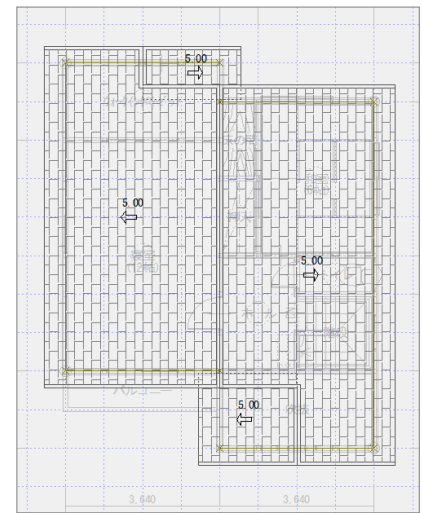
- ・ 1階 玄関：上り框・付框
- ・ 1階 2階 トイレ：紙巻器・タオル掛け
- ・ 2階 寝室：ボーダークロス
- ・ 2階 床の間：床柱・框付床板
- ・ 各部屋：電灯配線・コンセント・スイッチなどの設備

屋根伏図を入力する

屋根・シンボルなどを入力します。



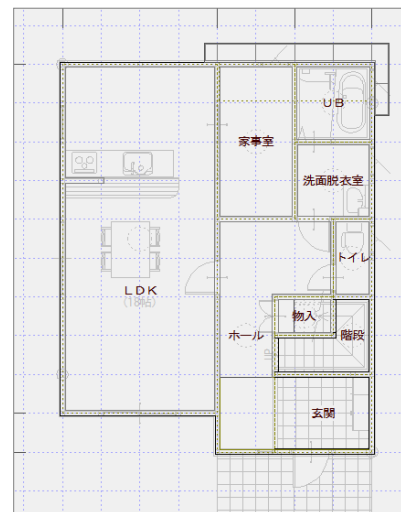
【1階】



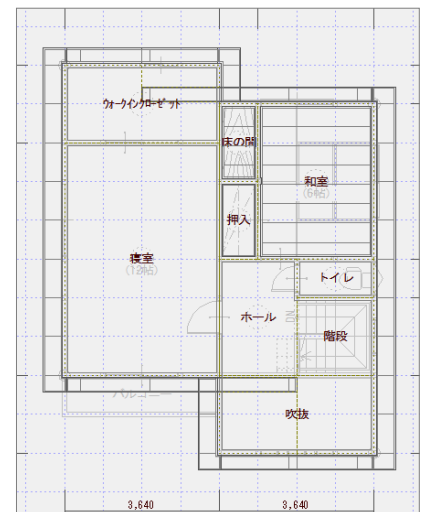
【2階】

天井伏図を入力する

天井仕上・シンボルなどを入力します。



【1階】

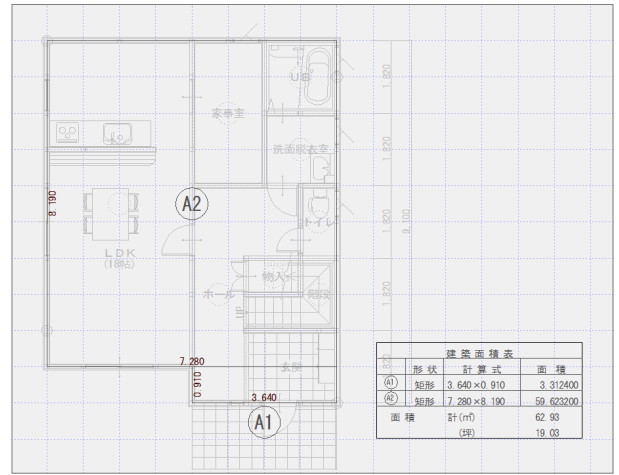


【2階】

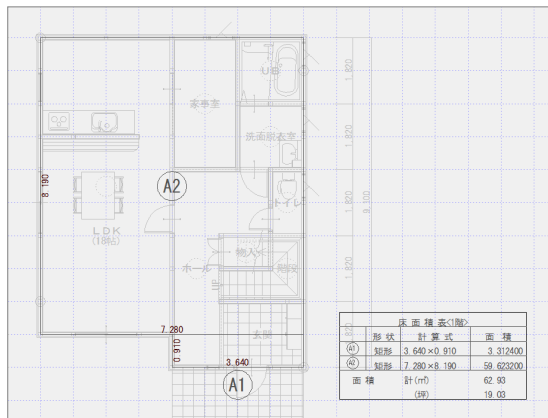
配置図を入力する

本書のようにトータル面積表の建築面積・延床面積を積算で使用している場合は、配置図にトータル面積表を配置しておきましょう。

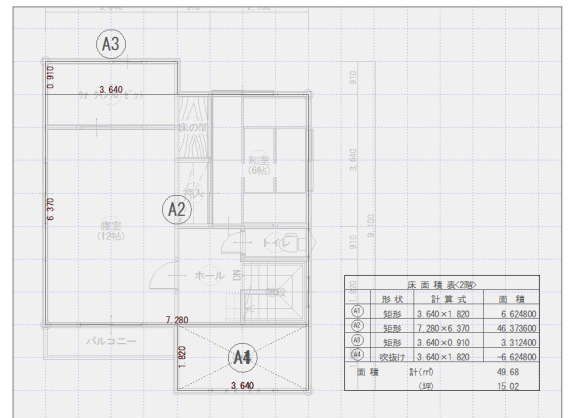
- ① 建築面積求積図で建築面積を入力し、建築面積表を配置します。
- ② 床面積求積図で1階、2階の床面積を入力し、床面積表を配置します。
- ③ 配置図で敷地と三斜区画を入力し、敷地面積表を配置後、トータル面積表を配置します。



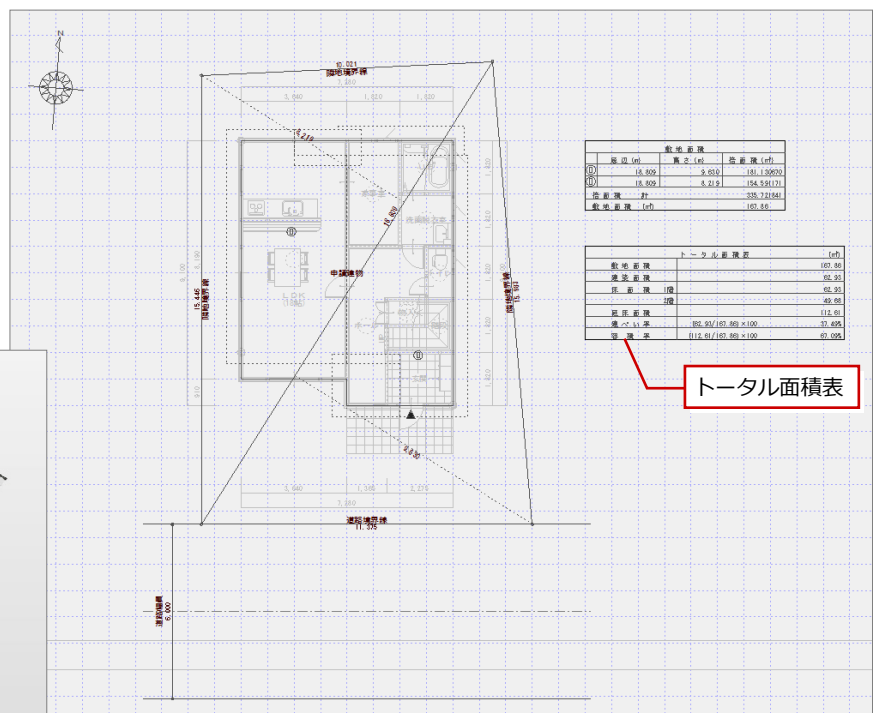
【建築面積求積図】



【1階 床面積求積図】



【2階 床面積求積図】



トータル面積表

【配置図】

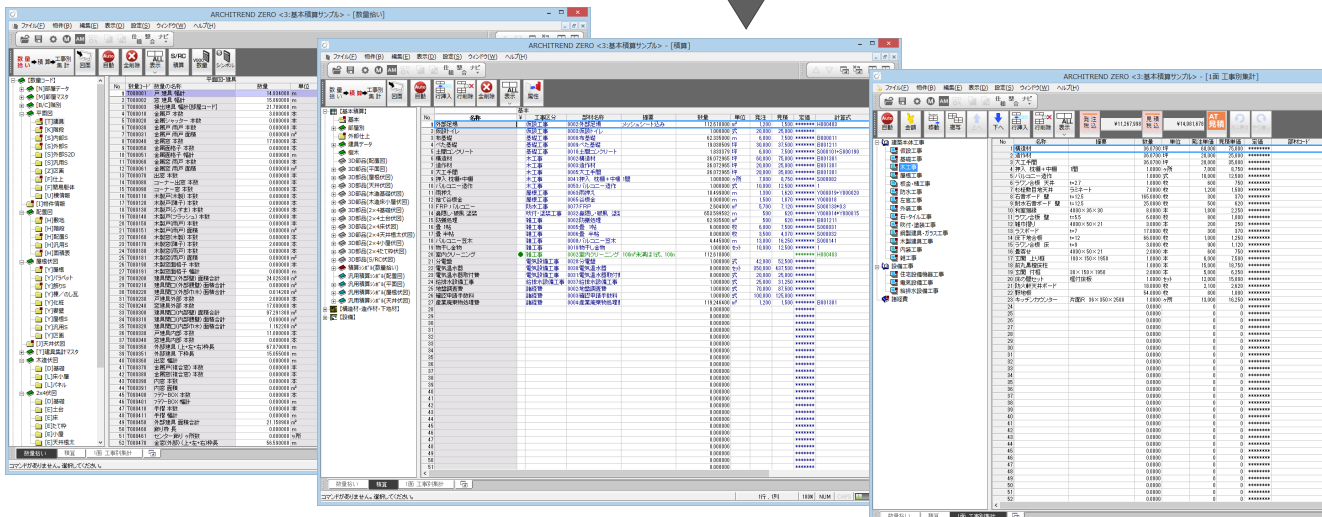
3-2 積算集計処理

積算一括処理を行って、[数量拾い][積算][工事別集計]で集計結果を確認しましょう。

また、[数量拾い]で積算シンボル(階段、連続手摺、長押、付鴨居)の数量を入力し、再集計しましょう。

積算一括処理を実行する

- 1 [処理選択] ダイアログの [積算] タブをクリックします。
- 2 [積算一括処理] をダブルクリックします。
- 3 4 [積算一括処理] ダイアログ (1/5) で「1: フクイホーム 木造用」が選ばれていることを確認して、[次へ] をクリックします。
- 5 ~ 8 [積算一括処理] ダイアログ (2/5 ~ 4/5) で [次へ] を順にクリックしていき、最後 (5/5) に [完了] をクリックします。
- 9 処理が終了すると、[数量拾い][積算][工事別集計]の3つの画面が開きます。



[数量拾い] 数量を確認する

ここでは、外壁仕上の面積の数量根拠を確認してみましょう。

- 1 [数量拾い] 画面を開きます。
- 2 ツリーから「平面図 - [F] 仕上」を選びます。
- 3, 4 「[F000120 : 外壁 面積]」の行を選択して、[図面] をクリックします。
参照図面の画面に切り替わります。

参照図面について

図面を参照しながら、[面積] [長さ] [個数] などのコマンドで数量を追加できます。
[数量拾い] に戻ると入力したデータの数量は加算されますが、再度参照図面に入ってもデータとして残りません。

- 5 [仕上面] をクリックします。
[仕上面積確認] ダイアログに、外壁仕上面積、開口面積、外壁仕上から開口面積を差し引いた面積が表示されます。

外壁	開口	仕上-開口
49.515335	11.383345	38.131990
14.076790	3.207050	10.869740
10.920000	3.550050	7.369950
11.433000	2.105120	9.327880
13.086545	2.521125	10.564420

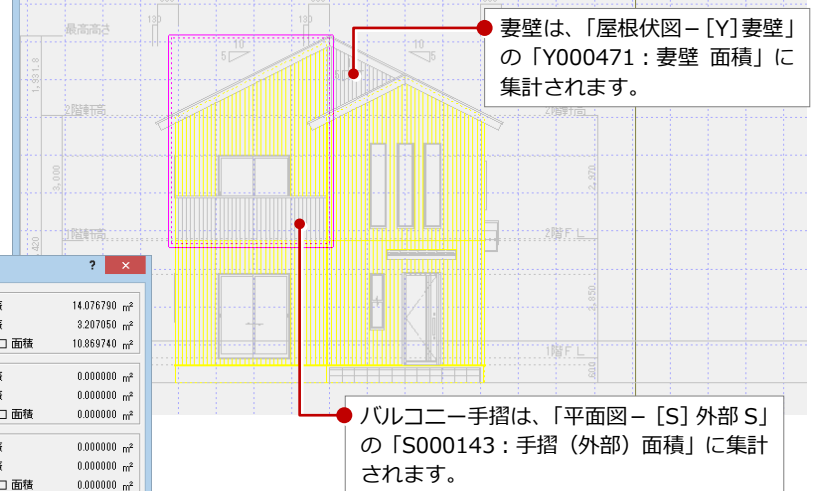
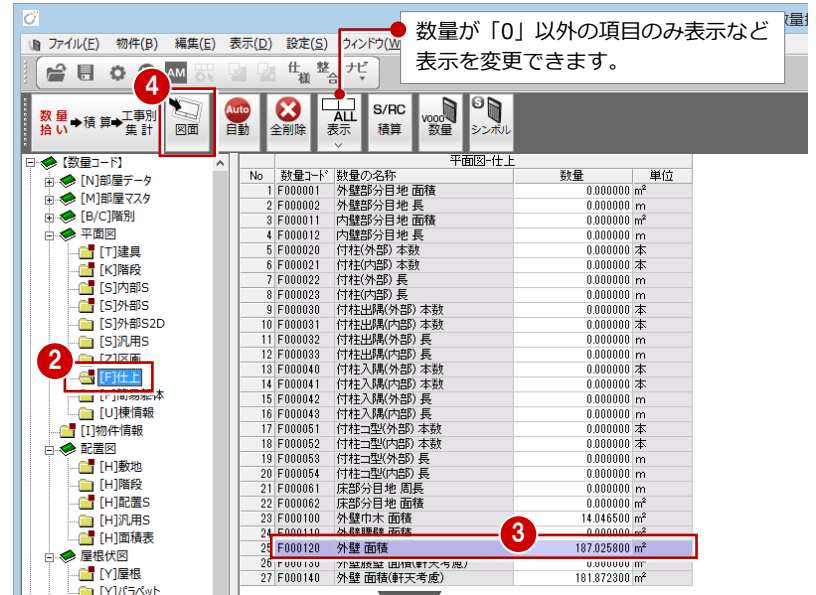
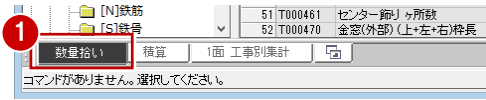
この面の仕上面積合計
各仕上面積

外壁	開口	仕上-開口
49.515335	11.383345	38.131990
14.076790	3.207050	10.869740
10.920000	3.550050	7.369950
11.433000	2.105120	9.327880
13.086545	2.521125	10.564420

セルをダブルクリックすると、開口部分をわかりやすく確認できます。

壁	仕上面積	開口面積	仕上-開口面積
2階	14.076790 m ²	3.207050 m ²	10.869740 m ²
1階	0.000000 m ²	0.000000 m ²	0.000000 m ²
中水	0.000000 m ²	0.000000 m ²	0.000000 m ²
仕上面積	0.000000 m ²	0.000000 m ²	0.000000 m ²
開口面積	0.000000 m ²	0.000000 m ²	0.000000 m ²
仕上-開口面積	0.000000 m ²	0.000000 m ²	0.000000 m ²

- 6~8 [図面] をクリックして、参照図面を他の面に変更します。
- 9 確認が終了したら、[戻る] をクリックして [数量拾い] 画面に戻ります。



外壁	開口	仕上-開口
55.229665	4.426700	50.802965
2.730000	0.000000	2.730000
5.382195	0.000000	5.382195
25.083000	2.763150	22.319850
22.034470	1.663550	20.370920

各面の「仕上-開口」面積の合計が [数量拾い] に計上された値です。

3 基本積算の実行

[数量拾い] 積算シンボルを入力する

階段、階段手摺、長押、付鴨居の積算シンボルを入力しましょう。

① [シンボル] をクリックします。

積算シンボルの入力画面に切り替わります。

②③ [積算シンボル] ダイアログの「新建材」グループから「階段 U 型」を選択します。

④ バック図面を参照しながら、階段のそばに配置します。

[積算シンボル] ダイアログにシンボルの数量が計上されます。

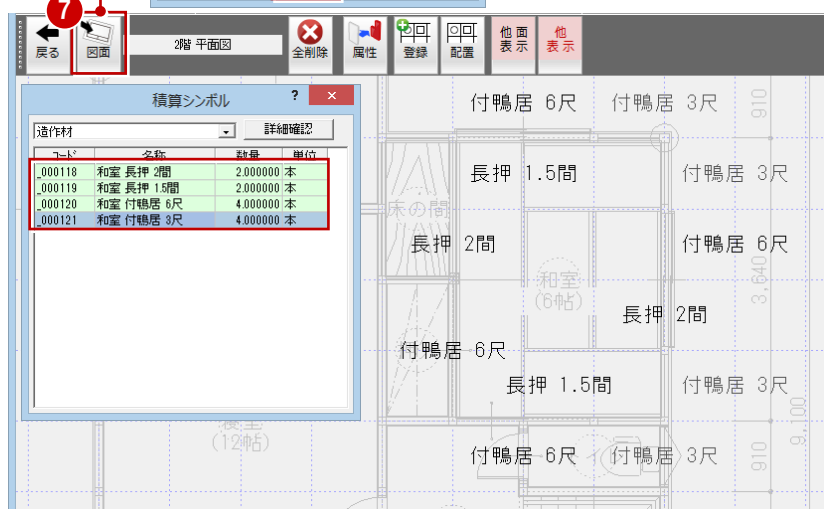
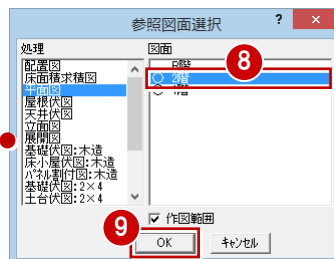
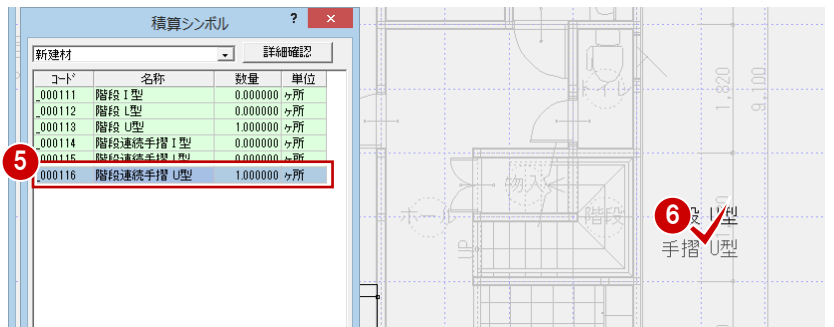
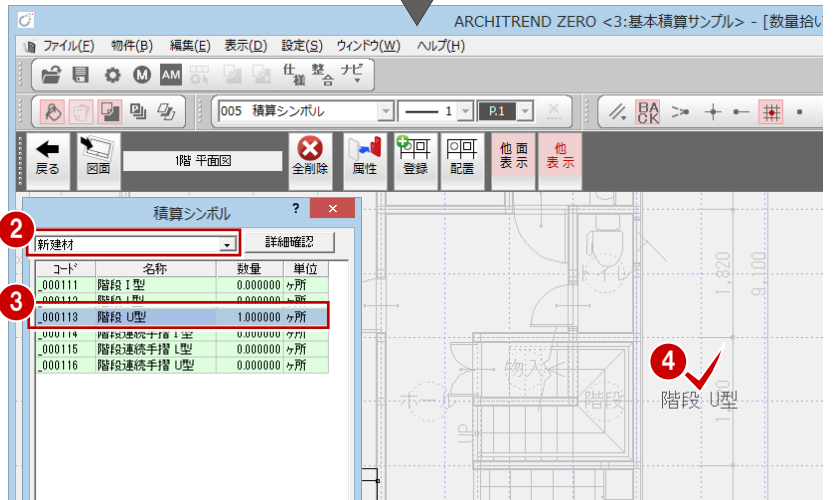
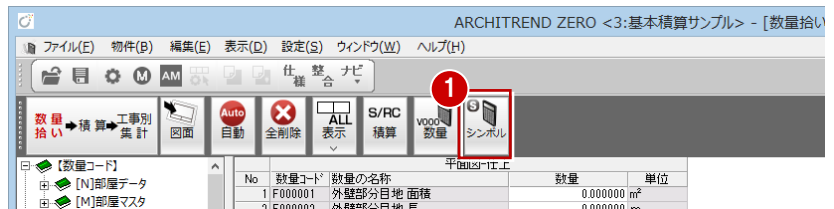
⑤⑥ 続けて、「階段連続手摺 U 型」も配置します。

和室は 2 階にあるので、参照図面を 2 階に変更してから長押、付鴨居の積算シンボルを入力しましょう。

⑦～⑨ [図面] をクリックして、参照図面を 2 階に変更します。

右図のように、長押と付鴨居の積算シンボルを入力します。

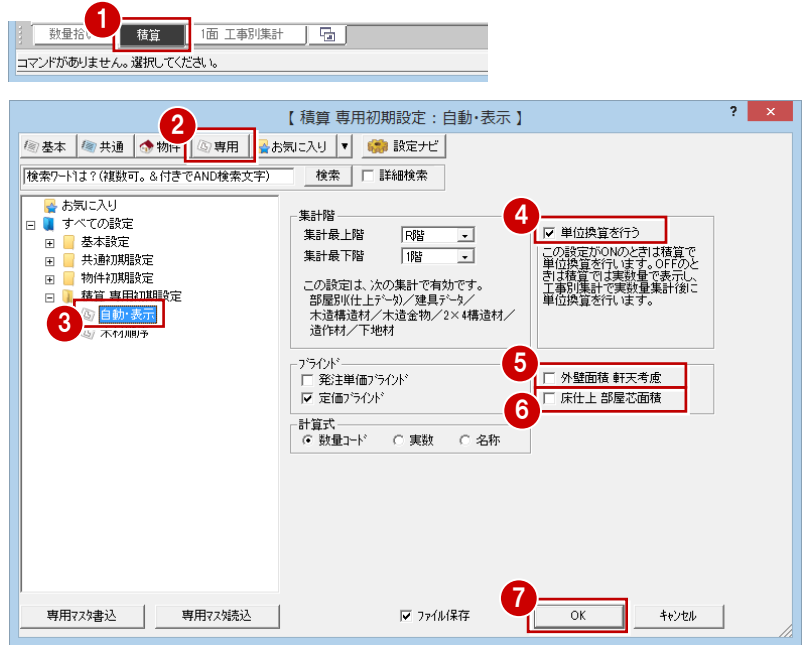
⑩ 入力が終了したら、[戻る] をクリックして [数量拾い] 画面に戻ります。



【積算】 初期設定を確認する

再集計を行う前に、専用初期設定を確認しておきましょう。

- 1 【積算】画面を開きます。
- 2,3 【専用初期設定（自動・表示）】ダイアログを開きます。
- 4 積算で単位換算を行うかどうかを設定します。
- 5 外壁仕上の上端を軒天位置までとして面積計算する場合は【外壁面積 軒天考慮】をON、屋根垂木までとする場合はOFFにします。
- 6 床仕上を部屋線の領域で集計する場合は【床仕上 部屋芯面積】をON、躯体面で集計する場合はOFFにします。
- 7 【OK】をクリックします。



【単位換算を行う】がOFFの場合
 単位換算は工事別集計で行われ、積算では、単位が「枚」であっても「㎡」のままの数量が表示されます。
 (下図は、「枚」の換算率=1.62㎡の場合)

部材名称	摘要	数量	単位
0018: ガルバリウム鋼板	15×350×3790	89.712302	㎡
0009: 外壁モルタル刷毛引		14.046480	㎡
0034: 軒天井 塗装		8.066533	㎡
0022: 防火軒天井ボード		5.000000	枚
0059: コロニアル屋根材		74.481895	㎡
0061: アスファルトルーフ		74.481895	㎡
0020: 野地板		74.481895	枚
0018: ガルバリウム鋼板	15×350×3790	110.739304	㎡

【単位換算を行う：OFF】

数量	単位
88.046752	㎡
14.046480	㎡
8.066533	㎡
5.000000	枚
74.481895	㎡
74.481895	㎡
46.000000	枚
110.739304	㎡

【ON】

ブラインド機能
 お施主様に画面を提示する場合など、発注単価を見せたくないときは【発注単価ブラインド】をONにします（再計算不要）。

発注	見積	定価
1,200	1,500	*****
20,000	25,000	*****
6,000	7,500	*****

【OFF】

発注	見積	定価
*****	1,500	*****
*****	25,000	*****
*****	7,500	*****

【ON】

計算式の表示
 積算画面での計算式の表示形式を変更できます（再計算不要）。

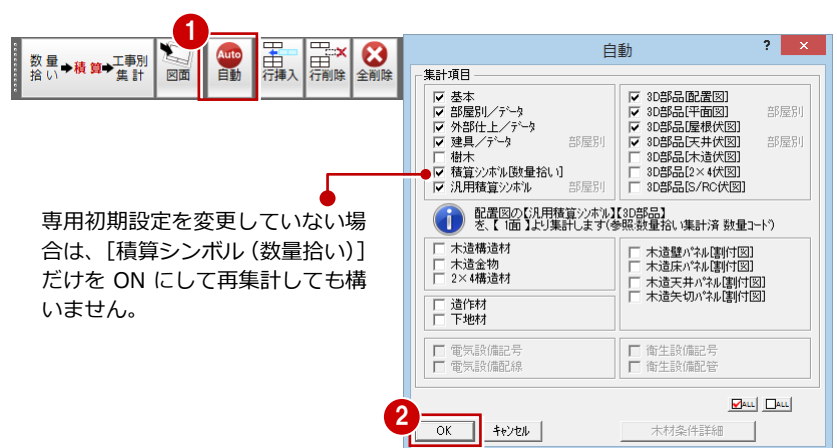
計算式	計算式	計算式
H000403	112.6100000=112.6101	延床面積(1階)床面積
B000011	62.8300000=62.830001	部屋線(1階)長
B001211	62.8356000=62.835601	部屋(1階)面積
S0001101+S000190	5.8695000+0.0000000=	ポーチ 面積+犬走り

【数量コード】 【実数】 【名称】

【積算】 集計を実行する

再集計を行って、積算シンボルの追加や専用初期設定の変更を反映させましょう。

- 1 【自動】をクリックします。
- 2 集計項目を確認して、【OK】をクリックします。
- 3 「積算シンボル（数量拾い）」のツリーで、追加された項目を確認します。



No.	名称	積算シンボル(数量拾い)	新建材(階段 U型)	部材名称	摘要
1	階段 U型		木工事	0047階段 U型	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

3 基本積算の実行

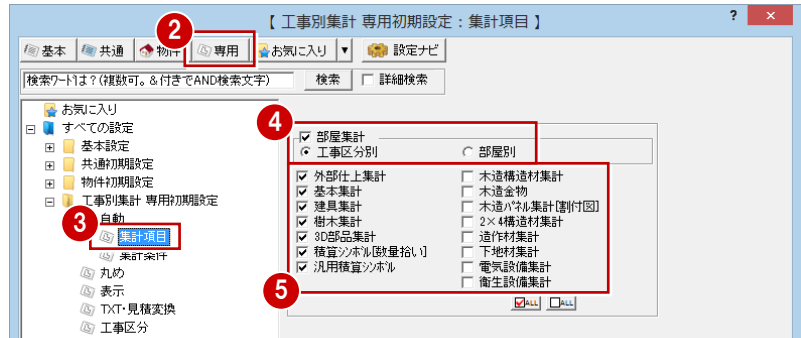
【工事別集計】 初期設定を確認する

再集計を行う前に、専用初期設定を確認しておきましょう。

- ① 【工事別集計】画面に切り替えます。
- ②③ 【専用初期設定（自動－集計項目）】ダイアログを開きます。
- ④ 積算の【部屋別】で集計されたデータを工事区分別に集計するか、部屋別に集計するかを設定します。
- ⑤ 集計する項目をONにします。

建具や部品も部屋別で集計したい場合

積算集計マスタで、【部屋・建具】タブの【建具を部屋別に集計する】や【部品】タブの【平面図・天井伏図 部品を部屋別に集計する】をONにして積算集計します。そして、工事別集計で【部屋集計】を【部屋別】にして集計すると、建具や部品も部屋別で集計されます。



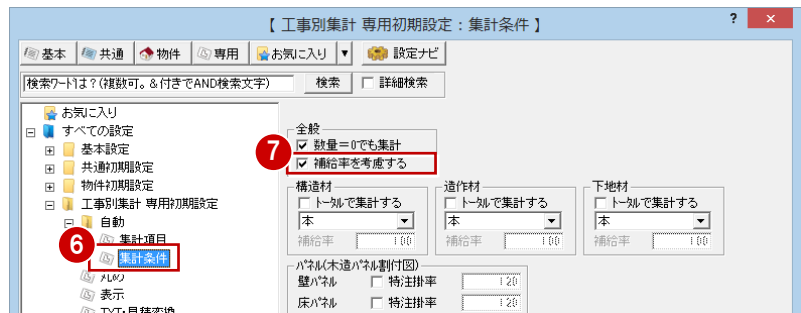
部屋別集計の場合

【部屋集計】を【部屋別】で集計すると、工事区分ツリーの下に「〇階部屋別集計」ツリーが表示され、部屋の仕上・備考・部屋設備が集計されます。

No	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	ビニールクロス 天井		1,250.00	㎡	1,000	1,250
2	石膏ボード 天井	t=9.5	2,000.00	枚	200	250
3	木製廻縁	25×51×4000	2,000.00	本	7,000	8,750
4	耐水ビニールクロス		10,000.00	㎡	1,200	1,500
5	耐水石膏ボード 壁	t=12.5	8,000.00	枚	500	620
6	木製巾木	12.5×75×4000	2,000.00	本	10,000	12,500
7	クッションフロアー		1,380.00	㎡	1,300	1,620
8	床下地合板	t=12	2,000.00	枚	1,000	1,250
9	紙巻き器		1,000.00	ヶ所	1,000	1,250
10	タイル掛け		1,000.00	ヶ所	800	1,000
11	電灯配線		1,000.00	ヶ所	2,100	2,620
12	スイッチ		2,000.00	ヶ所	2,500	3,120
13	E付コンセント		1,000.00	ヶ所	2,600	3,250
14	換気扇	パイプ用ファン+取付費	1,000.00	ヶ所	15,000	18,750
15			0.0000			0

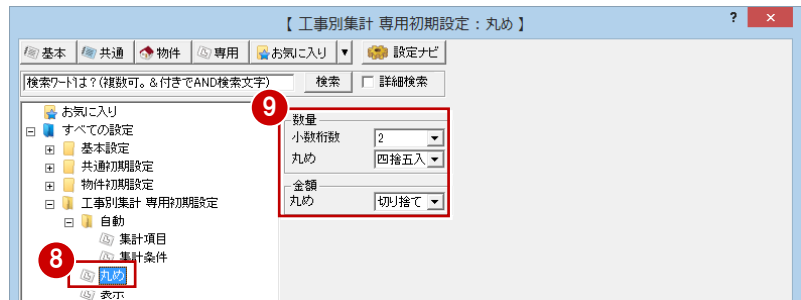
- ⑥ ツリーから「自動－集計条件」を選びます。

- ⑦ 【補給率を考慮する】がONになっていることを確認します。



- ⑧ ツリーから「丸め」を選びます。

- ⑨ 数量の小数点以下の桁数 (0~4) や丸め、金額の丸めを設定します。



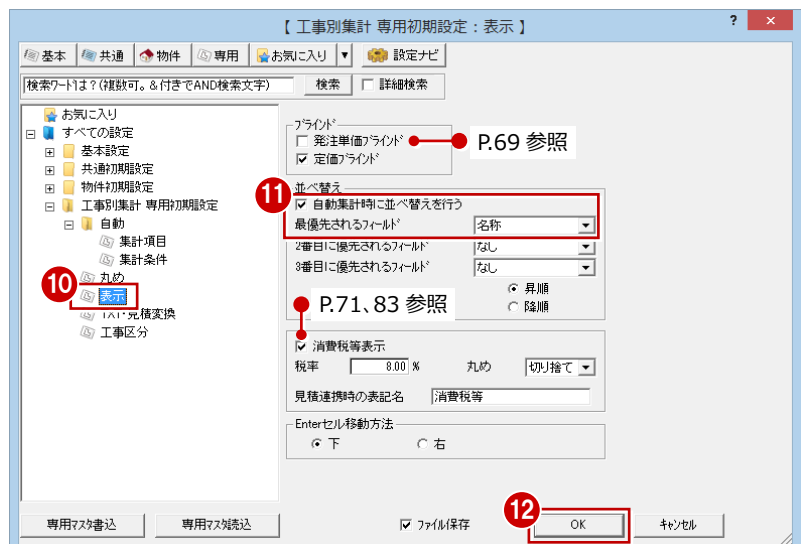
- ⑩ ツリーから「表示」を選びます。

- ⑪ ここでは、【自動集計時に並べ替えを行う】にチェックを付けて、最優先されるフィールドを「名称」に設定します。

- ⑫ 【OK】をクリックします。

⇒ 【専用初期設定 (TXT・見積変換)】については、P.73 参照

⇒ 【専用初期設定 (工事区分)】については、P.28 参照



[工事別集計] 集計を実行する

積算集計の結果を工事別に集計しましょう。

- 1 [自動] をクリックします。
- 2,3 [全項目削除して集計] にチェックが入っている状態で、[OK] をクリックします。

[指定項目削除して集計] を使った場合
 [積算シンボル (数量拾い) 集計] だけをONにして [指定項目削除して集計] を実行すると、バルコニーや手摺壁など、積算で「積算シンボル (数量拾い)」のツリーに集計される仕上も再集計されて別項目として表示されます。そのため、ここでは [全項目削除して集計] を使用しています。

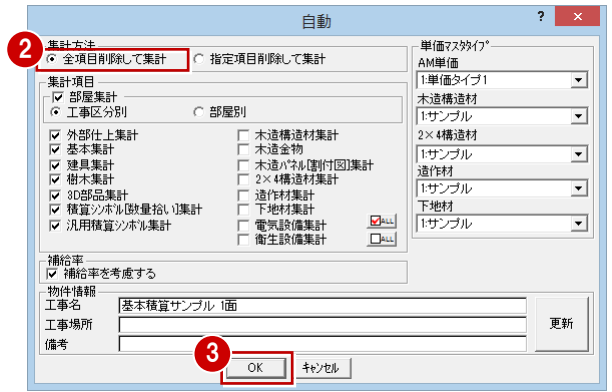
- 4 ツリーから「木工事」を選んで、積算シンボルが追加されたことを確認します。

- 5 他の工事区分も集計結果を確認します。

- 6 ツリーから「電気設備工事」を選びます。

- 7 [処理区分] を「コメント」に設定した積算項目について、必要があれば数量を入力します。

⇒ コメント行の設定については、P.56 参照



No	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	定価
1	キッチンカウンター	片面R 36×350×2500	1.0000	ヶ所	13,000	15,250	*****
2	バルコニー造作	t=12	1.0000	式	18,000	12,500	*****
3	ラヌボード	t=7	17.0000	枚	300	370	*****
4	ラウソ合板 床	t=9	5.0000	枚	900	1,120	*****
5	ラウソ合板 天井	t=2.7	1.0000	枚	600	750	*****
6	ラウソ合板 壁	t=5.5	6.0000	枚	800	1,000	*****
7	珪藻土中継	1間	1.0000	ヶ所	7,000	8,750	*****
8	階段 U型		1.0000	セット	200,000	250,000	*****
9	階段連続手摺 U型		1.0000	セット	22,000	27,500	*****
10	玄関 上り権	100×150×1950	1.0000	本	6,000	7,500	*****
11	玄関 付権	30×150×1950	2.0000	本	5,000	6,250	*****
12	構造材		36.0700	坪	60,000	75,000	*****
13	雑巾捲り	4000×50×21	3.0000	本	200	250	*****
14	床の補せ		1.0000	セット	12,000	15,000	*****
15	床下地合板	t=12	66.0000	枚	1,000	1,250	*****
16	敷居	4000×50×21	2.0000	本	600	750	*****
17	杉趾動目地天井	ラミネート	7.0000	枚	1,200	1,500	*****
18	石膏ボード 天井	t=9.5	66.0000	枚	200	250	*****
19	石膏ボード 壁	t=12.5	164.0000	枚	300	370	*****
20	前丸黒檜床柱		1.0000	本	15,000	18,750	*****
21	造作材		36.0700	坪	20,000	25,000	*****
22	耐水石膏ボード 壁	t=12.5	25.0000	枚	500	620	*****
23	大工手摺		36.0700	坪	28,000	35,000	*****
24	防火軒天井ボード		18.0000	枚	2,100	2,620	*****
25	壁紙		64.0000	坪	900	1,100	*****
26	和室 長押	2間	2.0000	本	2,000	2,500	*****
27	和室 長押	1.5間	2.0000	本	1,500	1,870	*****
28	和室 付鶴居	6尺	4.0000	本	800	1,000	*****
29	和室 付鶴居	3尺	4.0000	本	400	500	*****
30	和室廻縁	4000×30×30	8.0000	本	1,800	2,250	*****
31			0.0000		0	0	*****

No	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	定価
1	アスファルトルーフィング		88.2800	m ²	400	500	*****
2	ゴニアル屋根材		88.2800	m ²	3,000	3,750	*****
3	雨押え		10.5000	m	1,300	1,620	*****
4	谷板金		0.0000	m	1,500	1,870	*****
5			0.0000		0	0	*****
6			0.0000		0	0	*****
7			0.0000		0	0	*****
8			0.0000		0	0	*****
9			0.0000		0	0	*****
10			0.0000		0	0	*****

数量が「0」の項目は赤字で表示される

No	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	定価
1	3路スイッチ		8.0000	ヶ所	0	0	*****
2	E付コンセント		6.0000	ヶ所	0	0	*****
3	TEL配管		3.0000	ヶ所	0	0	*****
4	TV配線		3.0000	ヶ所	0	0	*****
5	Eアコン用コンセント		3.0000	ヶ所	0	0	*****
6	コンセント		14.0000	ヶ所	0	0	*****
7	スイッチ		19.0000	ヶ所	0	0	*****
8	換気扇	パイプ用ファン+取付費	5.0000	ヶ所	18,750	18,750	*****
9	電気温水器		0.0000	ヶ所	350,000	437,500	*****
10	電気温水器取付費		0.0000	ヶ所	20,000	25,000	*****
11	電気配線		21.0000	ヶ所	2,100	2,620	*****
12	分電盤		1.0000	ヶ所	42,000	52,500	*****
13	防水コンセント		1.0000	ヶ所	3,400	4,250	*****
14			0.0000		0	0	*****
15			0.0000		0	0	*****
7	スイッチ		19.0000	ヶ所	2,500	3,120	*****
8	換気扇	パイプ用ファン+取付	5.0000	ヶ所	15,000	18,750	*****
9	電気温水器		1.0000	ヶ所	350,000	437,500	*****
10	電気温水器取付費		1.0000	ヶ所	20,000	25,000	*****
11	電気配線		21.0000	ヶ所	2,100	2,620	*****
12	分電盤		1.0000	ヶ所	42,000	52,500	*****
13	防水コンセント		1.0000	ヶ所	3,400	4,250	*****
14			0.0000		0	0	*****
15			0.0000		0	0	*****

コメント行は数量が「0」で計上される

合計金額を確認する

ツリーから工事区分を選んで [金額] をクリックすると、選択している工事区分と全体の合計金額、利益率などを確認できます。このダイアログは開いたまま他の操作を行うことができ、数量や金額の変更があった場合も再計算されてリアルタイムに合計金額を確認できます。

※ [消費税] は、[専用初期設定 (表示)] ダイアログの [消費税等表示] が ON のときに表示されます。

合計金額		消費税
全体	発注金額 ¥12,544,017	¥929,186
	見積金額 ¥15,676,525	¥1,161,224
	見積-発注 ¥3,132,508	
	利益率 19.98%	
工事区分	発注金額 ¥717,400	
	見積金額 ¥996,480	
	見積-発注 ¥279,080	

3-3 見積書の作成

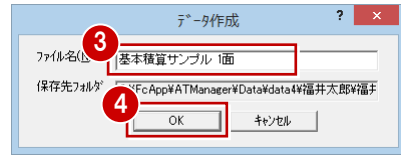
ARCHITREND 見積を使って、集計結果を見積データに変換しましょう。

※ ここからの操作には、ARCHITREND 見積がインストールされている必要があります。

ARCHITREND 見積へ出力する



- 1 [AT 見積] をクリックします。
- 2 確認画面で [OK] をクリックします。
- 3,4 [ファイル名] に見積書のファイル名を入力して、[OK] をクリックします。
ARCHITREND 見積が起動します。



⇒ ARCHITREND 見積の操作については、ZERO 操作ガイドの「積算見積」にある「見積書作成編」参照

数量が「0」の項目

出荷時は、数量が「0」の項目は出力されないように設定されています。

数量が「0」の項目を出力する場合は、[工事別集計専用初期設定 (TXT・見積変換)] ダイアログの [数量=0 でも変換] にチェックを入れてから、AT 見積に出力します。

No	項目No	名称	積算	見積数量	単位	見積単価	見積金額
1		建築本体工事		1.00	式	13,124,196	13,124,196
2		仮設工事		1.00	式	537,230	537,230
3		基礎工事		1.00	式	391,375	391,375
4		屋根工事					
5		防水工事					702,640
6		左官工事					
7		外装工事					
8		石・タイル工事					
9		吹付・塗装工事					
10		鋼製建具・ガラス工事					
11		木製建具工事					
12		内装工事					
13		給排水工事					
14		設備工事					
15		住宅設備機器工事					
16		電気設備工事					
17		給排水設備工事					
18		雑費					
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
合計							14,755,441

【補足】Excel への出力

積算や工事別集計からは、[ファイル] メニューの [Excel 出力] コマンドで Excel データに出力することができます。

※ 数量が「0」の項目も Excel に出力されます。

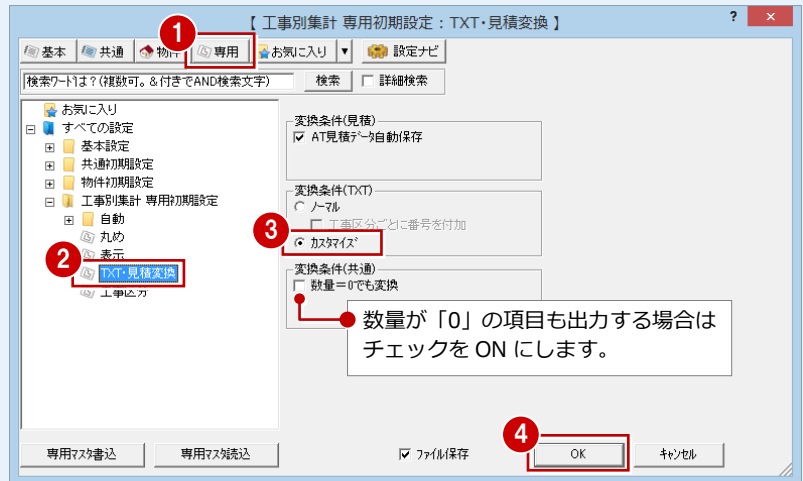
【補足】他社の見積システムへの変換

工事別集計データをテキストデータへ出力することで、他社の見積システムで取り込むことができます。出荷時に、いくつか他社の見積システムへの変換条件を用意しており、その条件を選ぶだけで、見積システムに対応したテキストデータを出力できます。

※ 他社の見積システムでのテキストデータの取り込み方法については、見積システムのマニュアルをお読みください。

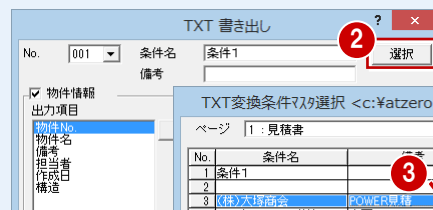
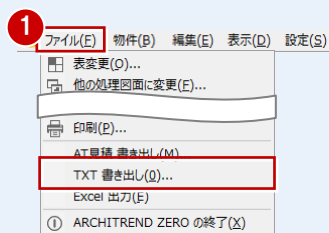
－ 専用初期設定を確認する －

- 1,2 [工事別集計 専用初期設定 (TXT・見積変換)] ダイアログを開きます。
- 3 [変換条件 (TXT)] が [カスタマイズ] になっていることを確認します。
- 4 [OK] をクリックします。



－ テキストデータに変換する －

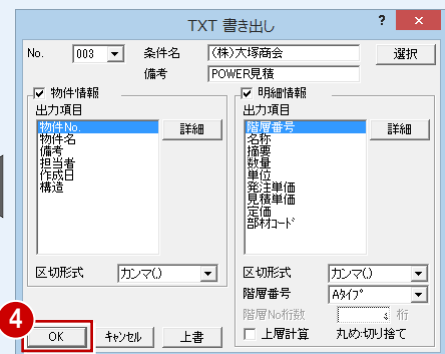
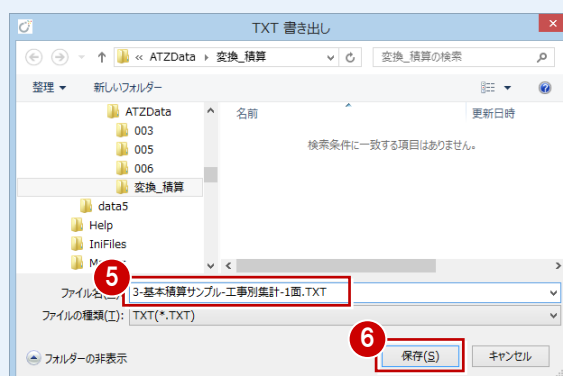
- 1 [ファイル] メニューから [TXT 書き出し] を選びます。
- 2 [TXT 書き出し] ダイアログの [選択] をクリックします。
- 3 [TXT 変換条件マスタ選択] ダイアログで見積システムをダブルクリックして選択します。
- 4 [TXT 書き出し] ダイアログの [OK] をクリックします。
- 5 [ファイル名] にテキストデータのファイル名を入力します。
- 6 [保存] をクリックします。



テキストデータの保存先フォルダ (初期値)

保存先の初期値はデータフォルダ内の「変換_積算」フォルダです。

なお、ファイル名の初期値は「物件 No-物件名-工事別集計-図面 No」となります。



【本書での積算項目と数量の算出方法】

名称	概要	単位	丸め	換算率	数量の算出方法	計算式
建築本体外工事						
仮設工事						
外部足場	メッシュシート込み	m ²	実数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	H000403:延床面積[一-外]面積表]
仮設トイレ		式	整数		[積算集計マスタ(基本)]定数値:1	
基礎工事						
布基礎		m	実数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	B000011:部屋線(1階)長
べた基礎		坪	実数	3.3057	[積算集計マスタ(基本)]計算式	B001211:部屋(1階)面積
土間コンクリート		坪	実数	3.3057	[積算集計マスタ(基本)]計算式	S000101:ポーチ面積+S000190:犬走り面積
木工事						
構造材		坪	実数	3.3057	[積算集計マスタ(基本)]計算式	B001381:部屋(全階)面積
造作材		坪	実数	3.3057	[積算集計マスタ(基本)]計算式	B001381:部屋(全階)面積
大工手間		坪	実数	3.3057	[積算集計マスタ(基本)]計算式	B001381:部屋(全階)面積
押入 枕棚+中棚	1間	ヶ所	整数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	S000082:押入段ヶ所数
バルコニー造作		式	整数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	[条件付]S000130:バルコニー面積>00のとき「1」、それ以外るときは「0」
石膏ボード天井	t=9.5	枚	整数	1.6562	①天井伏図:内部天井仕上タータより天井仕上面積を集計	
ラワン合板天井	t=2.7	枚	整数	1.6562	①天井伏図:内部天井仕上タータより天井仕上面積を集計	
杉桟敷目地天井	ラミネート	枚	整数	1.6562	①天井伏図:内部天井仕上タータより天井仕上面積を集計	
和室廻縁	4000×36×30	本	整数	4.0000	①天井伏図:内部天井仕上タータより廻縁長を集計	
石膏ボード壁	t=12.5	枚	整数	1.6562	①平面図:内壁仕上タータより壁(腰壁)仕上面積を集計	
耐水石膏ボード壁	t=12.5	枚	整数	1.6562	①平面図:内壁仕上タータより壁(腰壁)仕上面積を集計	
ラワン合板壁	t=3.5	枚	整数	1.6562	①平面図:内壁仕上タータより壁(腰壁)仕上面積を集計	
ラスボード	t=7	枚	整数	1.6562	①平面図:内壁仕上タータより壁(腰壁)仕上面積を集計	
畳寄せ	4000×50×21	本	整数	4.0000	①平面図:内壁仕上タータより巾木長を集計	
雑巾摺り	4000×50×21	本	整数	4.0000	①平面図:内壁仕上タータより巾木長を集計	
床下地合板	t=12	枚	整数	1.6562	①平面図:床仕上タータより床仕上面積を集計	②平面図:バルコニーより床仕上面積を集計
ラワン合板床	t=9	枚	整数	1.6562	①平面図:床仕上タータより床仕上面積を集計	
野地板		枚	整数	1.6562	①屋根伏図:屋根仕上タータより屋根仕上面積を集計	
防火射天井ボード		枚	整数	1.6562	①天井伏図:外部天井仕上タータより天井仕上面積を集計	②平面図:バルコニーより天井仕上面積を集計
玄関 上り框	100×150×1950	本	整数		[部屋マスタ(備考)]定数値:1	
玄関 付框	30×150×1950	本	整数		[部屋マスタ(備考)]定数値:2	
前丸黒欄床柱		本	整数		[部屋マスタ(備考)]定数値:1	
床の間セト	框付床板	セト	整数		[部屋マスタ(備考)]定数値:1	
階段 U型		セト	整数		積算シンボルで入力した個数を集計	
階段連続手摺 U型		セト	整数		積算シンボルで入力した個数を集計	
和室長押	2間	本	整数		積算シンボルで入力した個数を集計	
和室長押	1.5間	本	整数		積算シンボルで入力した個数を集計	
和室付鴨居	6尺	本	整数		積算シンボルで入力した個数を集計	
和室付鴨居	3尺	本	整数		積算シンボルで入力した個数を集計	
キッチンカウンタ	片面R 36×350×2500	ヶ所	整数		①平面図:内部シンボルの個数を集計	
屋根工事						
雨押え		m	実数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	Y000019:屋根線(妻壁取合)長+Y000020:屋根線(下屋取合)長
谷板金		m	実数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	Y000018:屋根線(谷)長
コロアル屋根材		m ²	実数		①屋根伏図:屋根仕上タータより屋根仕上面積を集計	
アスファルトルーフィング		m ²	実数		①屋根伏図:屋根仕上タータより屋根仕上面積を集計	
板金・樋工事		m	実数		[外部標準マスタ(備考)]計算式	B000011:部屋線(1階)長-T000491:金戸(外部)下枠長(外部)階巾木より低)
土台水切		m	実数		①平面図:バルコニーより床仕上面積を集計	②立上りは[積算集計マスタ(基本)]計算式 S000133:バルコニー 周長×0.3にて集計
防水工事						
FRP		m ²	実数		①平面図:バルコニーより床仕上面積を集計	
左官工事						
京壁仕上げ		m ²	実数		①平面図:内壁仕上タータより壁(腰壁)仕上面積を集計	
タイル下地モルタル		m ²	実数		①平面図:床仕上タータより床仕上面積を集計	②平面図:内壁仕上タータより巾木面積を集計
基礎モルタル刷毛引き		m ²	実数		①平面図:外壁仕上タータより巾木面積を集計	③ポーチより床面積と側面面積を集計
※アスファルトフェルト	(※外部仕様Aのとき)	m ²	実数		①平面図:外壁仕上タータより壁(腰壁)仕上面積を集計	②平面図:外部手摺壁より壁(腰壁)面積を集計
※ガラス網	(※外部仕様Aのとき)	m ²	実数		①平面図:外壁仕上タータより壁(腰壁)仕上面積を集計	②平面図:外部手摺壁より壁(腰壁)面積を集計
※外壁モルタル刷毛引き	(※外部仕様Aのとき)	m ²	実数		①平面図:外壁仕上タータより壁(腰壁)仕上面積を集計	②平面図:外部手摺壁より壁(腰壁)面積を集計
外装工事						
ガルバリウム鋼板	15×350×3790	m ²	実数		①平面図:外壁仕上タータより壁(腰壁)仕上面積を集計	②平面図:外部手摺壁より壁(腰壁)面積を集計

名称	摘要	単位	丸め	換算率	数量の算出方法	計算式
石・タイル工事						
玄関タイル		m	実数		①平面図:床仕上げより床仕上げ上面積を算計 ②平面図:内壁仕上げより巾木面積を算計 ③ポーチより床面積と側面面積を算計	
吹付・塗装工事						
鼻隠し・破風 塗装		m	実数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	Y000014: 屋根線(軒先)長×Y000015: 屋根線(けりば)長
軒天井 塗装		m	実数		①天井伏図:外部天井仕上げ上面積を算計 ②平面図:バルコニーより天井仕上げ上面積を算計	
※リソウ吹付	(※外部仕様のとき)	m	実数		①平面図:外壁仕上げより壁(腰壁)仕上げ上面積を算計 ②平面図:外部手摺壁より壁(腰壁)面積を算計	
鋼製建具・ガラス工事						
2枚引違戸 FL5	シャツ付付 7/16S w1650h2000	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
網戸 2枚引違戸	7/16S w1650h2000	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
2枚引違戸 FL5	単体 7/16S w1650h1800	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
網戸 2枚引違戸	7/16S w1650h1800	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
2枚引違窓 FL3	シャツ付付 7/16S w1650h1100	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
網戸 2枚引違窓	7/16S w1650h1100	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
2枚引違窓 FL3	単体 7/16S w1650h900	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
網戸 2枚引違窓	7/16S w1650h900	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
2枚引違窓 FL3	単体(内) 7/16S w1720h1100	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
網戸 2枚引違窓	7/16S w1720h1100	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
横すべり FL3	単体 7/16S w600h500	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
網戸 横すべり	7/16S w600h500	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
縦すべり FL3	単体 7/16S w600h700	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
網戸 縦すべり	7/16S w600h700	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
上げ下げ FL3	単体 7/16S w740h900	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
網戸 上げ下げ	7/16S w740h900	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
上げ下げ FL3	単体 7/16S w365h1300	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
網戸 上げ下げ	7/16S w365h1300	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
Fix FL3	単体 7/16S w365h2000	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
2枚折戸 FL5	本7/16 w740h2000	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
片開FL5	W9441 H2330 ネ化-	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
木製建具工事						
2枚引違戸全ハネル H2000	W1595 H2000 3/4ト7/16ラッ	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
押入 1間	H=1800	セット	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
内障子 2枚引違窓	w1720h1100	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
片引ふすま	W1715 H1800 3/4ト7/16ラッ	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
片引戸全ハネル H2000	W1560 H2000 3/4ト7/16ラッ	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
片開:アトイレ用	W595 H1990 3/4ト7/16ラッ	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
片開:7全ハネル(中幅) H1990	W725 H1990 3/4ト7/16ラッ	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
片開:7全探光(中幅) H1990	W725 H1990 3/4ト7/16ラッ	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
面開:7	W680 H1990 3/4ト7/16ラッ	組	整数		①平面図:AM建具の個数を算計	
内装工事						
ビニールクロス 天井		m	実数	4.0000	①天井伏図:内部天井仕上げより天井仕上げ上面積を算計	
木製廻縁	25×51×4000	本	整数		①天井伏図:内部天井仕上げより廻縁長を算計	
ビニールクロス 壁		m	実数		①平面図:内壁仕上げより壁(腰壁)仕上げ上面積を算計	
耐水ビニールクロス 壁		m	実数	4.0000	①平面図:内壁仕上げより壁(腰壁)仕上げ上面積を算計	
木製巾木	12.5×75×4000	本	整数		①平面図:内壁仕上げより巾木長を算計	
クッションフロア		m	実数		①平面図:床仕上げより床仕上げ上面積を算計	
フロア合板		m	実数		①平面図:床仕上げより床仕上げ上面積を算計	
ポータークロス		m	実数		[部屋マスタ(備考)]計算式	[条件付]N000040:腰壁高>N000030:巾木高のとき「N000011:部屋内法長-N000064:掃出建具幅計」、それ以外のときは「0」
雑工事						
防蟻処理		m	実数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	B001211:部屋(1階)面積
量 1帖		枚	整数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	S000031:畳一帖枚数
畳 半帖		枚	整数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	S000032:畳半帖枚数
バルコニー笠木		m	実数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	S000141:手摺(外部)長
物干し金物		セット	整数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	[条件付]S000130:バルコニー面積>00のとき「」、それ以外のときは「0」
室内クローニング	100m未満	式	整数		●段階単価で使用	
室内クローニング	100m以上	m	実数		●段階単価で使用	
●室内クローニング	100m未満は1式、100m以上は面積×単価				[積算集計マスタ(基本)]計算式	H000403:延床面積[1-外面積表]

設備工事	名称	摘要	単位	丸め	換算率	数量の算出方法	計算式
住宅設備機器工事							
	紙巻き器		ヶ所	整数		[部屋マスタ(備考)]定数値:1	
	タオル掛け		ヶ所	整数		[部屋マスタ(備考)]定数値:1	
	洋風便器		式	整数		①平面図:AM部品の個数を集計	
	玄関収納	L=1260 ミラー付	式	整数		①平面図:AM部品の個数を集計	
	洗面化粧台	W=760	式	整数		①平面図:AM部品の個数を集計	
	ユニットバス	1坪タイプ	式	整数		①平面図:AM部品の個数を集計	
	システムキッチン	L=2550	式	整数		①平面図:AM部品の個数を集計	
電気設備工事							
	分電盤		式	整数		[積算集計マスタ(基本)]定数値:1	
	電気温水器		セト	整数		[積算集計マスタ(基本)]コメント	
	電気温水器取付費		式	整数		[積算集計マスタ(基本)]コメント	
	電灯配線		ヶ所	整数		[部屋マスタ(設備)]定数値:部屋ごとに個数を設定	
	スイッチ		ヶ所	整数		[部屋マスタ(設備)]定数値:部屋ごとに個数を設定	
	3路スイッチ		ヶ所	整数		[部屋マスタ(設備)]定数値:部屋ごとに個数を設定	
	コンセント		ヶ所	整数		[部屋マスタ(設備)]定数値:部屋ごとに個数を設定	
	E付コンセント		ヶ所	整数		[部屋マスタ(設備)]定数値:部屋ごとに個数を設定	
	防水コンセント		ヶ所	整数		[部屋マスタ(設備)]定数値:部屋ごとに個数を設定	
	Eアコン用コンセント		ヶ所	整数		[部屋マスタ(設備)]定数値:部屋ごとに個数を設定	
	TV配線		ヶ所	整数		[部屋マスタ(設備)]定数値:部屋ごとに個数を設定	
	TEL配管		ヶ所	整数		[部屋マスタ(設備)]定数値:部屋ごとに個数を設定	
	換気扇		ヶ所	整数		[部屋マスタ(設備)]定数値:部屋ごとに個数を設定	
	給排水設備工事						
	給排水設備工事		式	整数		[積算集計マスタ(基本)]定数値:1	
諸経費							
	地盤調査費		式	整数		[積算集計マスタ(基本)]定数値:1	
	確認申請手数料		式	整数		[積算集計マスタ(基本)]定数値:1	
	産業廃棄物処理費		m ²	実数		[積算集計マスタ(基本)]計算式	B001381:部屋(全階)面積

1 仕上の積算方法

仕上の数量（面積・長さ）の扱い方には、数量コード（マスタ積算情報）を使って拾う方法と、仕上データ（実データ）から拾う方法があります。ここでは、内部天井仕上を例にとり、両者の違いを解説します。

仕上の数量（面積・長さ）の扱い方は、積算集計マスタの「部屋・建具」タブで設定します。

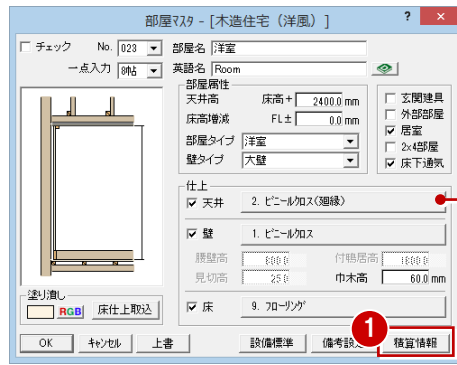


	部屋マスタ積算情報使用	仕上データ使用
部屋別の仕上	部屋マスタの「仕上用積算情報」と、数量拾いで集計された数量コードをもとに積算します。	内壁仕上マスタ、床仕上マスタ、内部天井仕上マスタの「積算情報」と、平面図の内壁仕上、床仕上データ、天井伏図の内部天井仕上データをもとに積算します。
外部仕上	外部標準マスタ積算情報使用 [物件初期設定（外部標準-外部標準）] に設定されている外部標準マスタの「仕上用積算情報」と、数量拾いで集計された数量コードをもとに積算します。	仕上データ使用 外壁仕上マスタ、屋根仕上マスタ、外部天井仕上マスタの「積算情報」と、平面図の外壁仕上データ、屋根伏図の屋根仕上データ、天井伏図の外部天井仕上データをもとに積算します。

A 部屋マスタ積算情報を使用する場合

部屋マスタに積算情報を設定する

- 1 部屋マスタを開き、「積算情報」をクリックします。
- 2 「仕上用積算情報」をクリックします。
- 3 天井仕上、天井下地の積算情報を設定します。



選択している各仕上マスタで設定されている部材単価マスタが表示されます。平面図で部屋を属性変更して仕上マスタを変更した場合は、変更後の仕上マスタの部材で集計されます。



設備用積算情報について

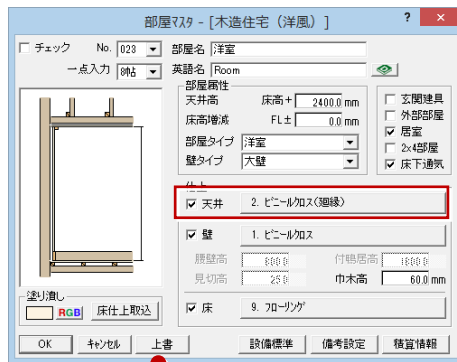
[設備用積算情報] で設定した積算項目は、使用する積算集計マスタの「[設備]」タブがすべてOFFで、「[部屋・建具]」タブの「[設備は部屋より集計]」がONの場合に集計されます（「[部屋マスタ積算情報使用]」[仕上データ使用] どちらの場合でも）。

⇒ 積算情報の設定については、P.43 参照

備外用積算情報について

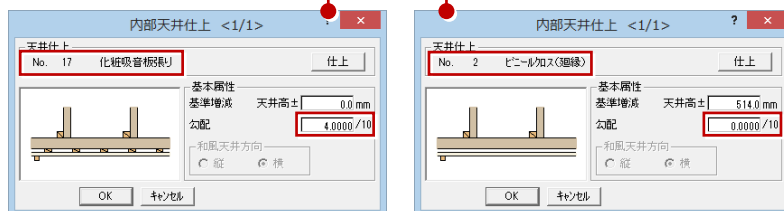
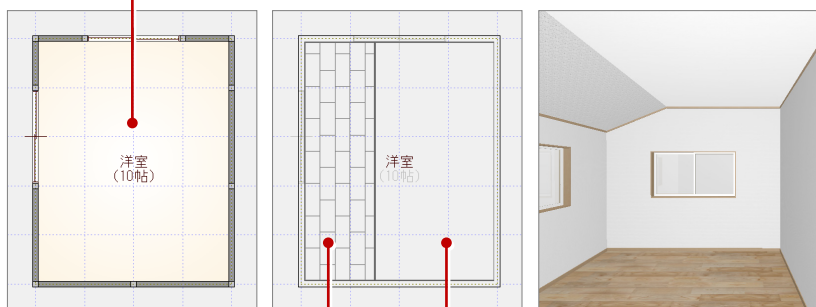
[備外用積算情報] で設定した積算項目は、「[部屋マスタ積算情報使用]」[仕上データ使用] どちらの場合でも集計されます。

⇒ 積算情報の設定については、P.58 参照



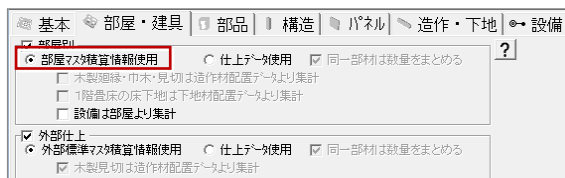
基本データを入力する

平面図、天井伏図を入力します。
ここでは、天井仕上を分割して、片方の天井仕上と勾配を変更しておきます。



積算集計を実行する

積算集計マスタの[部屋・建具]タブで、[部屋別]を[部屋マスタ積算情報使用]に設定し、数量拾い、積算を実行します。



【数量拾い】

No.	数量コード	数量の名称	数量	単位
1	N000001	床面積	15.562000	m ²
2	N000002	床内法面積	15.213100	m ²
3	N000003	天井面積	15.718100	m ²
4	N000010	部屋線周長	10.380000	m
5	N000011	部屋内法長	15.960000	m
6	N000020	床高増減	0.000000	m
7	N000030	巾木高	0.060000	m
8	N000040	腰壁高	0.000000	m
9	N000050	天井高	2.400000	m
10	N000060	戸建具幅計	0.000000	m
11	N000062	窓建具幅計	3.430000	m
12	N000064	掃出建具幅計	0.000000	m
13	N000070	腰壁高以上開口面積	3.327100	m ²
14	N000071	腰壁高開口面積	0.000000	m ²
15	N000072	巾木開口面積	0.000000	m ²
16	N000080	部屋入隅ヶ所数	4.000000	ヶ所
17	N000081	部屋出隅ヶ所数	0.000000	ヶ所
18	N000091	床帖数	10.000000	帖
19	N000092	床内法帖数	9.500000	帖
20	N000100	部屋面積	15.562000	m ²
21	N000110	天井面積(天井伏図)	15.718100	m ²

「N000003：天井面積」は平面図の部屋躯体内法の天井面積を集計し、勾配を考慮しません。
「N000110：天井面積(天井伏図)」は部屋領域と天井伏図の内部天井仕上との重なった領域面積を集計し、鉛直天井面積分や天井仕上の勾配を考慮します。

【積算】

No.	名称	工種	材料名称	換部	数量	単位	原注	目録
1	天井仕上 - 1	内装工事	1488 AA級加工	ビニール加工(天井)	15.713000	m ²	919	1,150
2	天井下地 - 1	内装工事	1238 石膏ボード 9.5	3×6	11.000000	枚	390	490
3	廻縁 - 1	内装工事	1489 木製廻縁既製品	2×6 無塗装	15.960000	m	370	460
4	腰江上 - 1	内装工事	1847 AA級加工	ビニール加工	39.290000	m ²	919	1,190
5	壁下地 - 1	内装工事	1339 石膏ボード 112.5	2×6	24.000000	枚	500	630
6	巾木仕上(m) - 1	内装工事	1257 木製化粧巾木	H60	15.860000	m	459	570
7	床仕上 - 1	内装工事	1179 フローリング 並塗装	t15	15.713075	m ²	16,000	20,000
8					0.000000			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

平面図に入力した部屋の、部屋マスタの[仕上用積算情報]の内容で積算されるため、天井伏図の仕上データを変更したとしても積算内容には反映されません。

B 仕上データを使用する場合

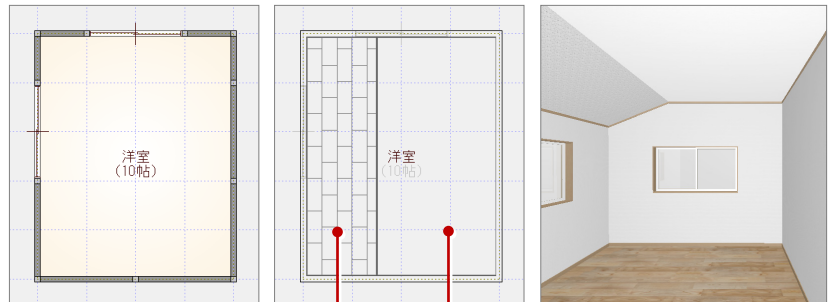
天井仕上マスタに積算情報を設定

- 1 内部天井仕上マスタを開き、[積算情報]をクリックします。
- 2 天井仕上、天井下地の積算情報を設定します。

積算情報一覧		AM単価							
部位	処理	工事区分	名称	摘要	単位	発注	見積	定価	補給率
天井 仕上	1	✓	内装工事	1468AA級加ス	ビニル加ス(天井)	㎡	919	1,150	1.00
	2	✓							
	3	✓							
	4	✓							
	5	✓							
天井 下地	1	✓	内装工事	1338石膏ボード19.5	3×6	枚	390	490	1.00
	2	✓							
	3	✓							
	4	✓							
	5	✓							
廻縁	1	✓	内装工事	1489木製廻縁製品	片光無塗装	m	370	460	1.00
	2	✓							
	3	✓							
	4	✓							
	5	✓							

基本データを入力する

平面図、天井伏図を入力します。
ここでは、天井仕上を分割して、片方の天井仕上と勾配を変更しておきます。



積算情報一覧		AM単価							
部位	処理	工事区分	名称	摘要	単位	発注	見積	定価	補給率
天井 仕上	1	✓	内装工事	1391D-クワ-6級音板 t12	捨貼別				
	2	✓							
	3	✓							
	4	✓							
	5	✓							
下地	1	✓							
	2	✓							

積算情報一覧		AM単価							
部位	処理	工事区分	名称	摘要	単位	発注	見積	定価	補給率
天井 仕上	1	✓	内装工事	1468AA級加ス	ビニル加				
	2	✓							
	3	✓							
	4	✓							
	5	✓							
下地	1	✓	内装工事	1338石膏ボード19.5	3×6				
	2	✓							

積算集計を実行する

積算集計マスタの[部屋・建具]タブで、[部屋別]を[仕上データ使用]に設定し、積算を実行します。

※ 設備用積算情報、備考用積算情報を集計する場合は、数量拾いを実行後、積算を実行します。

【積算】

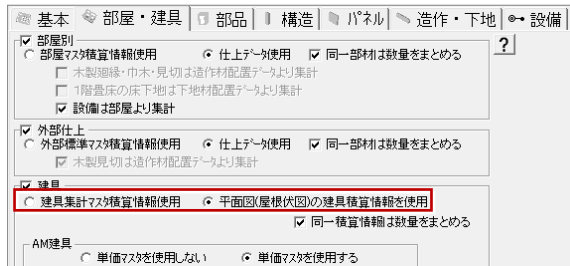
No.	名称	明細(洋室)	部材名称	摘要	数量	単位	発注	見積	定価
1	天井仕上-1	内装工事	1468AA級加ス	ビニル加ス(天井)	9,636,050	㎡	919	1,150	*****
2	天井下地-1	内装工事	1338石膏ボード19.5	3×6	6,000,000	枚	390	490	*****
4	天井仕上-1	内装工事	1391D-クワ-6級音板 t12	捨貼別	6,075,704	㎡	2,430	3,040	*****
5	壁仕上-1	内装工事	1347AH級加ス	ビニル加(壁)	39,230,430	㎡	500	830	*****
6	壁下地-1	内装工事	1339石膏ボード112.5	3×6	24,000,000	枚	500	830	*****
7	市木仕上(m)-1	内装工事	1257木製化粧市木	H60	15,740,000	m	459	570	*****
8	床仕上-1	内装工事	1179D-ツグ 並塗装	t15	15,713,075	㎡	16,000	20,000	*****
9					0.000000				*****
10					0.000000				*****
11									
12									
13									

2種類の天井仕上が集計されます。また、勾配を考慮した数量で積算されます。

2 建具の積算方法

建具の積算方法には、建具集計マスタの積算情報を使う方法と、入力した建具データの積算情報を使う方法があります。ここでは、建具集計マスタの積算情報を使う方法を解説します。使用する建具のメーカー、型番がサイズによってはっきりと決まっている場合に、この方法が有効です。

建具の積算方法は、積算集計マスタの「部屋・建具」タブで設定します。



建具	建具集計マスタ積算情報使用	平面図(屋根伏図)の建具積算情報を使用
	数量拾いで集計された数量コードをもとに、建具集計マスタの各建具区分ごとに設定した「積算情報」より積算します。積算では、建具集計マスタの各建具区分別に集計されて表示されます。	平面図(屋根伏図)の建具データをもとに、建具属性の「積算情報」より積算します。積算では、平面図の階別、金属戸、金属窓、木製窓、木製戸、金属製雨戸、金属製面格子、木製雨戸、木製面格子の材質単位に集計されて表示されます。

単価マスタを登録する

単価マスタを開いて、必要な建具の工事区分や単価などを登録しておきます。

⇒ 単価マスタの登録手順については、P.29 参照



建具集計マスタを設定する

- 1, 2 [共通マスタ] ダイアログの [その他 1] をクリックして、[建具集計] をクリックします。
- 3, 4 建具区分を選択して、建具記号、同一の建具とみなす有効範囲、属性の判別の条件などを設定します。
- 5 [選択] をクリックします。
- 6 登録する集計マスタの No を選択し、種別、絵柄、基準値、属性などの集計条件を設定します。
- 7, 8 [積算情報] をクリックして、建具の積算項目と条件を設定します。
- 9 同様にして、他の建具区分も設定します。

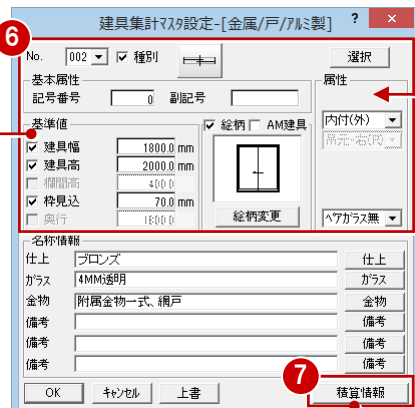


「属性」には、[建具集計マスタ] ダイアログの「属性判別」でチェックした項目が表示されます。

[建具集計マスタ] ダイアログの「有効範囲」に対する建具の基準値を設定します。

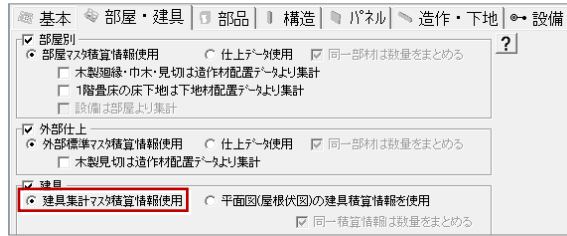
積算情報

積算情報一覧	AM単価	計算式	定額値	Y	工事区分	名称	概要	単位	発注	見値
2枚引違い	計算式	建具本体 個数	0		金属建具工事	0005玄関引戸	1718	組	136,000	170,000
フロンス	積算しない		0							
4MM型	計算式	ガラス面積	0		ガラス工事	11894 mm 型板ガラス	F4	m ²	3,520	4,400
附属金物一式	計算式	建具本体 個数	0		金属建具工事	1159附属金物一式	全建 金物類	式	4,000	5,000



積算集計マスタを設定する

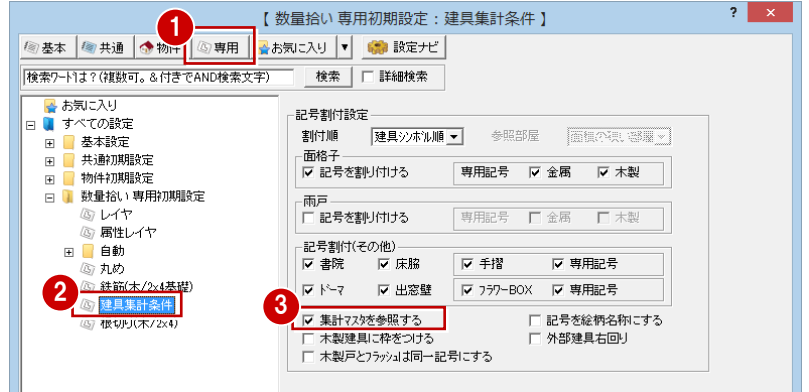
積算集計マスタの [部屋・建具] タブで、[建具] を [建具集計マスタ積算情報使用] に設定します。



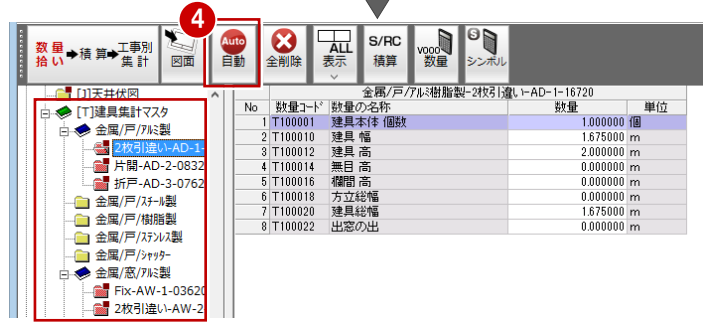
数量拾いを実行する

[数量拾い] 画面を開きましょう。

- 1, 2 [専用初期設定 (建具集計条件)] ダイアログを開きます。
- 3 [集計マスタを参照する] にチェックを付けます。
- 4 数量拾いを実行します。
「[T] 建具集計マスタ」のツリーに建具の数量が拾われます。

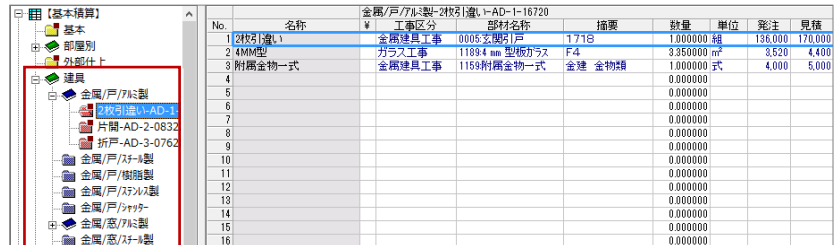


[集計マスタを参照する] について
[建具集計マスタ設定] ダイアログで設定した各建具区分の固有マスタ ([No.001] ~ [No.300]) から建具の積算情報を参照するときは、[集計マスタを参照する] を ON にします。OFF のときは、各建具区分の [No.001] の積算情報を参照して集計されます。



積算を実行する

積算を実行します。
建具集計マスタの建具区分別に集計されて表示されます。



【[建具集計マスタ積算情報使用] の場合】



【参考：[平面図 (屋根伏図) の建具積算情報を使用] の場合】

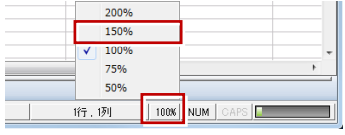
3 積算に関するマスタ

ここでは、自社用マスタを作成するためにバックアップが必要なマスタについて解説します。

マスタ	フォルダ	ファイル	補足
基本積算			
[FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster]			
物件マスタ	物件マスタ¥住宅用 ¥ビル用	bkn_***.mst	物件マスタ
		sny_***.mst	専用マスタ
仕上マスタ	仕上¥住宅用 ¥ビル用	MTF__ICL.EMT	内部天井仕上マスタ
		MTF__IWL.EMT	内壁仕上マスタ
		MTF__FLR.EMT	床仕上マスタ
		MTF__OCL.EMT	外部天井仕上マスタ
		MTF__OWL.EMT	外壁仕上マスタ
		MTF__ROF.EMT	屋根仕上マスタ
部屋マスタ	部屋¥住宅用 ¥ビル用	MTR____.EMT MTR__WAY.EMT	部屋マスタ
文字列マスタ	登録文字¥設計施工 ¥設計 ¥施工	AWSTR_10.INI	部屋マスタの設備標準名称
外部標準マスタ	外部標準¥住宅用 ¥ビル用	MTO____.EMT MTO__WAY.EMT	外部標準マスタ
積算マスタ	積算	km__000.emt	計算式マスタ
		ns__000.emt	積算集計マスタ
		mtx____.emt	TXT 変換条件マスタ
積算部品マスタ	積算部品		数量拾いで [シンボル] をクリックして入る、積算シンボル入力画面の [登録] [配置] で使用
建具集計マスタ	建具集計		数量コードより建具を積算する場合に使用 (積算集計マスタの [部屋・建具] タブで、[建具集計マスタ積算情報使用] に設定)
樹木マスタ	樹木		樹木を積算する場合、樹木マスタの積算情報を使用
[FcApp¥ArchiMaster¥Master]			
AM 素材マスタ	Material		AM 素材マスタ
AM 建具マスタ	Fitting		AM 建具マスタ
AM 部品マスタ	Parts		AM 部品マスタ
AM 積算マスタ	Sekisan	工事区分.adb	AM 工事区分マスタ
		単位.adb	AM 単位マスタ
		単価.adb	AM 単価マスタ
		汎用数量コード.adb	AM 汎用数量コード
詳細積算			
[FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster]			
構造材マスタ	構造材	mtk____.emt	木造構造材マスタ
		mtp*__**.emt	木造構造材単価マスタ
		mtb____.emt	2×4 構造材マスタ
		mtu*__**.emt	2×4 構造材単価マスタ
金物マスタ	金物	knm__000.emt	金物マスタ
電気記号マスタ	電気記号		電気設備記号マスタ
衛生記号マスタ	衛生記号		衛生設備記号マスタ
造作・下地材積算			
[FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster]			
造作材マスタ 下地材マスタ	造作下地	mtz____.emt	造作材マスタ
		mta*__**.emt	造作材単価マスタ
		mtj____.emt	下地材マスタ
		mtn*__**.emt	下地材単価マスタ

4 基本積算 Q&A

ここでは、基本積算の操作において、よくある質問とその解決方法を紹介しています。

プログラム	質問 Q	回答 A
計算式マスタ	計算式マスタで登録できる文字数の制限は？	四則演算子を含めて 599 文字です。
計算式マスタ	3 階の数量コードを使いたいのですが、「[B/C] 階別」に「3 階」がないので選べません。	一旦 [計算式登録] ダイアログを閉じて、[物件初期設定 (基準高さ情報)] で [階数] を地上 3 階に変更します。再度 [計算式登録] ダイアログを開くと、3 階の数量コードが表示されます。
積算集計マスタ	積算集計マスタで「部屋」に登録した計算式が選べません。	積算集計マスタでは「[N] 部屋データ」「[T] 建具集計マスタ」の数量コードを使用できません。そのため、その数量コードを使っている「部屋」「建具」の計算式マスタも表示されません。「基本」などに登録してください。
積算集計マスタ	積算集計マスタで単価マスタが赤く表示されている。	設定している単価マスタの工事区分が正しく設定されているか確認してください (例えば、基礎工事の中に登録されているが、単価にセットされている工事区分は土工事になっている等)。赤色表示されている単価をダブルクリックして、[単価選択] ダイアログの [編集モード] のチェックを ON にすると、工事区分を変更できます。
数量拾い	「T000020: 金属シャッター 本数」という数量コードに、シャッター付建具のシャッターは集計されますか？	現状、集計されません。数量を手入力してください。
数量拾い積算	汎用開口で入力した開口面積は考慮されますか？	汎用開口は数量コードがないため集計されません。ただし、階段手摺に入力されている汎用開口面積が 0.5 m ² 以上の場合は、手摺開口面積に含まれます。また、壁仕上に汎用開口面積が 0.5 m ² 以上入力されている場合は、仕上面積から汎用開口面積が差し引かれます (積算も同様)。
積算	バルコニー手摺は外壁として集計されますか？	手摺壁は、「積算シンボル (数量拾い)」の「手摺壁」で集計されます。他にも、ポーチ、バルコニー、出窓壁、パラペット (一般)、造作棚、ロフト、カウンター、階段下壁、化粧梁は、シンボルが入力されていれば「積算シンボル (数量拾い)」で自動集計されます。
積算	建具の内額縁をなしにしてクロス巻きこみの表現にしています。[仕上データ使用] で積算させると、その仕上の面積もみていますか？	額縁の見付部分については面積を集計しています。奥行きについては面積を計算していません。
積算	雨戸付きの建具を入力しています。雨戸の戸袋の面積を外壁面積に含めたい。	積算集計マスタの [部屋・建具] タブで [雨戸面積を外壁・外壁腰壁・外壁中木に含める] のチェックを ON にします。設定を切り替えた後は、必ず [上書き保存] で保存し、積算を再集計してください。
積算	[仕上データ使用] で積算させるときに、床仕上面積を部屋芯で集計したい。	積算の [専用初期設定 (自動・表示)] の [床仕上 部屋芯面積] を ON にすることで、部屋線の領域で集計されます。OFF の場合は、部屋の躯体の内法領域 (躯体面) で集計されます。
積算	[仕上データ使用] で積算させるときに、外壁面積は軒天形状を考慮していますか？	積算の [専用初期設定 (自動・表示)] の [外壁面積 軒天考慮] が ON になっている場合は、軒天形状を考慮します。OFF の場合は、軒天を無視して屋根垂木の位置までを見るようになります。
工事別集計	セルの表示を大きくしたい。	画面右下のパーセントを切り替えることで、セルの大きさを変更できます。 
工事別集計	再集計しても、手入力した内容が残るようにしたい。	内容を残しておきたい行を選択し、右クリックして [保護行設定] を選ぶと、自動集計の対象外になります (保護行の No の前には「●」が表示されます)。右クリックの [保護行解除] で設定を解除できます。
工事別集計	プレカット CAD の積算データ (テキストファイル) を読み込みたい。	宮川工機 (株) およびトーアエンジニアリング (株) の木材や金物などの積算データ読み込みに対応しています。工事別集計の [ファイル] メニューの [プレカットテキスト読み込み] コマンドで取り込みます。
工事別集計	ARCHITREND 見積へ出力したときに、消費税が入らないようにしたい。	工事別集計の [専用初期設定 (表示)] の [消費税等表示] を OFF にしてから ARCHITREND 見積へ出力してください。